

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

**平成27年度～令和元年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」  
研究成果報告書概要**

1 学校法人名 学校法人 龍谷大学                      2 大学名 龍谷大学

3 研究組織名 アジア仏教文化研究センター

4 プロジェクト所在地 京都市下京区七条大宮東入大工町 125-1 白亜館

5 研究プロジェクト名 日本仏教の通時的・共時的研究—多文化共生社会における課題と展望—

6 研究観点 研究拠点を形成する研究

7 研究代表者

研究代表者名	所属部局名	職名
楠 淳證	文学部	教授

8 プロジェクト参加研究者数 46 名

9 該当審査区分 理工・情報                      生物・医歯                      人文・社会

10 研究プロジェクトに参加する主な研究者

研究者名	所属・職名	プロジェクトでの研究課題	プロジェクトでの役割
楠 淳證	文学部・教授	東アジアの中の南都仏教(法相唯識)	<研究代表者> 日本仏教の形成と展開(ユニットA)
入澤 崇	文学部・教授	汎アジア的視点からの日本仏教 図像研究	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
中川 修	龍谷大学・名誉教授	東アジアの中の南都仏教(浄土教)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
道元 徹心	理工学部・教授	東アジアの中の北嶺仏教(天台)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
土屋 和三	龍谷大学世界 仏教文化研究 センター・客員 研究員	比叡山の植物生態系と北嶺仏教	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
藤丸 要	文学部・教授	東アジアの中の南都仏教(華嚴)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
長谷川 岳史	経営学部・教授	東アジアの中の南都仏教(法相唯識・密教)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
川添 泰信	龍谷大学・名誉教授	東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
杉岡 孝紀	農学部・教授	東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
玉木 興慈	文学部・教授	東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
高田 文英	文学部・准教授	東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

村岡 倫	文学部・教授	前近代日本における仏教的世界観(『混一疆理歴代国都之図』と仏教系世界図)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
渡邊 久	文学部・教授	前近代日本における仏教的世界観(『混一疆理歴代国都之図』と仏教系世界図)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
菱輪 顕量	東京大学大学院人文社会系研究科・教授	東アジアの中の南都仏教(戒律)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
西谷 功	泉涌寺宝物館・学芸員	汎アジア的視点からの日本仏教図像研究	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
大谷 由香	文学部・講師	東アジアの中の南都仏教(戒律)	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
赤松 徹眞	龍谷大学・名誉教授	近代日本における仏教と国家	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
龍溪 章雄	文学部・教授	近代日本における仏教者の思想形成	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
中西 直樹	文学部・教授	近代日本における仏教系雑誌の研究	<グループ1統括リーダー> 近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
岩田 真美	文学部・准教授	近代日本における仏教と他宗教の対話	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
能仁 正顕	文学部・教授	大谷光瑞の思想と事業の再検証(チベット)	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
三谷 真澄	国際学部・教授	大谷光瑞の思想と事業の再検証(総合)	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
市川 良文	文学部・准教授	大谷光瑞の思想と事業の再検証(西域)	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
松居 竜五	国際学部・教授	大谷光瑞の思想と事業の再検証(周辺)	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
林 行夫	文学部・教授	東南アジア上座部仏教と日本仏教	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
吉永 進一	舞鶴工業高等専門学校・教授	近代日本における仏教系雑誌の研究	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
大澤 広嗣	文化庁文化部宗務課専門職	近代日本における仏教系雑誌の研究	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
リチャード・ジャフィ	デューク大学・准教授	近代日本における仏教系雑誌の研究	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
浅田 正博	龍谷大学・名誉教授	日本仏教の形成と展開	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
宮治 昭	龍谷大学・名誉教授	汎アジア的視点からの日本仏教図像研究	日本仏教の形成と展開(ユニットA)
嵩 満也	国際学部・教授	仏教者の社会活動の理論的研究・宗教間対話の研究(イスラム世界)	<グループ2統括リーダー> 現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
藤 能成	文学部・教授	アジア諸地域における仏教者の社会活動(韓国)	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
若原 雄昭	文学部・教授	アジア諸地域における仏教者の社会活動(南アジア)	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
岡本 健資	政策学部・准教授	アジア諸地域における仏教者の社会活動(南アジア)	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

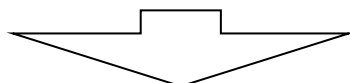
長上 深雪	社会学部・教授	日本における仏教者の社会活動 (社会福祉)	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
野呂 靖	文学部・准教授	日本における仏教者の社会活動 (ボランティア・NPO)	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
竹本 了悟	浄土真宗本願寺派総合研究所・研究員	日本における仏教者の社会活動 (ボランティア・NPO)	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
マーク・ロウ	マクマスター大学・准教授	地域社会における寺院の役割	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)
高田 信良	龍谷大学・名誉教授	宗教間対話と宗教間教育	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
那須 英勝	文学部・教授	宗教間対話と宗教間教育	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
小原 克博	同志社大学・神学部・教授、良心学研究センター・センター長	宗教間対話と宗教間教育	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
ダンカン・ウィリアムズ	南カリフォルニア大学・教授	宗教間対話と宗教間教育	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
本多 彩	兵庫大学共通教育機構・准教授	宗教と女性	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
桂 紹隆	広島大学・名誉教授	現代日本仏教の社会性・公益性 /多文化共生社会における日本仏教の課題と展望	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
佐藤 智水	龍谷大学アフラスシア研究センター・客員研究員	現代日本仏教の社会性・公益性 /多文化共生社会における日本仏教の課題と展望	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
廣田 デニス	龍谷大学・名誉教授	現代日本仏教の社会性・公益性 /多文化共生社会における日本仏教の課題と展望	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)
(共同研究機関等)			

<研究者の変更状況(研究代表者を含む)>

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
近代日本仏教における仏教系雑誌の研究	舞鶴工業高等専門学校・准教授	吉永 進一	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

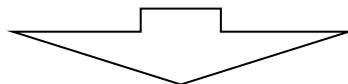
法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

舞鶴工業高等専門学校・准教授	舞鶴工業高等専門学校・教授	吉永 進一	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
----------------	---------------	-------	--------------------

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



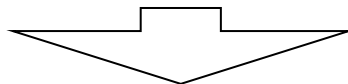
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	広島大学・名誉教授	桂 紹隆	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)、多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



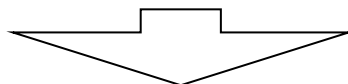
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	龍谷大学・名誉教授	佐藤 智水	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)、多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 27 年 9 月 10 日)



新

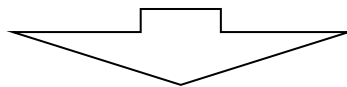
変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	文化庁文化部長官事務官・専門職 文部科学省事務官	大澤 広嗣	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

(変更の時期:平成 27 年 9 月 17 日)



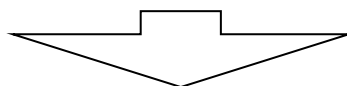
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	浄土真宗本願寺派総合研究所・研究員	竹本 了悟	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 27 年 9 月 17 日)



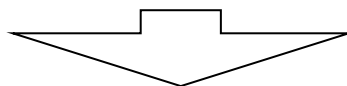
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	龍谷大学・国際学部・教授	松居 竜五	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 27 年 10 月 6 日)



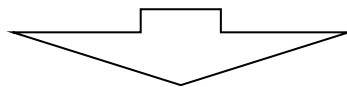
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	泉涌寺・宝物館・学芸員、龍谷大学・非常勤講師	西谷 功	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	龍谷大学・文学部・教授	杉岡 孝紀	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	龍谷大学・農学部・教授	杉岡 孝紀	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

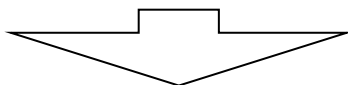
旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

大谷光瑞の思想と事業の再検証(総合)	龍谷大学・国際文化学部・教授	三谷 真澄	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
--------------------	----------------	-------	--------------------

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



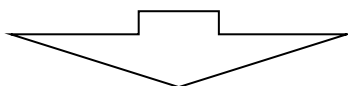
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・国際文化学部・教授	龍谷大学・国際学部・教授	三谷 真澄	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
仏教者の社会活動の理論的研究・宗教間対話の研究(イスラム世界)	龍谷大学・国際文化学部・教授	嵩 満也	<グループ2総括リーダー> 現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



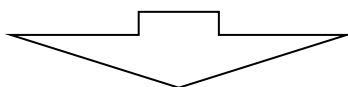
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・国際文化学部・教授	龍谷大学・国際学部・教授	嵩 満也	<グループ2総括リーダー> 現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
宗教間対話と宗教間教育	龍谷大学・文学部・教授	高田 信良	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



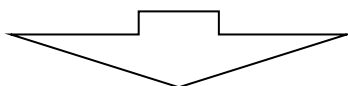
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	龍谷大学・名誉教授	高田 信良	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
宗教間対話と宗教間教育	同志社大学・教授、一神教学際研究センター・所長	小原 克博	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



新

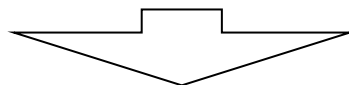
法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
同志社大学・教授、一神教学際研究センター・所長	同志社大学・教授、良心学研究センター・センター長	小原 克博	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
宗教と女性	兵庫大学・生涯福祉学部・講師	本多 彩	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



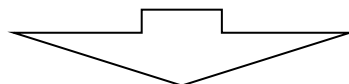
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
兵庫大学生涯福祉学部・講師	兵庫大学・生涯福祉学部・准教授	本多 彩	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



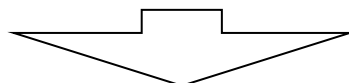
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	龍谷大学・非常勤講師	大谷 由香	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



新

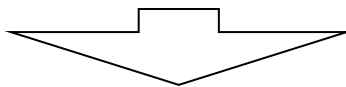
変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	龍谷大学・名誉教授	廣田 デニス	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
汎アジア的視点からの日本仏教図像研究	龍谷大学・文学部・教授	宮治 昭	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



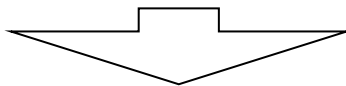
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	龍谷大学・名誉教授	宮治 昭	日本仏教の形成と展開 (ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
比叡山の植物生態系と北嶺仏教	龍谷大学・文学部・教授	土屋 和三	日本仏教の形成と展開 (ユニットA)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



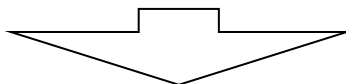
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	仏教文化研究所・客員研究員	土屋 和三	日本仏教の形成と展開 (ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	龍谷大学・短期大学部・教授	玉木 興慈	日本仏教の形成と展開 (ユニットA)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



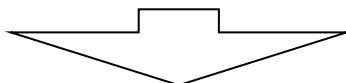
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・短期大学部・教授	龍谷大学・文学部・教授	玉木 興慈	日本仏教の形成と展開 (ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
近代日本における仏教と国家	龍谷大学・文学部・教授	赤松 徹眞	近代日本仏教と国際社会 (ユニットB)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	龍谷大学・名誉教授	赤松 徹眞	近代日本仏教と国際社会 (ユニットB)

旧

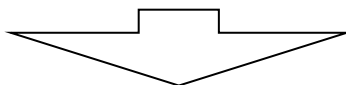
プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
--------------	-------	-------	------------



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

近代日本における仏教と他宗教の対話	龍谷大学・文学部・講師	岩田 真美	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)
-------------------	-------------	-------	--------------------

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



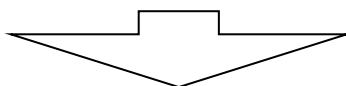
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・講師	龍谷大学・文学部・准教授	岩田 真美	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
東南アジア上座部仏教と日本仏教	京都大学地域研究統合情報センター・教授	林 行夫	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



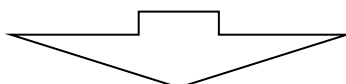
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
京都大学地域研究統合情報センター・教授	龍谷大学・文学部・教授	林 行夫	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
東アジアの中の南都仏教(戒律)	龍谷大学・非常勤講師	大谷 由香	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



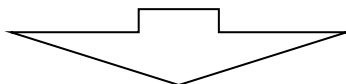
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学非常勤講師	文学部・講師	大谷 由香	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
日本における仏教者の社会活動(ボランティア・NPO)	龍谷大学・文学部・講師	野呂 靖	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



新

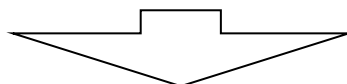
変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・講師	龍谷大学・文学部・准教授	野呂 靖	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
宗教と女性	兵庫大学・生涯福祉学部・准教授	本多 彩	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



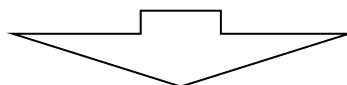
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
兵庫大学生涯福祉学部・准教授	兵庫大学・共通教育機構・准教授	本多 彩	多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
東アジアの中の南都仏教(浄土教)	龍谷大学・文学部・教授	中川 修	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

(変更の時期:平成 30 年 4 月 1 日)



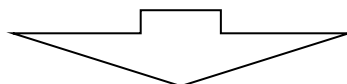
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	龍谷大学名誉教授	中川 修	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
東アジアの中の親鸞浄土教(『教行信証』の総合的研究)	龍谷大学・文学部・教授	川添 泰信	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

(変更の時期:平成 30 年 4 月 1 日)



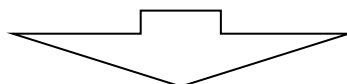
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・文学部・教授	龍谷大学名誉教授	川添 泰信	日本仏教の形成と展開(ユニットA)

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
近代日本における仏教と国家	龍谷大学名誉教授	赤松 徹眞	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

(変更の時期:平成 30 年 4 月 1 日)



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

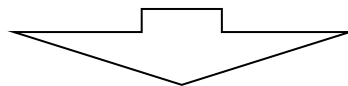
## 新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学名誉教授	龍谷大学名誉教授、本願寺資料研究所・所長	赤松 徹眞	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

## 旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
現代日本仏教の社会性・公益性/多文化共生社会における日本仏教の課題と展望	龍谷大学・名誉教授	佐藤 智水	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)、多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

(変更の時期:平成 30 年 4 月 1 日)



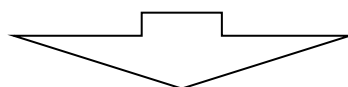
## 新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
龍谷大学・名誉教授	龍谷大学・アフラシア研究センター・客員研究員	佐藤 智水	現代日本仏教の社会性・公益性(ユニットA)、多文化共生社会における日本仏教の課題と展望(ユニットB)

## 旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
近代日本における仏教系雑誌の研究	文化庁文化部宗務課専門職	大澤 広嗣	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

(変更の時期:平成 31 年 4 月 1 日)



## 新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
文化庁文化部宗務課専門職	文化庁宗務課専門職	大澤 広嗣	近代日本仏教と国際社会(ユニットB)

## 11 研究の概要(※ 項目全体を10枚以内で作成)

## (1) 研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要

本研究プロジェクトは、龍谷大学世界仏教文化研究センターの傘下にあるアジア仏教文化研究センターが文部科学省の進める私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成を受けて推進するものであり、龍谷大学が「仏教の世界的研究拠点」の形成をめざして新たに設立した、龍谷大学世界仏教文化研究センターの基盤形成にある。

龍谷大学は寛永 16 年(1639)に浄土真宗本願寺派本山本願寺の境内地に創設された学寮を淵源としており、379 年にわたる地道な研究成果を拠点形成という新たな視座のもとで進展させ、かつ日本仏教を従来の概念を超えた多角的視野より研究することによって、新たな知見の獲得をめざしている。かかる観点より世界仏教文化研究センターの設立ならびに本研究プロジェクトをスタートさせたのであるが、21 世紀の仏教研究を俯瞰すると、研究拠点同

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

士の連携が促進され、拠点を基盤とした研究者間の連携研究・複合型研究が著しく進展する時代に入ったといつてよい。その将来図を視野に入れ、本研究プロジェクトは「日本仏教の多角的研究(通時的共時的研究)」を推進することで新たな知見の獲得を推進してきた。これをもって龍谷大学は、アジアを中心とした世界的視野の中で日本仏教を包括的に解明するとともに、人文科学・社会科学・自然科学等の分野の異なる研究者をも加えた連携研究・複合型研究の展開を生み出す、仏教の世界的研究拠点(基盤)の形成を構想している。

## (2) 研究組織

2015 年度に発足した龍谷大学の新たな全学的仏教研究の拠点である「龍谷大学世界仏教文化研究センター」の傘下に、本研究プロジェクトの主体となる研究組織「アジア仏教文化研究センター」(BARC)が設置され、研究代表者の楠淳證がセンター長として研究を統括し、総合的な調整の任に当たることとなった。

本研究プロジェクトは、通時的面より研究する第1グループ(G1)と共時的面より研究する第2グループ(G2)とに分かれ、さらに第1グループにはユニットA(G1UA)「日本仏教の形成と展開」およびユニットB(G1UB)「近代日本仏教と国際社会」を、第2グループにはユニットA(G2UA)「現代日本仏教の社会性・公益性」およびユニットB(G2UB)「多文化共生社会における日本仏教の課題と展望」の計4ユニットが置かれ、さらにその傘下にサブユニット(SB)が設置され、SB1「教行信証班」、2「南都学北嶺班」、3「仏教系世界図班」(以上G1UA)、SB1「明治仏教班」、2「戦時下日本仏教班」、3「大谷光瑞師班」(以上G1UB)、SB1「日本仏教の社会性公益性班」、2「現代アジア仏教班」(以上G2UA)、「多文化共生班」(以上G2UB)がある。総研究員数は46名であり、これに学内外の研究協力者6名、博士研究員2名とリサーチ・アシスタント2名が加わり、研究を推進している。

本研究プロジェクトを全体として統括・推進するために運営要項を策定し、センター長、副センター長、グループ長、ユニット長ならびにセンター長が指名するサブユニット長、さらには世界仏教文化研究センター長、研究部事務部長、事務局、博士研究員を加えた運営会議を設置し、進捗状況を確認、共有、調整しながら毎年度の研究計画を策定し、予算管理を適切に行っている。

また、年2回研究総会を開催し、全研究員を対象とする研究進捗状況の共有、ならびにサブユニット間の連携研究の発表を行っており、多岐にわたる本研究プロジェクトの方向性を全研究員で確認しながら、研究拠点形成を目的とする本研究プロジェクトを推進している。

## (3) 研究施設・設備等

第1期のアジア仏教文化研究センター(BARC)開設時に、龍谷大学大宮学舎隣接敷地に「白亜館」(2011年竣工)を建設し、研究機関「アジア仏教文化研究センター」を設置した。第2期BARCにおいては、2015年度発足の新たな全学的仏教研究拠点である「龍谷大学世界仏教文化研究センター」の傘下に置かれる事に伴い、研究室等の再整備(198㎡)を行った。

白亜館には資料室が1部屋、各グループ・ユニット・サブユニットが使用する研究室が6部屋、PD・RA(4名)が常駐する研究室が1部屋、事務室が1部屋設置されている。4階建ての総部屋数は9部屋(面積491.00㎡、使用人数約34人程度、月140時間程度利用)である。

## (4) 研究成果の概要 ※下記、13及び14に対応する成果には下線及び\*を付すこと。

<優れた成果が上がった点>

### 1) 教行信証版(G1UAS1)

- ・『教行信証』諸写本の収集を実施した。具体的には、新潟県浄興寺蔵の室町初期の書写本、大谷大学蔵室町中期本、延文五年本等を現地調査し、それら資料を収集した。
- ・上述の書写本の比較・校異作業を継続する一方で、本学世界仏教文化研究センター「親鸞浄土教総合研究班」との共催でセミナー\*1を実施し、『教行信証』化身土巻の研究について重要な示唆を得ることができた。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

・2019 年度までに行われた学術・文化講演会を踏まえた研究成果として、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*2の一冊に論文とエッセイを寄稿した。

## 2) 南都学北嶺学班(G1UAS2)

・「法相」「華嚴」「天台」「律」の各宗教義に関する論義資料の調査・収集、特に龍谷大学所蔵文献の調査と翻刻読解研究を継続し、それら成果を総合して龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*3とした。

・学術講演会「密教の思想と美術」\*4、ならびに国内シンポジウム「宗教文化遺産を探る・記す・保つ—宗教テキスト・アーカイヴス学術共同体の創成と実践—」\*5 を開催した。

・比叡山の植生の生態学的調査に加えて、叡山文庫の山林保全関係文書の翻刻と解読研究に取り組み、その成果をまとめて龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ\*6とした。

## 3) 仏教系世界図班(G1UAS3)

・本学古典籍デジタルアーカイブ研究センターと協力して、『混一図』や仏教系世界地図のさらなる鮮明化に取り組み、高解度のデジタル画像の作成・研究・公開に向けて作業を進めてきた。

・龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*7の執筆予定者と協力して、2019 年 6 月に研究集会を開催し、上記叢書を研究成果として刊行した。

・龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*7では、『混図』復元図の最も解像度の高いデータを提示し、合わせて最新の研究成果をすることで、研究の社会への発信・還元を試みた。

## 4) 明治仏教班(G1UBS1)

・『亜細亜之宝珠(Bijou of Asia)』とその関連資料を包括的に検討し、明治初期の国際的な仏教のネットワークの実態、その中で日本の仏教者がどう活動したか明らかにした。

・定期的に研究会\*8 を開催し、『亜細亜之宝珠』の原文翻訳と共に、海外からの記事の投稿者の名前、記事の内容、他誌への投稿歴をエクセルに入力する作業を進めた。

・嵩満也、吉永進一、碧海寿広が共同編著を務めた龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*9として、5 年間の研究成果を公刊した。

・デューク大学准教授の Richard Jaffe 氏を招き、近代日本仏教とインドの関係・交流をテーマとする講演会\*10 を開催した。

## 5) 戦時下日本仏教班(G1UBS2)

・「戦時下「日本仏教」の国際交流」研究班員の成果をまとめた解説論文に、刊行資料集の雑誌総目次を加え、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*11として編集・刊行した。

・近代日本仏教の国際化のはじまりを告げるだけでなく、清沢満之以前の大谷派の教団改革運動を知る上でも不可欠な資料とされる雑誌『欧米之仏教』だが、その復刻版に解説論文と総目次を付して刊行した。\*12

・大阪大学の村上忠良氏を招いて研究会\*13 を開催し、「仏教交流の実相への視座—タイと日本の関係より—」と題する研究発表の後、林行夫氏の司会で総合討論会を行った。

・日本と東南アジアの仏教の交流をテーマとする研究総括集会\*14 を開催した。

## 6) 大谷光瑞班(G1UBS3)

・大谷光瑞の活動の再検証を目的に前年度実施した国際シンポジウムの内容に基づき、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*15を編集・出版した。

・2019 年 10 月に北京で行われた研究会で、能仁研究員が日本におけるチベット学研究と多

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

田等観の関係をテーマに発表\*16を行った。

- ・大谷探検隊関連資料の選定で、本学ミュージアム特別展「龍谷の至宝～時空を超えたメッセージ」に協力、記念書籍『時空を超えたメッセージ～龍谷の至宝』の一部執筆も担当した。
- ・「日本西藏(チベット)学会」第67回大会に協賛し、「青木文教・多田等観～チベットに学んだ先人の軌跡」と題する展示会を本館展覧室にて開催した。

#### 7) 日本仏教の社会性公益性班(G2UAS1)

- ・現代日本の仏教が担う社会性や公益性について、各宗の研究機関の研究者が現代の諸問題に対応する方法、自死遺族の支援を続ける僧侶、あるいは過疎地域の寺院の現状と社会性といった問題の検討を通じて、新たに様々な知見を得てきた。
- ・それら研究成果の発表については、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*17に、長上・野呂・竹本研究員による自死問題関連の原稿を掲載した。

#### 8) 現代アジア仏教班(G2UAS2)

- ・アジア諸地域の仏教の活動状況や社会的機能を解明するため、これまでタイ、韓国、インド、バングラデシュで現地調査を行い、その成果を報告書にまとめた。
- ・アジア各地の現地調査の一方で、欧米を中心に展開するエンゲージドブディズム論にも注目し、先行研究を踏まえ批判的に検討した上で、アジアや日本の仏教研究に応用する可能性を模索した。
- ・上述の諸地域に加えて、新たに台湾を訪問し、台湾仏教の活動がいかなるものか現地調査と資料収集を行った。
- ・ネパール・カトマンズで開催された INEB 地区代表者会議に嵩研究員が参加し、日本国内のエンゲージドブディズムの活動に関する報告を行った。
- ・上記の研究成果を、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*18に掲載した。

#### 9) 多文化共生班(G2UB)

- ・スイス・ベルン大学教授の Jens Schlieter 氏を招き、『チベット死者の書』が西洋の臨死体験に与えた影響)をテーマとする学術講演会\*19を開催した。20世紀半ばから、「臨死体験」というコンセプトが欧米で盛んに取り上げられたが、その中で『チベット死者の書』がいかなる役割を担ったか、また臨死体験を流行させた立役者の一人である Raymond Moody の分析方法や論拠について検討が試みられた。
- ・ユニットの総合テーマである「多文化共生社会における日本仏教の課題と展望」の中でも、「越境する日本の女性仏教徒」に焦点を当て研究を進めてきた。その成果を、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書\*20に掲載した。

#### <課題となった点>

先にも述べた通り、本研究プロジェクトは、先ず日本仏教を通時的方面から考察する第1グループ(G1)と、共時的方面から考察する第2グループ(G2)に分割される。続いて、それらグループは、G1のユニットAからG2のユニットBまでの計4ユニット(U)に分割される。さらに、4ユニットは計9サブユニット(S)に分割される。具体的な研究活動は、九つあるサブユニットのそれぞれが掲げるテーマに沿って実施される。このような組織で研究を推進する理由だが、第一に、本研究プロジェクトの拠点(基盤)である龍谷大学世界仏教文化研究センターの将来的な活動を考慮してのものである。

龍谷大学世界仏教文化研究センターは、今後、多種多様なセクションに分かれて、本学の多彩な研究活動を事実上推進していく存在となる。したがって、その活動の重要な母体ともいえる本研究プロジェクトは、細かなユニットの形式で研究成果を蓄積することにより、研究セン

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

ターそのものの究極的な目的との合致を目指した。

しかし、他方でその組織こそが、乗り越えるべき重大な課題ともなった。研究プロジェクト全体のテーマである「日本仏教の通時的共時的研究—多文化共生社会における課題と展望—」を完遂するためには、各ユニットおよびサブユニットの研究成果を適切に積算する必要があり、また、その為には各サブユニットが積極的に連携をはかり、互いの研究成果を活用していく必要がある。組織として制度として、それをいかに実行するかが大きな課題であった。

ところが、この課題を根底に据えて、5年間にわたり研究を進めたところ、根本的に「人間の苦悩の解決を説くのが仏教である」からこそ、通時的な諸研究が共時的な諸研究に大きくコミットすること、またその逆の展開が改めて確認された。その成果が、龍谷大学アジア仏教文化研究叢書の多彩なラインナップであり、さらに、その基盤となった幾多のシンポジウム、講演会、研究会、調査活動である。

#### <自己評価の実施結果と対応状況>

自己評価については、年2回(前期・後期)、構想調書に即した研究を進められているかを確認するため、各サブユニット長が研究進捗状況のチェックリストを作成し、運営会議において確認・共有・評価を行うとともに、研究内容の進展に即して予算調整も行っている。この体制は、研究プロジェクトの終了まで堅持され、特に重大な問題が生じることもなく、研究計画は適切に実施されたと考える。

#### <外部(第三者)評価の実施結果と対応状況>

外部評価は2年目と4年目に実施された。それぞれの機会に、学外者2名と学内者1名から成る審査員が、センター長とグループ長に対してヒアリングを実施し、①研究計画の妥当性、②研究進捗状況、③研究体制、④研究業績の4項目に従って評価を行った。その結果として、特に2年目は、研究については全般的に成果が得られていると高評価を受けた。ただし改善点として、学際・国際的な協力の輪をさらに拡張し、市民の関心を高めるための公共事業や発信機能の高いプロジェクトも積極的に運営して欲しい旨の指摘がなされた。その指摘を踏まえて、残るプロジェクトの期間に、一般向けの文化講演会やシンポジウムを充実させることに加えて、各種広告媒体やSNSに立脚する広報活動にも力を入れて、より完成度の高い成果の達成に努めた。

#### <研究期間終了後の展望>

研究活動にとって、21世紀は次のような時代といえる。1人の研究者の基礎的な成果がそこで小さく完結して終わるのではなく、複数の研究者の基礎研究を基盤に据えて、国境を越えて世界規模で連携しながら成果の達成が目指され、そこに新しい知見の獲得が期待される。具体的には、国内外に設置された各種の研究拠点が提携しあい、研究を大きく推進していく時代である。

このような認識でもって、龍谷大学は、世界的な仏教の研究拠点の形成を目指して世界仏教文化研究センターを設立した。そして、その拠点形成に向けて、アジア仏教文化研究センターの研究プログラムを推進してきた。そして、世界仏教文化研究センターおよびアジア仏教文化研究センターは、名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター、旅順博物館といった国内外の研究機関と協定を結び、多彩な国際シンポジウムを実施してきた。また、その成果は日本語だけでなく、英語や中国語でも発信され、その影響力は、徐々に目視できるものになりつつある。

2019年度をもって、アジア仏教文化研究センターとその研究プロジェクトは終了する。しかし、世界仏教文化研究センターの視点から考えるなら、今後の活動の展望も明確である。アジア仏教文化研究センターの活動を通じて獲得された成果や人脈を有効活用し、より多くの

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

研究機関と提携を結び、それを基盤にさらに広範な研究活動の展開を目指す。

<研究成果の副次的効果>

研究成果は一過性のものではなく、本研究プロジェクトで実施した通り研究書(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書)、あるいは一般書(文化講演会シリーズ)として公刊することにより、社会にその成果を還元していくことが、研究プロジェクトの重要な方針の一つである。こうすることで、多文化共生社会に移行してきた現代日本社会の切実な諸課題を解決する有効な示唆が提示できたのではないかと考える。

12 キーワード(当該研究内容をよく表していると思われるものを8項目以内で記載してください。)

- (1) 『教行信証』 (2) 南都学北嶺学 (3) 仏教系世界地図  
 (4) 明治仏教 (5) 戦時下仏教 (6) 大谷光瑞  
 (7) 社会性公益性 (8) 多文化共生

13 研究発表の状況(研究論文等公表状況。印刷中も含む。)

上記、11(4)に記載した研究成果に対応するものには\*を付すこと。

<雑誌論文>

**グループ1(通時的研究班)・ユニットA:日本仏教の形成と展開**

**楠 淳證(センター長)**

- ①「貞慶の信仰と仏道—講式を中心として—」, 楠淳證 著, 『仏教文学』第44号, 60-69頁, 2019年4月。  
 ②「法相論義「一仏繫属」展開の意義—貞慶による法然浄土教批判の論理構築—」, 楠淳證 著, 『龍谷大学論集』第490号, 24-51頁, 2017年11月。  
 ③「貞慶の遁世について—新資料「故解脱房遺坂僧正之許消息之状」翻刻紹介—」, 楠淳證 著, 龍谷大学『佛教学研究』浅田正博教授定年記念号、第71号、19-28頁, 2015年3月。

**中川 修**

- ①「神崎院と家原寺—行基の伝道とその特質—」, 中川修 著, 『論集古代史攷』, 頁数未定, 2020年12月予定。  
 ②「仏神祭祀権の発生と祭祀相続—蘇我氏から律令国家へ—」, 中川修 著, 『龍谷大学考古学論集Ⅲ—岡崎晋明先生喜寿記念論文集—』, 頁数未定, 2020年6月予定。  
 ③「行基再考—最初の一步—」, 中川修 著, 『仏教史研究』第56号, 1-25頁, 2018年3月。  
 ④「仏神祭祀権と祭祀相続—飛鳥時代の仏教を再考して—」, 中川修 著, 『飛鳥乃風たより』第18号, 1-6頁, 2018年3月。  
 ⑤「仏神の響きと僧尼令作音楽条」, 中川修 著, 『史聚』50, 99-108頁, 2017年3月。

**道元徹心**

- ①「近世比叡山における山修山学の理念継承の一面—『比叡山再興縁起』等の資料より—」, 道元徹心 著, 龍谷大学アジア仏教文化研究センター2017年度『研究報告書』, 2017年3月。  
 ②書評「大久保良峻著『最澄の思想と天台密教』」, 道元徹心 著, 『日本思想史学』第48号, 196-202頁, 2016年9月。  
 ③「円珍撰『法華論記』における「舍利」表現について」, 道元徹心 著, 『仏教学研究』第71



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

号, 29-46 頁, 2015 年 3 月。

### 藤丸 要

①「日本における華嚴教学の展開」, 藤丸要 著, 『龍谷大学アジア仏教文化研究センター2018 年度研究報告書』, 186-213 頁, 2019 年 3 月。

### 川添泰信

①「他力回向について」, 川添泰信 著, 『木辺学会』第 37 号, 41-57 頁, 2019 年 5 月。

②「布教伝道の実践的心得—仏教・真宗と儒教 死者儀礼—」, 川添泰信 著, 『木辺学会』第 37 号, 58-68 頁, 2019 年 5 月。

③「親鸞聖人の教え本願」, 川添泰信 著, 『木辺学会』第 36 号, 2018 年 5 月。

④「法然・親鸞・恵信尼・唯円における師弟の問題」, 川添泰信 著, 『真宗学』137・138 合併号, 1-20 頁, 2018 年 3 月。

⑤「真宗における実践について」, 川添泰信 著, 『木辺学会』第 34 号, 35-46 頁, 2016 年 5 月。

⑥「世の盲明をてらす」, 川添泰信 著, 『仏教家庭学校』第 54 巻 2 号(通巻 320 号), 12-15 頁, 2016 年 3 月。

⑦「『選択本願念仏集』—プロローグ—」, 川添泰信 著, 『木辺学会』第 33 号, 60-67 頁, 2015 年 5 月。

⑧「現代における真宗伝道について」, 川添泰信 著, 『木辺学会』第 33 号, 68-80 頁, 2015 年 5 月。

### 杉岡孝紀

①「親鸞思想と西田哲学(3)—逆対応の論理と〈衆生—仏〉の関係論—」, 杉岡孝紀 著, 『真宗学』137・138 合併号, 149-169 頁, 2018 年 3 月。

②「西田哲学と親鸞思想(2)—純粹経験の多義性について—」, 杉岡孝紀 著, 『真宗学』135 号, 1-20 頁, 2017 年 3 月。

③「親鸞思想の哲学的研究—西田幾多郎の純粹経験と親鸞の他力念仏—」, 杉岡孝紀 著, 龍谷大学アジア仏教文化研究センター2016 年度『研究報告書』, 41-50 頁, 2017 年 3 月。

④「二河白道のこころ」, 杉岡孝紀 著, 『宗教・文化研究所だより』第 61 号, 5-7 頁, 2015 年 7 月。

### 玉木興慈

①「『教行信証』「信巻」三—問答における回施に関する研究ノート—阿弥陀仏は何を回施するのか—」, 玉木興慈 著, 『真宗学』第 141・142 合併号, 129-144 頁, 2020 年 3 月。

②「釈尊と親鸞の伝道—浄土三部經の序分に見る釈尊の伝道教化—」, 玉木興慈 著, 『真宗学』第 137・138 合併号, 209-229 頁, 2018 年 3 月。

### 長谷川岳史

①「“盧舎那”与“釈迦”的異同問題—以『梵網經』的佛身解釋為中心—」, 長谷川岳史 著, 『華嚴仏身論研究』(陝西師範大学宗教学集刊之二『華嚴研究』第 2 輯), 108-134 頁, 2019 年 8 月。

### 高田文英

①「『教行信証』報化二土の引文とその背景——懈慢界説の歴史的帰趨——」, 高田文英 著, 『龍谷大学アジア仏教文化研究センター2018 年度研究報告書』, 187-214 頁, 2019 年 3 月。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

月。

- ②「仏教・真宗の生命観～人権・平和論への一視座～」, 高田文英 著, 『日本佛教学会年報』第 83 号, 70-85 頁, 2018 年 8 月。
- ③「『教行信証』報化二土の引文を読み解く——懈慢界説の歴史的帰趨——」, 高田文英 著, 『真宗学』137・138 合併号, 231-251 頁, 2018 年 3 月。
- ④「親鸞における憶念の解釈」, 高田文英 著, 『真宗学』134 号, 1-19 頁, 2016 年 3 月。
- ⑤「弁長・良忠上人の異義批判と親鸞聖人」, 高田文英 著, 『龍谷教学』50 号, 17-41 頁, 2015 年 12 月。

### 西谷 功

- ①「祖師像と宋代仏教儀礼—礼讃文儀礼を視座として」, 西谷功 著, 『アジア仏教美術論集 東アジア 4』(中央公論美術出版), 頁数未定, 2020 年予定。
- ②「鎌倉期東山における宋式寺院という「場」—泉涌寺の宋文化受容の視点から」, 西谷功 著, 『地方史研究』69-4(400 号), 11-15 頁, 2019 年 8 月。
- ③「洛中洛外図屏風に描かれた戒光寺」, 西谷功 著, 『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』85, 20-29 頁, 2019 年 4 月。
- ④「入宋僧請来の「つかり湯」式浴室」, 西谷功 著, 『日本歴史』845, 77-79 頁, 2018 年 10 月。
- ⑤「〈舍利〉—泉涌寺との関わり」, 西谷功 著, 『観世』85(10), 26-34 頁, 2018 年 10 月。  
「仏牙舍利, 韋駄天, 普陀山観音と宋代仏教文化—泉涌寺僧による「唐物」の請来と展開」, 西谷功 著, 『唐物—KARA-MONO』(金沢文庫), 97-102 頁, 2017 年 11 月。
- ⑥「泉涌寺の文化財—儀礼と信仰の視点から—」, 西谷功 著, 『國華』1458, 21-26 頁, 2017 年 4 月。
- ⑦「釈迦十六羅漢図」, 西谷功 著, 『國華』1458, 40-43 頁, 2017 年 4 月。

### 大谷由香

- ①“The Controversy Over the Nanshan Vinaya School in the Southern Song and Japan”, 大谷由香 著, 『印度学仏教学研究』第 66 卷第 3 号, 188-194 頁, 2018 年 3 月。
- ②「日宋交流と鎌倉期律宗義の形成」, 大谷由香 著, 『智山学報』67, 177-197 頁, 2018 年 3 月。
- ③「日本律宗からみた「四分律伝持の曇無徳部」成立時期」, 大谷由香 著, 『印度学仏教学研究』第 64 卷第 2 号, 559-564 頁, 2016 年 3 月。

### グループ 1(通時的研究班)・ユニット B:近代日本仏教と国際社会

#### 中西直樹

- ①「明治期日本人僧侶の暹羅布教」, 中西直樹 著, 『龍谷大学世界仏教文化研究論叢』第 58 集, 29-37 頁, 2020 年 3 月。
- ②「明治・大正期東京の青年仏教者—徳風会から東京大学仏教青年会へ—」, 中西直樹 著, 『仏教文化研究論集』第 20 号, 3-39 頁, 2020 年 3 月。
- ③「本願寺派の台湾布教概史」, 中西直樹 著, 『龍谷大学アジア仏教文化研究センター 2018 年度研究報告書』, 45-55 頁, 2019 年 3 月。
- ④「西依一六と大谷派改革運動」, 中西直樹 著, 『龍谷史壇』147, 1-20 頁, 2019 年 3 月。
- ⑤「戦前期日本仏教のマライ半島布教」, 中西直樹 著, 『龍谷大学アジア仏教文化研究センター 2017 年度研究報告書』, 2018 年 3 月。
- ⑥「近代仏教婦人会の興起とその歴史的意義」, 中西直樹 著, 『龍谷大学 佛教文化研究

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

所紀要』第 55 集, 2018 年 3 月。

- ⑦「戦前期日本仏教のシンガポール布教」, 中西直樹 著, 『佛教史学研究』第 60 巻第 1 号, 25-11 頁, 2017 年 11 月。
- ⑧「日本仏教の初期台湾布教(2)—占領地布教と各種付帯事業の展開—」, 中西直樹 著, 『龍谷大学 仏教文化研究所紀要』54, 104-134 頁, 2016 年 3 月。
- ⑨「日本仏教の南清進出の背景と布教実態—一九〇〇年厦門事件までの状況を中心に—」, 中西直樹 著, 『龍谷大学論集』第 487 号, 75-101 頁, 2016 年 3 月。
- ⑩「大正期台湾布教の動向と南瀛仏教」, 中西直樹 著, 龍谷大学アジア仏教文化研究センター2015 年度『研究報告書』, 29-49 頁, 2016 年 3 月。
- ⑪「一九〇〇年厦門事件追考」, 中西直樹 著, 『仏教をめぐる日本と東南アジア』, 143-159 頁, 2016 年 3 月。
- ⑫「台湾別院跡(西本願寺広場)訪問記」, 中西直樹 著, 『本願寺史料研究所報』49 号, 2015 年 6 月。

### 岩田真美

- ①「近世における真宗の歴史的研究の先駆—玄智『大谷本願寺通紀』—」, 岩田真美 著, 『真宗学』, 第 141・142 合併号, 263-279 頁, 2020 年 3 月。
- ②書評「岩田真美・中西直樹編『仏教婦人雑誌の創刊』」, 岩田真美 著, 『仏教タイムス』, 2019 年 5 月。
- ③書評「岩田真美・中西直樹編『仏教婦人雑誌の創刊』」, 岩田真美 著, 『中外日報』, 2019 年 4 月。

### 能仁正顕

- ①「大乘仏教の展開と仏説論」, 能仁正顕 著, 『研究紀要』(京都女子大学宗教・文化研究所)第 31 号, 43-61 頁, 2018 年 3 月。
- ②「チベットの仏伝図「釈尊絵伝」について—阿闍世の教化と仏陀の涅槃—」, 能仁正顕 著, 『仏教文化研究所紀要』55, 1-35 頁, 2017 年 3 月。
- ③“On “Shakuson Eden,” a Tibetan Illustrated Biography of the Buddha: The Edification of Ajātaśatru and the Nirvāṇa of the Buddha,” Masaaki Nohnin, *Journal of World Buddhist Cultures -Inauguralpreparatoryissue-*, P.3-23. 2016. 11.

### 市川良文

- ①「龍谷大学図書館蔵【寄託本】大谷光瑞師書簡」について」, 市川良文 著, 龍谷大学アジア仏教文化研究センター2017 年度『研究報告書』, 2018 年 3 月。

### 林 行夫

- ①「タイ仏教徒社会の宗教実践—その動態の諸相」, 『愛知大学人文社会学研究所報告書・南伝上座仏教と現代』, 54-110 頁(本文)+137-166 頁(討論), 2017 年 3 月。
- ②” Fission of the Hermitage in search of Dharma: A Case from KC in Northeast Thailand 2006-2014” Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space(Kobayashi, S., Hayashi, Y. et al. eds.)P.99-126, 2017.3.
- ③”Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space: Comparative Case Studies of Cambodia, Thailand, Laos, Yunnan (China), Myanmar and Sri Lanka” Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space(Kobayashi, S., Hayashi, Y. et al. eds.)P.1-20, 2017. 3.
- ④「境域の東南アジア上座仏教」, パーリ学仏教文化学会編『パーリ仏教文化事典』めこん,

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

160-163 頁, 2016 年 10 月。

⑤「タイ人はなぜ出家するのか」, 『ナムチャイノンピー』97・98, 7 頁, 2016 年 8 月。

⑥「上座仏教徒が伝えること—東南アジア地域の調査から」, 『龍谷史壇』139 号, 26-40 頁, 2016 年 7 月。

⑦「明治期日本人留学僧にみる日=タイ仏教「交流」の諸局面」, 『仏教をめぐる日本と東南アジア地域』(アジア遊学 196 号, 勉誠出版), 9-28 頁, 2016 年 3 月。

### 大澤広嗣

①「台湾総督府外事部の調査活動と龍谷大学出身の天津慈雲」, 大澤広嗣 著, 『龍谷大学アジア仏教文化研究センター2019 年度研究報告書』, 31-52 頁, 2020 年 3 月。

② 오사와 코지저, 이화진 옮김 「김효경과 다이쇼대학 종교학연구실」, 大澤広嗣 著, 『근대서지』제 15 호(「金孝敬と大正大学宗教学研究室」, 大澤広嗣 著・李和珍 訳, 『近代書誌』第 15 号, ソウル・近代書誌学会), 329-340 頁, 2017 年 6 月。

③「清水霊園イスラーム墓地と宗教法人」, 大澤広嗣 著, 『季刊清水』(49), 40-43 頁, 2016 年 12 月。

④「第二次世界大戦下の南方仏陀祭と政治宣伝」, 大澤広嗣 著, 『仏教文化学会紀要』(25), 49-70 頁, 2016 年 11 月。

⑤「アメリカ施政下の沖縄における宗教制度——琉球政府の施策と行政」, 大澤広嗣 著, 『武蔵野大学仏教文化研究所紀要』第 32 号, 85-117 頁, 2016 年 3 月。

### 野世英水

①「従軍布教」, 野世英水 著, 『仏教史研究ハンドブック』, 328-329 頁, 2017 年 2 月。

②書評「川邊雄大著『東本願寺中国布教の研究』」, 野世英水 著, 『中国研究月報』, 39-42 頁, 2016 年 8 月。

### グループ 2(共時的研究班)・ユニット A: 現代日本仏教の社会性・公益性

#### 若原雄昭

①「インド的正統性の所在—サーヤナ著『リグ・ヴェーダ註』序章より—」, 若原雄昭 著, 『龍谷大学論集』第 491 号, 2018 年 2 月。

②“The Four Embracing Practices (saGgrahavastu): From their Origin and Development in India to Dogen’s Appreciation,” Yusho Wakahara, Journal of World Buddhist Cultures I, P.139-163, 2018. 3.

#### 岡本健資

①「Dhammapada-Atṭhakathā における「三道宝階降下」について」岡本健資 著, 『パーリ学仏教文化学』第 31 号, 51-72 頁, 2017 年 12 月。

#### 野呂 靖

①「義林房喜海の成仏義—高山寺蔵『三生成道料簡』を中心に—」, 野呂靖 著, 『印度学仏教学研究』第 68 巻第 2 号, 頁数未定, 2020 年 3 月予定。

②「明恵における宋代仏教の受容について」, 野呂靖 著, 『印度学仏教学研究』第 66 巻第 2 号, 122-128 頁, 2018 年 3 月。

③「明恵門下における密教理解—唐招提寺蔵『六大無碍義抄』解説並びに下帖翻刻—」, 野呂靖 著, 『日本古写経研究所研究紀要』2, 1-27 頁, 2017 年 3 月。

④「普一国師志玉の華嚴学—『五教章視聽記』を中心に—」, 野呂靖 著, 『印度学仏教学研究』, 第 64 巻第 2 号, 72-78 頁, 2015 年。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑤「中世真言宗における諸宗教学の受容について—富山大学附属図書館ヘルン文庫所蔵『王心鈔』翻刻—」, 野呂靖 著, 『仏教学研究』71, 47-81 頁, 2015 年。

## グループ 2(共時的研究班)・ユニット B: 多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

### 高田信良

①「本願力回向の宗教——科学・文化・宗教多元のなかで——」, 高田信良 著, 『中央仏教学院紀要』28, 17-33 頁, 2017 年 3 月。

### 那須英勝

①“Genshin’s Discovery of the Easy Way to Receive Confirmation for Enlightenment in the Present Life”, 那須英勝 著, 『真宗学』第 141・142 合併号, 1-15 頁, 2020 年 3 月。

②“Ryogen”, 那須英勝 著, オンライン出版, Oxford Research Encyclopedia of Religion (オックスフォード大学出版局, The Oxford Encyclopedia of Buddhism オンライン版), 2020 年 3 月。

③「『私聚百因縁集』の「仏法王法縁起由来」に見える中世日本仏教僧の重層的世界観」, 那須英勝 著, 『真宗学』第 137・138 合併号, 107-124 頁, 2018 年 3 月。

④「「あめの下にもりてきこゆることもあり」—『今物語』に語られた日本中世の僧侶の暮らし—」, 那須英勝 著, 『龍谷大学論集』第 490 巻, 2017 年 11 月。

⑤「棲浄斎誓鎧師(一七五三—一八二九)「解魔弁」考」, 那須英勝 著, 『宗教研究』90(別冊), 290-292 頁, 2017 年 3 月。

⑥「ヨーロッパの妙好人と「無対辞」の思想—ハリー・ピーパー師の事績を通して—」, 那須英勝 著, 『真宗学』第 133 号, 1-15 頁, 2016 年 3 月。

⑦「宗教間教育の実践とその評価—海外の事例との比較を通して—」, 那須英勝 著, 『京都宗教論叢』10 号, 32-35 頁, 2016 年 3 月。

### 小原克博

①「宗教が平和に貢献するための課題——良心学と統合的平和の視点から」, 小原克博 著, 『東洋学術研究』第 58 巻 2 号, 106-122 頁, 2019 年 11 月。

②「キリスト教と日本社会の間の葛藤と共鳴——宗教的マイノリティが担う平和主義」, 小原克博 著, 堀江宗正編『宗教と社会の戦後史』, 209-236 頁, 2019 年 4 月。

### 本多 彩

①「アメリカ仏教会における食文化の変遷」, 本多彩 著, 『宗教研究』90(2), 157-182 頁, 2016 年 9 月。

### 桂 紹隆

①「ブッタの教え—此れあれば、彼あり。此れなければ、彼なし—」, 桂紹隆 著, 『武蔵野大学日曜講演会講演集「心」』38, 2019 年。

②“Four Yoga Stages in Ratnākaraśānti’s *Prajñāpāramitopadeśa*— with a new synopsis —”, 桂紹隆 著, 『インド学チベット学研究』第 22 号, 210-223 頁, 2018 年 12 月。

③“The Mode of Argumentation in the Fangbian xin lun/\*Upāyahṛdaya””, 桂紹隆 著, *Wiener Zeitschrift für die Kunde Südasiens* 56-57, 19-36 頁, 2015-2018 年。

④“A Report on the Study of Sanskrit Manuscript of the Pramāṇa- samuccayaṭīkā Chapter 4, Recovering the Example Section of the Nyāyamukha””, 桂紹隆 著, 『印度学仏教学研究』第 64 巻第 3 号, 195-203 頁, 2016 年。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑤「仏教研究の最前線～龍谷大学から世界へ～」, 桂紹隆 著, 『仏教文化研究所紀要』54, 162-180 頁, 2016 年。

#### 佐藤智水

①「小川貫式収集『龍門初拓一千本』の整理と内容紹介」, 佐藤智水 主編, 『東洋史苑』82, 1-40 頁, 2017 年 3 月。

#### 廣田デニス

①“Revelation and Awakening in Shinran,” Dennis Hirota, Hōrin: vergleichende Studien zur japanischen Kultur, Eko-Haus, Düsseldorf, 2017.

#### 金澤 豊

①「瞋恚と忍辱—『入菩提行論』における苦の受容を中心に—」, 金澤豊 著, 『真宗研究』61, 62-77 頁, 2017 年 1 月。

#### <図書>

#### グループ 1(通時的研究班)・ユニットA: 日本仏教の形成と展開

##### 楠 淳證(センター長)

- ①『日本仏教と論義』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 13), 楠淳證・野呂靖・亀山隆彦 編著, 法蔵館, 全 624 頁, 2020 年 2 月。\*3
- ②『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳證・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 272 頁, 2020 年 1 月。
- ③『修二会 お水取りと花会式—聖地に受け継がれし伝灯の法会—』(龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ 3), 楠淳證 編著, 法蔵館, 全 118 頁, 2020 年 1 月。
- ④『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究—仏道篇—』, 楠淳證 著, 法蔵館, 全 734 頁, 2019 年 7 月。
- ⑤『南都学北嶺学の世界—法会と仏道—』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 6), 楠淳證 編, 法蔵館, 全 288 頁, 2018 年 3 月。
- ⑥『回峰行と修験道—聖地に受け継がれし伝灯の行—』, 楠淳證 編, 法蔵館, 全 114 頁, 2016 年 10 月。

##### 藤丸 要

『華嚴—無礙なる世界を生きる—』藤丸要編著, 自照出版, 2016 年 9 月, そのうち 19-34 頁, 236-259 頁を担当。

##### 中川 修

①『仏教史研究ハンドブック』, 仏教史学会 編, 法蔵館, 全 410 頁, 2017 年 2 月, そのうち「僧尼令とその実態」(160-161 頁)を担当。

##### 道元徹心

- ①『日本仏教の展開とその造形』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 15), 道元徹心 編著, 法蔵館, 全 392 頁, 2020 年 3 月。
- ②『比叡山の仏教と植生』(龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ 4), 道元徹心 編, 法蔵館, 全 220 頁, 2020 年 3 月。\*6

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

### 川添泰信

- ①『選択註解鈔講述』, 川添泰信 著, 永田文昌堂, 全 491 頁, 2019 年 7 月。
- ②『智慧の潮—親鸞の智慧・全体性・社会性—』, ケネス・タナカ 編, 武蔵野大学出版会, 全 342 頁, 2017 年 1 月, そのうち「親鸞における人間様態の問題—三哉が明かすもの」(196-216 頁)を担当。
- ③『親鸞聖人の生き方』(別冊宝島 2466), 川添泰信 編集協力, 宝島社, 12-13 頁, 60-80 頁, 2016 年 5 月。
- ④『選擇註解鈔』, 川添泰信 責任編集, 龍谷大学善本叢書 32, 全 750 頁, 2016 年 3 月, そのうち「選擇註解鈔概説」を担当。
- ⑤『半身の死を生きる』, 谷本光男・川添泰信 著, 自照社出版, 全 306 頁, 2016 年 1 月。

### 玉木興慈

- ①『顕浄土真実教行証文類』(龍谷大学善本叢書 34), 龍谷大学世界仏教文化研究センター編, 永田文昌堂, 全 1015 頁, 2020 年 2 月, そのうち「『教行信証』「信巻」における金剛心の義」を担当。
- ②『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳證・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 272 頁, 2020 年 1 月, そのうち「『教行信証』の思想がもつ普遍性—経・論・釈の引用や御自釈に見る表現から—」(48-60 頁)を担当。\*2
- ③『南都学北嶺学の世界—法会と仏道—』(アジア仏教文化研究叢書 6), 楠淳證 編, 法蔵館, 全 288 頁, 2018 年 3 月, そのうち「親鸞と戒律～無戒名字の比丘～」(191-209 頁)を担当。
- ④『親鸞と浄土仏教の基礎的研究』, 川添泰信 編, 永田文昌堂, 2017 年 12 月, そのうち「大悲伝普化と大悲弘普化～「行ずることもなほかたし」と関連して～」(325-352 頁)を担当。
- ⑤『浄土思想の成立と展開』, 大田利生 編, 永田文昌堂, 2017 年 4 月, そのうち「『教行信証』「真仏土巻」における『大阿弥陀経』の引用意図」(237-256 頁)を担当。

### 高田文英

- ①『親鸞聖人の教え』, 勸学寮 編, 本願寺出版社, 全 334 頁, 2017 年 3 月, そのうち第 2 章「阿弥陀仏とその本願」(32-70 頁)を担当。

### 村岡 倫

- ①『最古の世界地図を読む—『混一疆理歴代国都之図』から見る陸と海』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 16), 村岡倫 編, 法蔵館, 全 302 頁, 2020 年 2 月。\*7

### 西谷 功

- ①『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳證・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 272 頁, 2020 年 1 月, そのうち「南都・北嶺の祖師忌—東アジア仏教儀礼の視点から」(37-41 頁)を担当。
- ②『東アジア仏教思想史の構築—凝然・明恵と華嚴思想 予稿集』, 龍谷大学世界仏教文化研究センター 編, 龍谷大学, 全 202 頁, 2019 年 12 月, そのうち「明恵撰『涅槃講式』成立の背景—俊苻請来の宋代涅槃儀礼の視点から」(194-202 頁)を担当。
- ③『時空を越えたメッセージ—龍谷の至宝—』, 龍谷大学創立 380 周年記念書籍編集委員会

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

編, 法蔵館, 全 208 頁, 2019 年 7 月, 「涅槃図」解説(16-17 頁)を担当。

④『京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝』, 平成洛陽三十三所観音霊場会・京都府京都文化博物館 監修, 長村祥知 編, 勉誠出版, 全 272 頁, 2019 年 6 月, そのうち「寺宝・資料解説(伝俊苜筆断簡、渡唐天神像、象海宗師像、観音菩薩坐像、補陀海山円通宝閣額残欠、泉涌寺再興日並記、泉涌寺殿堂并什物色目、長恨歌絵巻)」を担当。

⑤『唐招提寺の伝統と戒律』, 一般財団法人律宗戒学院 編, 法蔵館, 全 474 頁, 2019 年 5 月, そのうち「南宋仏教からみた鎌倉期戒律復興運動の諸相」(137-172 頁)を担当。

⑥『南宋・鎌倉仏教文化史論』, 西谷功 著, 勉誠出版, 全 844 頁, 2018 年 2 月。

## グループ 1(通時的研究班)・ユニットB:近代日本仏教と国際社会

### 赤松徹眞

①『近代真宗者の「神社問題」論説集成』(第 1 回配本, 全 4 巻, 第 1-4 巻), 赤松徹眞編著, 三人社, 2019 年 11 月。

### 中西直樹

①『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 中西直樹・楠淳澄・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月。

②『論集戦時下「日本仏教」の国際交流』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 11), 中西直樹・大澤広嗣 編著, 不二出版, 全 292 頁, 2019 年 12 月。\*11

③『『欧米之仏教』復刻版—大谷派改革運動と神智学—』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 10), 中西直樹・川口淳 編著, 三人社, 全 464 頁, 2019 年 11 月。\*12

④『編集復刻版 資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第Ⅳ期 全日本仏教青年会連盟機関誌『青年仏徒』全 2 巻(第 8~9 巻)(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 5), 中西直樹(代表)・林行夫・吉永進一・大澤広嗣 編, 不二出版, 全 782 頁, 2018 年 2 月。

⑤『仏教英書伝道のあけぼの』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 3), 中西直樹・嵩満也・那須英勝 編著, 法蔵館, 全 415 頁, 2018 年 1 月。

⑥『編集復刻版 資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第Ⅲ期 中国仏教との提携』全 2 巻(第 6~7 巻)(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 4), 中西直樹(代表)・林行夫・吉永進一・大澤広嗣 編, 不二出版, 各 477・258 頁, 2017 年 9 月。

⑦『近代西本願寺を支えた在家信者—評伝松田甚左衛門—』, 中西直樹 著, 法蔵館, 全 167 頁, 2017 年 9 月。

⑧『令知会と明治仏教』, 中西直樹・近藤俊太郎 編, 不二出版, 全 197 頁, 2017 年 6 月。

⑨『編集復刻版 仏教植民地布教史資料集成〈満州・諸地域編〉第 2 期』第 2 回配本全 3 巻(第 3~5 巻), 中西直樹・野世英水・大澤広嗣 編・監修, 三人社, 各 509・526・414 頁, 2017 年 6 月。

⑩『編集復刻版 仏教植民地布教史資料集成〈満州・諸地域編〉第 1 期』第 1 回配本全 2 巻(第 1~2 巻), 中西直樹・野世英水・大澤広嗣 編・監修, 三人社, 全 815 頁, 2016 年 12 月。

⑪『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第Ⅱ期 南方仏教圏との交流』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 2), 中西直樹(代表)・林行夫・吉永進一・大澤広嗣 編, 不二出版, 全 1298 頁, 2016 年 10 月。

⑫『雑誌『國教』と九州真宗』(全 3 巻+別冊 1), 中西直樹 編・解題, 不二出版, 資料編 2 巻 1274 頁, 別冊 115 頁, 2016 年 7 月。

⑬『植民地台湾と日本仏教』, 中西直樹 著, 三人社, 全 358 頁, 2016 年 6 月。



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑭『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第 I 期 汎太平洋仏教青年会大会関係資料』(全 2 巻), (龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 1), 中西直樹(代表)・林行夫・吉永進一・大澤広嗣 編, 不二出版, 全 1008 頁, 2016 年 2 月。

⑮『仏教植民地布教史資料集成(台湾編)』(全 6 巻), 中西直樹 編・解題, 三人社, 2085 頁, 2016 年 1 月・6 月。

⑯『仏教国際ネットワークの源流—海外宣教会(1888 年～1893 年)の光と影—』, 中西直樹・吉永進一 著, 三人社, 全 232 頁, 2015 年 6 月。

### 岩田真美

①『日本思想史事典』, 日本思想史事典編集委員会 編, 丸善出版, 全 744 頁, 2020 年 2 月 予定, そのうち「幕末維新期の仏教」(頁数未定)を担当。

②『戦後歴史学と日本仏教』, オリオン・クラウタウ 編, 法蔵館, 全 381 頁, 2016 年 11 月, そのうち「森龍吉——仏教近代化論と真宗思想史研究」(185-204 頁)を担当。

③『近代仏教スタディーズ』, 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎 編, 法蔵館, 全 289 頁, 2016 年 4 月, そのうち「西本願寺系——禁酒から改革、そして国際化へ」(154-158 頁)を担当。

④『近代仏教スタディーズ』, 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎 編, 法蔵館, 全 289 頁, 2016 年 4 月, そのうち「近代真宗史の研究——近代仏教の中心軸」(217-218 頁)を担当。

### 三谷真澄

①『大谷光瑞の構想と居住空間』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 14), 三谷真澄 編, 法蔵館, 全 284 頁, 2020 年 3 月。\*15

②『「世界」へのまなざし～最古の世界地図から南方熊楠・大谷光瑞へ』(龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ 2), 三谷真澄 編, 法蔵館, 全 113 頁, 2017 年 12 月, そのうち「はじめに」および「大谷光瑞の世界認識」(81-113 頁)を担当。

③『大谷光瑞のトルコでの動向—「仏教」と「農業」のあいだ』(龍谷大学国際社会文化研究所研究成果報告書), 三谷真澄・ヤマンラール水野美奈子 編, 龍谷大学国際社会文化研究所(印刷製本:真陽社), 全 149 頁, 2016 年 3 月。

④“The Turkish Japanese Factory – Türk Japon Fabrikası, Bursa’ya Dokunan Tarih ‘1928’ History Woven in Bursa”, Haz. Demirağ, Papyrus Sahaf, Istanbul, Turkey, 2015.

### 林 行夫

①『論集戦時下「日本仏教」の国際交流』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 11), 中西直樹・大澤広嗣 編著, 不二出版, 全 292 頁, 2019 年 12 月, そのうち「第 4 章 異なる仏教と国際化の虚妄」(121-178 頁)を担当。\*11

②『東南アジア文化事典』, 東南アジア学会 編, 丸善出版, 全 832 頁, 2019 年 10 月, そのうち「王権と仏教」(64-65 頁)と「上座仏教(上座部仏教)」(214-215 頁)を担当。

③『功德と喜捨と贖罪—宗教の政治経済学』, 伊東利勝 編, 愛知大学人文社会学研究所, 2018 年 3 月, そのうち「人を結ぶ仏教功德と精霊祭祀の〈経済〉」を担当。

④『泰国日本人納骨堂 80 周年記念誌』, 高野山真言宗タイ国開教留学僧の会 編, 全 1143 頁, 2017 年 11 月, そのうち「タイの上座仏教徒から世界を観る営み」(216-228 頁)を担当。

⑤Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, Kobayashi S. Sasagawa H. Takahashi M.との共編著, Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University, 全 240 頁, 2017 年 3 月。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑥『生きている文化を人に学ぶ』(シリーズ「情報とフィールド科学」第5巻), 林行夫 著, 京都大学学術出版会, 全80頁, 2017年3月。

⑦『衝突と変奏のジャスティス(相関地域研究叢書3)』, 谷川竜一・原正一郎・林行夫・柳澤雅之 編, 青弓社, 全260頁, 2016年3月, そのうち「生きている宗教と現代世界—東南アジア仏教徒社会からの考察」(227-250頁)を担当。

⑧『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第I期 汎太平洋仏教青年会大会関係資料』(全2巻), (龍谷大学アジア仏教文化研究叢書1), 中西直樹(代表)・林行夫・吉永進一・大澤広嗣 編, 不二出版, 全1008頁, 2016年2月。

#### 吉永進一

①『日本仏教と西洋世界』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書12), 嵩満也、吉永進一、碧海寿広 編著, 法蔵館, 全366頁, 2020年1月。\*9

#### 大澤広嗣

①『泰国日本人納骨堂80周年記念誌』, 高野山真言宗タイ国開教留学僧の会 編, 全1143頁, 2017年11月, そのうち「昭和前期の仏教界とタイ——藤波大圓と山本快龍の視察」(229-269頁)を担当。

②『編集復刻版 仏教植民地布教史資料集成〈満州・諸地域編〉第2期』第2回配本全3巻(第3~5巻), 中西直樹・野世英水・大澤広嗣 編・監修, 三人社, 各509・526・414頁, 2017年6月。

③『基礎ゼミ 宗教学』, 大谷栄一・川又俊則・猪瀬優理 編, 世界思想社, 2017年4月, そのうち「第3章 社会にとって宗教団体とはどのような存在か?——宗教法人法, 政教分離, 宗教団体の社会参加」(23-32頁)を担当。

④『仏教史研究ハンドブック』, 仏教史学会編, 法蔵館, 全410頁, 2017年2月, そのうち「平和運動」を担当。

⑤『編集復刻版 仏教植民地布教史資料集成〈満州・諸地域編〉第1期』第1回配本全2巻(第1~2巻), 中西直樹・野世英水・大澤広嗣 編・監修, 三人社, 全815頁, 2016年12月。

⑥『戦後歴史学と日本仏教』, オリオン・クラウタウ編, 法蔵館, 全381頁, 2016年11月, そのうち「古田紹欽——大拙に近侍した禅学者」(119-138頁)を担当。

⑦『近代仏教スタディーズ』, 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎 編, 法蔵館, 全289頁, 2016年4月, そのうち「海外布教する仏教教団」(47-50頁), 「世界を探検する仏教者たち」(51-54頁), 「日本仏教と植民地主義—仏教は植民地で何をしたのか?—」(227-228頁), 「博物館—仏教の仏教者の足跡をたずねて」(245-247頁)を担当。

⑧『仏教をめぐる日本と東南アジア地域』, 大澤広嗣 編, 勉誠出版, 全244頁, 2016年4月。

⑨『戦時下の日本仏教と南方地域』, 大澤広嗣 著, 法蔵館, 全398頁, 2015年12月。

#### 浅田正博

①『善導大師著『般舟讚』現代語訳』, 浅田恵真 著, 永田文昌堂, 全165頁, 2017年。

②『仏教における実践を問う(二)—社会的実践の歴史と展望—』, 日本佛教学会 編, 法蔵館, 全515頁, 2017年8月, そのうち「セッションNO8の発表に対するコメント」(289-295頁)を担当。

③『お念仏の真実に気づく』, 天岸浄圓・浅田恵真 著, 自照社出版, 全106頁, 2016年11月, そのうち「諸行無常から仏様の真実の世界に…九條武子様の歌より…」(51-103頁)を

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

担当。

④『回峰行と修験道—聖地に受け継がれし伝灯の行—』, 楠淳證 編, 法蔵館, 全 114 頁, 2016 年 10 月, そのうち「若き日の親鸞聖人」(70-114 頁)を担当。

⑤『『般舟三昧行道往生讚』(般舟讚)講読』, 浅田恵真 著, 永田文昌堂, 全 680 頁, 2016 年 7 月。

#### 宮治 昭

①『アジア仏教美術論集: 中央アジア I (ガンダーラ~東西トルキスタン)』, 宮治昭 責任編集, 中央公論美術出版, 全 591 頁, 2017 年 2 月, そのうち「総論 中央アジアの仏教美術」を担当。

②『華嚴—無礙なる世界を生きる』, 藤丸要 編, 自照社出版, 全 400 頁, 2016 年 9 月, そのうち「『華嚴経』の美術—インド・ガンダーラを中心に—」(185-211 頁)を担当。

③『仏像を読み解く: シルクロードの仏教美術』, 宮治昭 著, 春秋社, 全 296 頁, 2016 年 6 月。

④『アフガニスタン流出文化財報告書: 保護から返還へ』, 井上隆史・狩野麻里子 責任編集, 東京芸術大学アフガニスタン特別企画展実行委員会, 全 151 頁, 2016 年 3 月, そのうち「バーミヤーン東大仏壁画について—その図像を読む—“Mural Paintings on the Ceiling of the East Great Buddha of Bamiyan: Interpreting its Iconography,” (116-124 頁, 125-130 頁)を担当。

#### グループ 2(共時的研究班)・ユニットA: 現代日本仏教の社会性・公益性

##### 嵩満也

①『日本仏教と西洋世界』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 12), 嵩満也、吉永進一、碧海寿広 編著, 法蔵館, 全 366 頁, 2020 年 1 月。\*9

②『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳證・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月, そのうち「アジアのエンゲイジド・ブディズムとその可能性」(161-182 頁)を担当。\*18

##### 藤 能成

①『智慧の潮—親鸞の智慧・全体性・社会性—』, ケネス・タナカ 編, 武蔵野大学出版会, 全 342 頁, 2017 年 1 月, そのうち「仏道としての浄土真宗—「信心の智慧」の意味—」(45-66 頁)を担当。

②『妙好人研究集成』, 菊藤明道 編, 法蔵館, 全 732 頁, 2016 年 10 月, そのうち「妙好人と智慧—柳宗悦「無対辞文化」が投げかけるもの」(613-634 頁)を担当。

③『華嚴—無礙なる世界を生きる』, 藤丸要 編, 自照社出版, 全 400 頁, 2016 年 9 月, そのうち「新羅・元暁における華嚴と浄土」(185-211 頁)を担当。

④『仏教と心理学の接点—浄土心理学の提唱—』, 藤能成 編・著, 法蔵館, 全 260 頁, 2016 年 7 月, そのうち「浄土真宗とスピリチュアリティ—虚無感をいかに克服する」(83-107 頁)を担当。

##### 若原雄昭

①『インド学チベット学研究』第 23 号, 若原雄昭 編, インド哲学研究会, 2020 年 3 月。

②『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳證・中西直樹・嵩満

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月, そのうち「ベンガルの大地に生きる仏教徒たち—イスラームとヒンドゥーのはざままで—」(184-190 頁)を担当。

③『変貌と伝統の現代インド——アンベードカルと再定義されるダルマ』(RINDAS 叢書), 龍谷大学南アジア研究センター 編, 2018 年 3 月, そのうち「ダルマの相続者」(193-212 頁)を担当。

#### 岡本健資

①『アジア仏教美術論集:中央アジアⅡ(チベット)』, 森雅秀責任編集, 中央公論美術出版, 全 576 頁, 2018 年 2 月, そのうち「多田等観請来「釈迦牟尼世尊絵伝」に関する考察」(369-391 頁)を担当。

#### 長上深雪

①『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳澄・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月, そのうち「社会課題に取り組む仏教者—仏教社会事業に注目して—」(191-196 頁)を担当。\*17

#### 野呂 靖

①『日本仏教と論義』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 13), 楠淳澄・野呂靖・亀山隆彦 編著, 法蔵館, 全 624 頁, 2020 年 2 月。\*3

②『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳澄・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月, そのうち「自死をどのような死と捉えるか?—現代仏教者による自死対策と教義理解—」(204-213 頁)を担当。\*17

③『21 世紀元暁学の意味と展望—元暁撰述文献の系譜学的省察—』, 韓国・東国大学校 編, 2017 年 5 月, そのうち 312-335 頁を担当。

④『華嚴—無礙なる世界を生きる』, 藤丸要 編, 自照社出版, 全 400 頁, 2016 年 9 月, そのうち「中世東大寺における講説」(285-305 頁)を担当。

#### 竹本了悟

①『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳澄・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月, そのうち「アジアの宗教者による自死対策とその課題」(197-204 頁)を担当。\*17

#### グループ 2(共時的研究班)・ユニット B:多文化共生社会における日本仏教の課題と展望 高田信良

①『多文化時代の宗教論入門』, 久松英二・佐野東生 編, ミネルヴァ書房, 全 272 頁, 2017 年 6 月, そのうち「第 9 章 イスラームと仏教の対話」のコメント「「一神教の神」と「ブッダ」」(231-233 頁)を担当。

#### 那須英勝

①『国際社会と日本仏教』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 17), 楠淳澄・中西直樹・嵩満也 編著, 丸善出版, 全 208 頁, 2020 年 1 月, そのうち「多文化共生社会における日本仏教の可能性—トランスナショナルな視点からの再検討—」(219~241 頁)の「はじめに」(219-221 頁)ならびに「むすび」(239-240 頁)を担当。\*20

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

②『仏教英書伝道のあけぼの』(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 3), 中西直樹・嵩満也・那須英勝 編, 法蔵館, 全 410 頁, 2018 年 2 月, そのうち文献解題 2(『A SHORT HISTORY OF THE TWELVE JAPANESE BUDDHIST SECTS』南條文雄著訳(英文), 和文タイトル: 仏教十二宗綱要 発兌元: 仏教書英訳出版舎 1886 年 12 月出版, 原著編集: 小栗栖香頂), 文献解題 3(『TRUE SECT OF BUDDHISTS(英文真宗教旨 和文付)』(英文・和文), 英国領事ゼームス, ツループ君著 南條文雄・赤松連城同校, 発行者: 船井政太郎 1888 年 5 月出版)を担当。

③『妙好人研究集成』, 菊藤明道 編, 法蔵館, 全 732 頁, 2016 年 10 月, そのうち「ヨーロッパの妙好人と「無対辞」の思想—ハリー・ピーパー師の事績を通して—」(649-664 頁)を担当。

#### 小原克博

①『人類の起源、宗教の誕生——ホモ・サピエンスの「信じる心」が生まれたとき』, 山極寿一・小原克博 著, 平凡社, 全 221 頁, 2019 年 5 月。

#### 本多 彩

①『越境する「二世」—1930 年代アメリカの日系人と教育—』(同志社大学人文科学研究所研究叢書), 吉田亮 編著, 現代史料出版, 全 265 頁, 2016 年 3 月, そのうち「ワシントン州における日系二世の仏教教育」(129-152 頁)を担当。

#### 桂 紹隆

①『龍樹『根本中頌』を読む』, 桂紹隆・五島清隆 著, 春秋社, 全 418 頁, 2016 年 10 月。

#### 佐藤智水

①『北魏石刻造像銘目録: 初稿』, 佐藤智水 主編, 科学研究費研究成果中間報告: 基盤研究(B) 研究代表者: 佐藤智水「南北朝～隋代における造像銘の調査及び史料集成とその総合的研究」, 全 62 頁, 2017 年 2 月。

#### 廣田デニス

①“Navigating Deep River: New Perspectives on Shūsaku Endō’s Final Novel” Edited by Mark Dennis and Darren Middleton, State University of New York Press, New York, “Japanese Sensibility and Transcendence in Deep River” 2020, Forthcoming.

②“The Oxford Handbook of Japanese Philosophy” Edited by Bret W. Davis, Oxford University Press, Oxford, “Philosophical Dimensions of Shinran’s Pure Land Buddhist Path” pp. 159–180, 2020.

③“The Dao Companion to Japanese Buddhist Philosophy” Edited by Gereon Kopf, Springer, New York, “How to Read Shinran” pp. 415–449, 2019.

④『智慧の潮—親鸞の智慧・全体性・社会性—』, ケネス・タナカ編, 武蔵野大学出版会, 全 342 頁, 2017 年 1 月, そのうち「親鸞浄土教におけるホーリズムとその意義—ハイデガー哲学に照らして—」(171-193 頁)を担当。

⑤“Approaching Silence: New Perspectives on Shusaku Endo’s Classic Novel” Edited by Mark Dennis and Darren Middleton, Bloomsbury Academic, New York & London, “Discerning the Marshland of this World: Silence from a Japanese Buddhist Perspective” pp. 139–158, 2015

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

**金澤 豊**

- ①『死者／生者論—傾聴・鎮魂・翻訳』, 鈴木岩弓・磯前順一・佐藤弘夫 編, ペリかん社, 全 384 頁, 2018 年 3 月, そのうち「生者のざわめきを聴く—遺族の想いから生まれるもの—」(73-100 頁)を担当。
- ②『災害支援ハンドブック—宗教者の実践とその協働—』, 宗教者災害支援連絡会 編, 春秋社, 全 272 頁, 2016 年 6 月, そのうち「苦悩を抱える人々と共に居るといこと」(62-68 頁)を担当。

## &lt;学会発表&gt;

**グループ 1(通時的研究班)・ユニット A: 日本仏教の形成と展開****道元徹心**

- ①龍谷大学アジア仏教文化研究センター, 道元徹心, 「近世比叡山における山修山学の理念—止観院蔵『比叡山再興縁起』等の史料より—」, 龍谷大学, 2018 年 1 月。
- ②龍谷大学アジア仏教文化研究センター, 道元徹心, 「天台論義資料への一視点—千観撰『法華三宗相對抄』・東大寺図書館蔵『天台宗一乗義秘要抄』を手掛かりに—」, 龍谷大学, 2017 年 1 月。
- ③龍谷大学仏教文化研究所, 道元徹心, 「『阿弥陀経略記』について」, 龍谷大学, 2017 年 3 月。

**長谷川岳史**

- ①第 26 回多文化間精神医学会学術総会, 長谷川岳史, 「仏教の哲学・宗教視点による治療論」, 龍谷大学, 2019 年 11 月。
- ②第二屆 慈宗國際學術論壇(主催:慈氏學會(香港)), 長谷川岳史, 「玄奘的佛身觀」, 香港青年協會大廈 25 樓(香港), 2018 年 3 月。
- ③佛光山系統大學主催『2017 佛光山大學校長論壇』「論壇三」第一場, 長谷川岳史, 「宗教精神與大學發展」, 台湾 高雄 佛光山, 2017 年 11 月。
- ④京都女子大学宗教・文化研究所公開講座, 長谷川岳史, 「中国に残る曇鸞・道綽・善導の足跡」, 京都女子大学, 2016 年 9 月。
- ⑤採薪亭講座, 長谷川岳史, 「仏と我々はどこが違うのか?」, 東福寺即宗院, 2016 年 4 月。
- ⑥中央民族大学哲学与宗教学学院学術講座, 長谷川岳史, 「玄奘唯識思想的形成—《佛地經論》與《成唯識論》的翻譯意圖—」, 中央民族大学文華樓西 1326 會議室(中国・北京), 2016 年 3 月。
- ⑦第二屆 中國華嚴國際學術研討會(主催:陝西師範大学宗教研究中心, (台湾)華嚴學會), 長谷川岳史, 「“盧舍那”與“釋迦”的異同問題—以《梵網經》的佛身解釋為中心—」, 陝西師範大学8号楼(中国・西安), 2015 年 10 月。

**杉岡孝紀**

- ①2017 年度大谷大学真宗学会大会講演, 杉岡孝紀, 「親鸞におけるメタファーと解釈」, 大谷大学, 2017 年 11 月。
- ②龍谷大学校友会総会岐阜県支部(講演会), 杉岡孝紀, 「<寄り添う>ということ」, 2015 年 7 月。

**玉木興慈**

- ①京都女子大学宗教・文化研究所公開講座, 玉木興慈, 「信不具足の金言」, 京都女子大学, 2016 年 9 月。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

②中央仏教学院夏期真宗講座, 玉木興慈, 「これからの浄土真宗」, 中央仏教学院, 2016 年 7 月。

③龍谷大学校友会こころの講座, 玉木興慈, 「仏の心に学ぶ～よきひとの仰せ～」, 龍谷大学響都ホール校友会館, 2016 年 7 月。

#### 高田文英

①龍谷大学アジア仏教文化研究センターグループ 1 ユニット A2016 年度第 11 回学術講演会, 高田文英, 「親鸞と『往生要集』」, 龍谷大学, 2017 年 1 月。

②龍谷大学仏教文化研究所第 15 回研究談話会, 高田文英, 「源信浄土教研究の現状について」, 龍谷大学, 2016 年 12 月。

#### 西谷 功

①龍谷大学世界仏教文化研究センター日中韓国際シンポジウム「東アジア仏教思想史の構築—凝然・明恵と華嚴思想」, 西谷功, 「明恵撰『涅槃講式』成立の背景—俊苾請来の宋代涅槃儀礼の視点から」, 龍谷大学, 2019 年 12 月。

②新善光寺講座, 西谷功, 「長恨歌絵巻と楊貴妃観音」, 新善光寺, 2019 年 11 月。

③科研シンポジウム「室町水墨画における中国道釈画の受容」, 西谷功, 「宋式仏堂空間の荘嚴—泉涌寺を事例に」, 山口県立美術館, 2019 年 11 月。

④説話文学会 2019 年度大会シンポジウム「鎌倉期戒律復興の実像—泉涌寺僧が果たした役割」, 西谷功, 「律をめぐる宗教的環境と説話文学との架橋」, 名古屋大学, 2019 年 6 月。

⑤「見えるもの」や「見えないもの」に関わる東アジアの文物や芸術についての学際的な研究 (第 1 回), 西谷功, 「涅槃会の変遷と涅槃図—東アジア仏教社会における「忌日」を視点に」, 京都大学人文科学研究所, 2019 年 6 月。

⑥香雪美術館「お～い！羅漢さん」展講座, 西谷功, 「羅漢さんの住む世界—羅漢図とその儀礼」, 香雪美術館, 2019 年 6 月。

⑦龍谷大学アジア仏教文化研究センターグループ 1 ユニット A2017 年度第 6 回学術講演会, 西谷功, 「知られざる宋代天台の儀礼と文化」, 2018 年 3 月。

⑧美術史学会東支部大会「唐物への新たな視線」, 西谷功, 「鎌倉時代における中国祖師肖像画の受容と宋式仏教儀礼」, 神奈川県立金沢文庫, 2017 年 12 月。

⑨〈能と仏教〉研究会, 西谷功, 「泉涌寺仏牙舍利と謡曲〈舍利〉」, 法政大学, 2017 年 12 月。

⑩科研「東アジア仏伝美術の諸様態」, 西谷功, 「いわゆる「苦行釈迦」とその儀礼」, 東京大学, 2017 年 7 月。

⑪京都国立博物館「泉涌寺展」土曜講座, 西谷功, 「俊苾律師と泉涌寺」, 京都国立博物館, 2017 年 1 月。

⑫連続講座「忍性菩薩を学ぶ」, 西谷功, 「泉涌寺創建と南都戒律復興運動」, 神奈川県立金沢文庫, 2016 年 12 月。

⑬奈良国立博物館夏期講座, 西谷功, 「泉涌寺における宋代律宗の儀礼と文化」, 奈良県文化会館国際ホール, 2016 年 8 月。

⑭れきはく講座, 西谷功, 「泉涌寺の仏像・仏画と儀礼」, 大津市歴史博物館, 2016 年 7 月。

#### 大谷由香

①東アジア仏教研究会年次大会, 大谷由香, 「南山宗の三観について」, 2017 年 12 月。

②第 68 回日本印度学仏教学会, 大谷由香, 「志玉口述『梵網古迹下巻聞書』にみる室町期戒壇院の戒律思想」, 花園大学, 2017 年 9 月。

③第 68 回日本印度学仏教学会, 大谷由香, 「南宋代の南山宗義論争と日本」, 花園大学, 2017 年 9 月。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- ④第 61 回智山教学大会, 大谷由香, 「日宋交流と鎌倉期律宗義の形成」, 2017 年 5 月。  
 ⑤日本仏教総合研究学会第 14 回大会, 大谷由香, 「日宋間における菩薩戒増受に関する議論について」, 山形大学, 2015 年 12 月。  
 ⑥大正大学特別講義, 大谷由香, 「日本律宗の歴史と教学」, 大正大学, 2015 年 11 月。  
 ⑦第 66 回日本印度学仏教学会, 大谷由香, 「日本僧からみた「曇無徳部 (Dharmaguptaka)」」, 高野山大学, 2015 年 9 月。  
 ⑧律宗青年研修会平成 27 年度研究会, 大谷由香, 「唐招提寺における受戒儀式変遷について」, 唐招提寺, 2015 年 7 月。

### グループ 1(通時的研究班)・ユニット B:近代日本仏教と国際社会

#### 中西直樹

- ①2019 年度東本願寺会館特別公開講座, 中西直樹, 「日本仏教海外布教の歴史的検討—真宗大谷派のアジア布教の検証を通じて—」, 北海道東本願寺会館, 2020 年 2 月。  
 ②龍谷大学世界仏教文化センター「日本と東南アジアの仏教交流」班研究総括集会, 中西直樹, 「明治期日本人僧侶の暹羅布教」, 龍谷大学, 2020 年 1 月。  
 ③第 13 回本願寺史料研究所公開講座, 中西直樹, 「明治以降の乳幼児・児童を対象とした西本願寺の取り組み」, 築地本願寺第二伝道会館, 西本願寺門閨法会館, 2019 年 12 月, 2020 年 1 月。  
 ④浄土真宗本願寺派第 8 回宗門教学会議, 中西直樹, 「近代本願寺の学校教育制度の変遷」, 浄土真宗本願寺派伝道本部, 2019 年 11 月。  
 ⑤熊本県多良木町「歴史回廊たらぎ 2019」, 中西直樹, 「九條武子—女性解放への願いと女子大学設立運動—」, 多良木町多目的研修センター, 2019 年 9 月。  
 ⑥ワークショップ「明治期の東西両本願寺における宗門大学の東京移転」, 中西直樹, 「高輪仏教大学の設立経緯とその背景」, 龍谷大学, 2019 年 7 月。  
 ⑦筑紫女学園創立 110 周年・咸宜園開塾 200 年記念特別研究会(主催:筑紫女学園大学人間文化研究所), 中西直樹, 「水月哲英」, 筑紫女学園大学, 2018 年 2 月。  
 ⑧龍谷大学仏教文化研究所仏教文化セミナー, 中西直樹, 「明治期の本願寺派学校制度—高輪大学研究プロジェクト始動に向けて—」, 龍谷大学, 2018 年 1 月。  
 ⑨龍谷大学アジア仏教文化研究センターワークショップ・龍谷大学仏教文化研究所仏教文化セミナー, 中西直樹, 「日本仏教によるアジア布教史概観」, 龍谷大学, 2017 年 7 月。  
 ⑩龍谷大学アジア仏教文化研究センターワークショップ・龍谷大学仏教文化研究所仏教文化セミナー, 中西直樹, 「戦前期日本仏教のシンガポール布教」, 龍谷大学, 2017 年 7 月。  
 ⑪龍谷大学アジア仏教文化研究センターワークショップ・龍谷大学仏教文化研究所仏教文化セミナー, 中西直樹, 「近代仏教婦人会の興起とその歴史的意義」, 龍谷大学, 2017 年 7 月。  
 ⑫龍谷大学仏教文化研究所仏教文化セミナー, 中西直樹, 「九條武子と女子大学設立運動」, 龍谷大学, 2017 年 2 月。  
 ⑬龍谷大学仏教文化研究所研究談話会, 中西直樹, 「仏教英書刊行の濫觴—オルコット『仏教問答』の刊行とその影響—」, 龍谷大学, 2016 年 9 月。  
 ⑭龍谷大学アジア仏教文化研究センターワークショップ・龍谷大学仏教文化研究所研究談話会, 中西直樹, 「真宗布教近代化の一断面—本願寺派「特殊布教」の成立過程を中心に—」, 龍谷大学, 2016 年 8 月。  
 ⑮京都大学地域研究統合情報センターCIAS「仏教をめぐる日本と東南アジア地域—断絶と連鎖の総合的研究」研究会, 中西直樹, 「十五年戦争下の台湾宗教施策と日本仏教」, 京都大学地域研究統合情報センターCIAS, 2016 年 2 月。



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- ⑯龍谷大学仏教文化研究所研究談話会、龍谷大学アジア仏教文化研究センター研究発表, 中西直樹, 「仏教雑誌にみる大正期の台湾布教」, 龍谷大学, 2016年2月。
- ⑰龍谷大学仏教文化研究所研究談話会、龍谷大学アジア仏教文化研究センター研究発表, 中西直樹, 「1900年厦門事件追考—真宗大谷派の事件関与と世論対応を中心に—」, 龍谷大学, 2015年9月。
- ⑱京都大学地域研究統合情報センターCIAS「仏教をめぐる日本と東南アジア地域—断絶と連鎖の総合的研究」研究会, 中西直樹, 「日本仏教の南清進出とその挫折—厦門事件前後の大谷派の動向を中心に—」, 京都大学地域研究統合情報センターCIAS, 2015年7月。

### 岩田真美

- ①日本宗教学会第76回学術大会(パネル「仏教における〈教化〉の諸相—近世から近代へ—」), 岩田真美, 「明治期の妙好人伝と女性教化」, 東京大学, 2017年9月。
- ②American Academy of Religion, Mami Iwata, “The Shinzoku Nitai Doctrine and Jōdo Shinshū in Meiji Japan,” Convention Center, San Antonio, Texas, USA, 2016. 11.

### 能仁正顕

- ①北京・第4回日中蔵学研究セミナー並びに龍谷大学創立380周年記念事業「日中蔵学研究の現状」, 能仁正顕, 「日本におけるチベット学研究の歩みと多田等観」, 北京・中国蔵学研究中心, 2019年10月。\*16
- ②Symposium: Buddhism in shaping India-Japan Relations, Masaaki Nohnin, “Otani Kozui and India: Seeking the Origin of the Eastward Spread of Buddhism,” Ryukoku University, 2017. 12.
- ③旅順博物館建館百年記念国際学術検討会「シルクロードと新疆出土文献」, 能仁正顕, 「チベットの仏伝図『釈迦牟尼世尊絵伝』にみられる阿闍世王教化説話の特色」, 旅順博物館, 2017年11月。
- ④The 6th Beijing International Seminar on Tibetan Studies, Masaaki Nohnin, “A Research for Study of Tibetan Buddhist Culture in Japan: On a work in Tada Tohkan’s Collection,” 中国蔵学研究中心(China Tibetology Research Center), 北京, 2016年8月。

### 三谷真澄

- ①国際学術研討会「絲綢之路與新疆出土文献」(共催: 旅順博物館・北京大学・龍谷大学), 三谷真澄, 「旅順博物館所蔵トルファン出土仏典研究と龍谷大学」, 大連医科大学, 2017年11月。
- ②龍谷大学アジア仏教文化研究センター2016年度文化講演会, 三谷真澄, 「大谷光瑞の世界認識」, 龍谷大学, 2017年。
- ③国際シンポジウム「中央アジア出土資料のデジタルアーカイブ～その現状と課題～」, 三谷真澄, 「文献資料のデジタルアーカイブの意義～大谷探検隊とドイツトルファン隊の文字資料調査の立場から」, 龍谷大学, 2016年11月。

### 林 行夫

- ①Mahachulalongkornrajavidhya and The National Office of Buddhism in Thailand, The 17th National Conference and the 1st International Conference on the “Ethics and Sustainable Development,” Yukio Hayashi, “What Japanese Monks Observed and Considered the Thai Buddhism,” Mahachulalongkornrajavidhya, Ayutthaya, Thailand, 2018. 1.
- ②愛知大学人文社会学研究所主催公開講座『功德と喜捨と贖罪—宗教の政治経済学』(全5回), 林行夫, 「人を結ぶ仏教功德と精霊祭祀の〈経済〉」(第2回講座), 愛知大学, 2017年6月。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- ③愛知大学人文社会学研究所ワークショップ「南伝上座仏教の現代」, 林行夫, 「タイ仏教徒社会の宗教実践—その動態の諸相」, 愛知大学, 2016年10月。
- ④Cambodia, Japan and Thailand International Seminar on Theravada Buddhist Cultures in Mainland Southeast Asia, Yukio Hayashi, "Fission of the Hermitage in search of Dharma: A Case from KC in Northeast Thailand 2006-2014." Auditorium, Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 2016. 9.
- ⑤Cambodia, Japan and Thailand International Seminar on Theravada Buddhist Cultures in Mainland Southeast Asia, Yukio Hayashi, "The Scope of the Project of Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space: Comparative Case Studies of Cambodia, Thailand, Laos, Yunnan (China), Myanmar and Sri Lanka." Auditorium, Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 2016. 9.
- ⑥京都大学地域研究統合情報センター10周年記念シンポジウム「<地域>を測量る—現代世界への提言」, 林行夫, 「趣旨説明」および「制度の隙間の宗教的なる営み」, 京都大学, 2016年4月。
- ⑦日本タイクラブ第6回公開フォーラム, 林行夫, 「タイの人はなぜ出家するのか?」(基調講演), 大阪本町「綿業会館」, 2016年2月。

#### 大澤広嗣

- ①龍谷大学仏教文化研究所仏教文化セミナー, 大澤広嗣, 「財団法人朝鮮仏教団の留学生派遣と宗教民族学者の金孝敬」, 龍谷大学, 2017年7月。
- ②「김효경과 다이쇼대학 종교학연구실」, 大澤広嗣, 근대서지학회최「김효경저작집 출판기념 학술대회」, 2017년 6월(「金孝敬と大正大学宗教学研究室」, 近代書誌学会(韓国)主催「金孝敬著作集出版記念学術大会」, 2017年6月)。
- ③第67回佛教史学会学術大会, 大澤広嗣, 「新旧公益法人制度と近現代の仏教界」, 大谷大学, 2016年12月。
- ④龍谷大学アジア仏教文化研究センターグループ1ユニット B2016年度第2回ワークショップ, 大澤広嗣, 「近現代の宗教界と公益法人制度—仏教婦人会の法人化を中心に—」, 龍谷大学, 2016年11月。
- ⑤日本宗教学会第75回学術大会, 大澤広嗣, 「民法による宗教系社団・財団法人の史的意義」, 早稲田大学, 2016年9月。
- ⑥日本宗教学会第74回学術大会, 大澤広嗣, 「旧外地法と宗教制度」, 創価大学, 2015年9月。

#### 宮治 昭

- ①第46回奈良国立博物館夏季講座—地獄・極楽と浄土信仰の美術—, 宮治昭, 「仏教の世界観—生死輪廻図を中心に—」, 奈良県文化会館国際ホール, 2017年8月。
- ②中国人民大学シルクロード特別講演, 宮治昭, 「バーミヤーン美術と東西交流」, 中国人民大学, 2017年6月。
- ③中国人民大学シルクロード特別講演, 宮治昭, 「バーミヤーンの石窟構造と壁画」, 中国人民大学, 2017年6月。
- ④中日文化センター講座, 宮治昭, 「阿弥陀如来の信仰と美術(3)—浄土教の隆盛—日本—」, 中日文化センター, 2015年12月。
- ⑤中日文化センター講座, 宮治昭, 「阿弥陀如来の信仰と美術(2)—中国における阿弥陀信仰の発展—」, 中日文化センター, 2015年11月。
- ⑥中日文化センター講座, 宮治昭, 「阿弥陀如来の信仰と美術(1)」, 中日文化センター,

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

2015 年 10 月。

⑦両岸歴史文化研習会, 宮治昭, 「中央アジアの石窟美術—バーミヤーンとキジルを中心に—」, 敦煌研究院、2015 年 10 月。

### 野世英水

①日本宗教学会, 野世英水, 「近代真宗本願寺派教団と後期関東別院」, 早稲田大学, 2016 年 9 月。

### グループ 2(共時的研究班)・ユニット A: 現代日本仏教の社会性・公益性

#### 若原雄昭

①2019 年度第 2 回 RINDAS セミナー(2018 年度特別研究員研究成果報告会), 若原雄昭, 「ベンガルの大地に生きる仏教徒たち—ムスリムとヒンドゥーのはざままで—」, 龍谷大学, 2019 年 7 月。

②International Celebration of 2560th Buddha Jayanti and International Conference on the Lumbini Nepal: the Birth Place of Lord Buddha and the Fountain of Buddhism and World Peace, Yusho Wakahara, "Nepal's Contribution to the Modern Buddhist Academe: Reassessing Nepalese Sanskrit Manuscripts Kept in Japan", Kathmandu, Nepal, 2016. 5.

③International Celebration of 2560th Buddha Jayanti and International Conference on the Lumbini Nepal: the Birth Place of Lord Buddha and the Fountain of Buddhism and World Peace, Yusho Wakahara, "Svasti NepAlebhyaH: A Keynote Speech", Kathmandu, Nepal, 2016. 5.

#### 岡本健資

①龍谷大学世界仏教文化研究センター 国際シンポジウム「チベットの宗教文化と梵文写本研究」(共催: 龍谷大学仏教文化研究所・中国蔵学研究中心・龍谷学会), 岡本健資, 「多田等観請来「釈迦牟尼世尊絵伝」に描かれるムクターラターの物語」, 龍谷大学, 2017 年 12 月。

②2017 年度第 2 回中央アジア科研全体研究会「観心十法界図と地獄」, 岡本健資, 「『釈迦牟尼世尊絵伝』に描かれる「デーヴァダッタの墮地獄」について」, 龍谷大学, 2017 年 7 月。

③パーリ学仏教文化学会第 31 回学術大会, 岡本健資, 「Dhammapada-Atthakathā における「三道宝階降下」について」, 武蔵野大学, 2017 年 5 月。

#### 長上深雪

①日本仏教社会福祉学会第 52 回大会, 長上深雪, シンポジウム「社会福祉法以後の課題と仏教社会福祉」におけるコメンテーター, 2017 年 9 月。

#### 野呂 靖

①龍谷大学世界仏教文化研究センター日中韓国際シンポジウム「東アジア仏教思想史の構築—凝然・明恵と華嚴思想—」, 野呂靖, 「明恵の成仏義解釈とその周辺—義天版章疏の影響関係を中心に—」, 龍谷大学, 2019 年 12 月。

②東アジア仏教研究会年次大会, 野呂靖, 「14 世紀の東大寺華嚴—盛誉『華嚴手鏡』の形成とその周辺」, 駒澤大学, 2019 年 12 月。

③日本印度学仏教学会第 70 回学術大会, 野呂靖, 「義林房喜海の成仏義—高山寺蔵『三生成道料簡』を中心に—」, 仏教大学, 2019 年 9 月。

④仏教と自死に関する国際シンポジウム, 野呂靖, 「日本における自死・自殺用語の用例と

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

自殺観の変遷」, 龍谷大学, 2017 年 11 月。

⑤日本印度学仏教学会第 68 回大会パネル発表報告, 野呂靖, 「志玉の『華嚴五教章』講説と中世根来寺の華嚴学」, 花園大学, 2017 年 9 月。

⑥日本印度学仏教学会第 68 回大会, 野呂靖, 「明恵における宋代仏教の受容について」, 花園大学, 2017 年 9 月。

⑦宝法義林第 2 回国際シンポジウム, 野呂靖, 「華嚴僧は往生できるか—尊玄とその周辺—」, フランス, コレージュ・ド・フランス, 2017 年 9 月。

⑧国際シンポジウム「21 世紀元暁学の意味と展望」, 野呂靖, 「元暁『勝鬘経疏』逸文の基礎的研究」, 韓国・東國大學校, 2017 年 5 月。

⑨龍谷大学アジア仏教文化研究センター公開シンポジウム「明恵と高山寺」, 野呂靖, 「明恵と高山寺の教学—宋版『華嚴五教章』の受容をめぐる—」, 龍谷大学, 2016 年 6 月。

## グループ 2(共時的研究班)・ユニット B: 多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

### 高田信良

①2017 年度伊勢国際宗教フォーラム「宗教とことば—祈りの言葉・唱え言葉・動かす言葉—」, 高田信良, 「南無って, 祈り? 願い? 仏の呼び声?」, 皇學館大学, 2017 年 10 月。

②第 24 回「真宗教学学会」講演会, 高田信良, 「「本願力回向宗教」の宗祖、親鸞聖人」, しんらん交流館, 京都, 2016 年 11 月。

### 那須英勝

①日本仏教学会 2019 年度学術大会(第 89 回大会), 那須英勝, 「実在の浄土と観念の浄土—キリシタン教理書に投影された近世仏教の救済論—」, 東洋大学, 2019 年 8 月。

②The 19th Biennial Meeting of the International Association of Shin Buddhist Studies, Eisho Nasu, “Genshin’s Development of a Method for Contemplating Amida’s *Byakugō* (白毫観) and Its Influence on Japanese Pure Land Practice,” Dharma Drum Institute of Liberal Arts (法鼓文理学院), 2019.5.

③Shin-Buddhist, Muslim, Christian Dialogue, No. 2: Evil and Self-Awareness, Eisho Nasu, “Karmic Evil (悪業 *akugō*), Sin, Suffering, and Predestination: A Shin-Buddhist Perspective,” Muenster University (Stadthote Münster), 2017.7.

④18th Biennial Conference of the International Association of Shin Buddhist Studies, Eisho Nasu, “Discarding Self to Benefit Others Alone: Genshin’s Reformulation of Bodhicitta as Selfless” Great Compassion,” Musashino University, 2017. 7.

⑤龍谷大学アジア仏教文化研究センター国際シンポジウム“Shin Buddhism, Christianity, Islam: Conversations in Comparative Theology,” Session 4 “Amida, Allah, Trinity,” Eisho Nasu, “Relativizing the Monotheistic Discourses of Creation: Two Buddhists’ Views,” 龍谷大学, 2017 年 2 月。

⑥本願寺国際センターゼミナール(恵範講座), 那須英勝, 「キャンプ(強制収容所)に咲いた「ダルマ」の花: 田名大正師(1907~1972)と玉井好孝師(1900~1983)の戦時収容所での文書伝道に学ぶ」, 本願寺国際センター, 2017 年 2 月。

⑦日本宗教学会第 75 回学術大会, 那須英勝, 「棲浄斎誓鑑師(一七五三-一八二九)「解魔弁」考」, 早稲田大学, 2016 年 9 月。

⑧IBS-Ryukoku Lecture, Eisho Nasu, “Genshin’s Dialogical Hermeneutics to the Tendai Pure Land Buddhism and His Influence to the Formation of Shinran’s Thought,” Institute of Buddhist Studies, Berkeley, California, 2016.3.

⑨“Buddhism and Agriculture in Japan,” IBS-CBE Symposium, Eisho Nasu, “Shinran in the

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

Farming Communities of the Eastern (Kanto) Region in Medieval Japanhinran in the Farming Communities of the Eastern (Kanto) Region in Medieval Japan,” Visalia, California, 2016.3.

### 桂 紹隆

- ①5<sup>th</sup> International Workshop on Madhyamaka Studies Madhyamaka and Yogācāra: A Dialogue between Two Main Streams of Mahāyāna Buddhist Philosophy, Shoryu Katsura, “Madhyamaka and Yogācāra: A Dialogue between Two Main Streams of Mahāyāna Buddhist Philosophy,” Ryukoku University, 2019.11.
- ②Philology, Philosophy and the History of Buddhism: 60 Years of Austrian–Japanese Cooperation, Shoryu Katsura, “Mark Siderits on *anumāna*,” the University of Vienna, 2019.11.
- ③Buddhist Philosophy: The State of the Field, 2019 Numata Symposium in honor of the 35<sup>th</sup> anniversary of the Numata Chair Program, Shoryu Katsura, “Mark Siderits on *anumāna*,” the University of California, Berkeley, 2019.9.
- ④XVIIIth Congress of the International Association of Buddhist Studies, Shoryu Katsura, “The Four Yoga Stages of the Prajñāpāramitopadeśa,” University of Toronto, 2017. 8.
- ⑤International Workshop on Bhāviveka and Buddhist Logic, Shoryu Katsura, “Bhāviveka’s Proof Formulae Estimated by Dignāga’s Logic,” Zhejiang University (浙江大学), 2017. 7.
- ⑥駒沢大学成道会記念講演会, 桂紹隆, 「龍樹の仏陀観—ブツダ(達)は何を説いたか」, 駒沢大学, 2016年12月。
- ⑦HUBA 第40回公開講演会, 桂紹隆, 「『教行信証』を読む—仏教学の視点から—」, 広島大学, 2016年11月。
- ⑧第6回北京国際チベット学会, 桂紹隆, “Recovering a Sanskrit Text of the Nyāyamukha of Dignāga,” 中国蔵学研究中心(China Tibetology Research Center), 北京, 2016年8月。
- ⑨Buddhist Studies Workshop Lecture, Shoryu Katsura, “Did the Buddha teach any *dharma* according to Nāgārjuna?” Princeton University, 2016. 4.

### 佐藤智水

- ①漢魏南北朝史研究会, 佐藤智水, 「北魏造像記にみえる “奉為皇帝” 願文について」, 長野市戸隠, 2016年8月。

### 廣田デニス

- ①Approaches to Shin Buddhist Ethical Thinking, Dennis Hirota, “Shinran on Moral Life,” Jodo Shinshu Center, 2019.11.
- ②Shin Buddhism, Christianity, Islam: Conversations in Comparative Theology, Dennis Hirota, “The Conception of Practice in Shinran,” Institute of Buddhist Studies, 2019.6.
- ③Shin Buddhism, Christianity, Islam: Conversations in Comparative Theology, Dennis Hirota, “The Shin Buddhist Conception of Truth,” Ryukoku University, 2017. 2.
- ④American Philosophical Association, Dennis Hirota, “The Temporality of Religious Existence in Shinran and Heidegger,” Baltimore, Maryland, 2017.1.
- ⑤International Association for Japanese Philosophy, Dennis Hirota, “Shin Buddhism in the Light of Continental Philosophy,” Kyushu University, 2016. 10.
- ⑥Universität Münster, Cluster of Excellence: Religion and Politics, Dennis Hirota, “The Buddhist Encounter with Modernity in Japan,” Münster, Germany, 2016. 6.
- ⑦God or the Divine: Religious Transcendence beyond Monism and Theism, between Personality and Impersonality, Dennis Hirota, “The Locus of Transcendence in the Thought of Shinran,” Schwerte, Germany, 2016. 6.

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑧Shinran and Continental Philosophy: Shinran, Heidegger, Levinas, Dennis Hirota, "Shinran and Heidegger on the Phenomenology of Religion," Institute of Buddhist Studies, Berkeley, California, 2016. 4.

### 金澤 豊

①Mahachulalongkornrajavidyalaya University (MCU) The 17th National Conference and the 1st International Conference "Ethics and Sustainable Development," Yutaka Kanazawa, "The Role and Significance of Interfaith Chaplain in Japan: Based on Shinran's Views of Death and Great Compassion", Mahachulalongkornrajavidyalaya University, 2018.1.

②第36回日本自然学会学術講演会, 金澤豊, 「陸前高田市における災害モニュメントと宗教者の役割」, 2017年9月。

### <研究成果の公開状況>(上記以外)

シンポジウム・学会等の実施状況、インターネットでの公開状況等

<既に実施しているもの>

#### 【2019年度】

#### グループ1(通時的研究班)・ユニットA:日本仏教の形成と展開

##### ①2019年度 第1回 国内シンポジウム\*5

■テーマ : 宗教文化遺産を探る・記す・保つ—宗教テキスト・アーカイブス学術共同体の創成と実践—

■開催日時: 2020年2月23日(日)13:30 ~ 16:30

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目:

阿部泰郎(龍谷大学教授)

「趣旨説明: 地域における宗教テキスト文化遺産探査研究の現在」

小池淳一(国立歴史民俗博物館研究部教授)

「文字資料の歴史民俗学的探究—会津の聖教・典籍調査から—」

瀬谷貴之(神奈川県立金沢文庫主任学芸員)

「金沢文庫特別展と称名寺聖教—運慶・聖徳太子・貞慶—」

大河内智之(和歌山県立博物館主任学芸員)

「宗教文化遺産の維持・共有と地域社会—和歌山の事例から—」

■コメンテーター: 近本謙介(名古屋大学教授)

■司会 : 阿部泰郎(龍谷大学教授)

■参加者 : 16人

##### ②2019年度 第1回 学術講演会\*4

■報告題目: 密教の思想と美術

■開催日時: 2020年1月9日(木)10:45~12:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東翼101教室

■報告者 : 野口圭也(大正大学教授)

■ファシリテーター: 藤丸 要(龍谷大学教授)

■コメンテーター: 楠 淳證(龍谷大学教授)

■コメンテーター: 楠 淳證(龍谷大学教授)

■参加者 : 200人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

### ③2019年度 第1回 セミナー\*1

- 報告題目:親鸞における本地垂迹と神祇不拝
- 開催日時:2020年1月29日(水)13:15~15:00
- 場所 :龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者 :佐藤弘夫(東北大学名誉教授)
- ファシリテーター:玉木興慈(龍谷大学教授)
- コメンテーター:杉岡孝紀(龍谷大学教授)
- 司会 :玉木興慈(龍谷大学教授)
- 参加者 :35人
- 主催 :龍谷大学世界仏教文化研究センター親鸞浄土教総合研究班

### グループ1(通時的研究班)・ユニットB:近代日本仏教と国際社会

#### ①2019年度 第1回 研究会\*10

- 報告題目:日・印仏教交流と仏教の近代化
- 開催日時:2019年12月11日(水)17:00~19:00
- 場所 :龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者 :リチャード・ジャフィ(デューク大学教授)
- 司会 :菊川一道(龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員)
- 参加者 :25人
- 共催 :龍谷大学世界仏教文化研究センター

#### ②2019年度 第1回 セミナー\*13

- 報告題目:仏教交流の実相への視座—タイと日本の関係より—
- 開催日時:2019年10月11日(金)15:00~18:00
- 場所 :龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者 :村上忠良(大阪大学教授)
- 司会 :林 行夫(龍谷大学教授)
- 参加者 :24人
- 共催 :龍谷大学世界仏教文化研究センター仏教史・真宗史総合研究班

#### ③2019年度 第2回 セミナー(研究総括集会)\*14

- テーマ :「日本と東南アジアの仏教交流」
- 開催日時:2020年1月24日(金)~25日(土)
- 場所 :龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者・報告題目:
- 【1日目】
- 中西直樹(龍谷大学教授)
- 「明治期日本人僧侶の暹羅布教」
- 林 行夫(龍谷大学教授)
- 「石井米雄と日タイ仏教交流」
- 神田英昭(高野山真言宗僧侶)
- 「タイ仏教と日本仏教は対話できるのか?—タイ仏教への掛け橋になる—」
- 清水洋平(大谷大学非常勤講師、真宗総合研究所特別研究員)
- 「仏教經典をめぐる日タイ交流の史実と現実」
- 【2日目】
- 〈午前の部〉

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

伊東利勝(愛知大学人文社会学研究所)  
「日本とミャンマーの仏教交流にみる「国家と宗教」」

藤本 晃(浄土真宗誓教寺)

「仏教の交流、比丘サンガの交流」

〈午後の部〉

大澤広嗣(BARC 研究員、文化庁宗務課)

「宗教法人制度と東南アジア系の仏教団体」

■コメンテーター:

小林 知(京都大学)

村上忠良(大阪大学)

金澤 豊(龍谷大学)

■参加者 :29 人

■共催 :

龍谷大学世界仏教文化研究センター仏教史・真宗史総合研究班

龍谷学会

## グループ 2(共時的研究班)・ユニット A:現代日本仏教の社会性・公益性

### ①2019 年度 第 1 回 国際シンポジウム

■テーマ :東アジア仏教思想史の構築—凝然・明恵と華嚴思想—

■開催日時:2019 年 12 月 14 日(土)~15 日(日)

■場所 :龍谷大学大宮学舎東翼 302 教室

■報告者・報告題目:

【1 日目:凝然と東アジア仏教】

〈特別講演〉

横内裕人(京都府立大学教授)

「鎌倉中期の対外関係と宗教環境—宋仏教の移入と相克—」

〈午前の部〉

張 文良(中国人民大学教授)

「中国における凝然仏教思想の受容—中国仏教宗派説を中心に—」

岡本一平(慶應義塾大学非常勤講師)

「示観房凝然の浄土教史論—東アジア仏教思想史の構築に向けて—」

〈午後の部〉

王 頌(北京大学教授)

「凝然の「十世隔法異成門」解釈」

成昊官(暁山)(東国大学校博士課程)

「凝然の五教章通路記における智儼引用について」

朴 普藍(忠北大学校助教授)

「凝然の六相説の理解について」

中西俊英(東大寺華嚴学研究所研究員)

「「初発心時便成正覚」の思想史的考察—凝然の解釈の位置づけを中心に—」

藤丸 要(龍谷大学教授)

「華嚴観法と凝然」

大谷由香(龍谷大学講師)

「東アジアにおける南山宗教義の趨勢と凝然」

【2 日目:明恵と東アジア仏教】



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

金 天鶴(東国大学校教授)

「明恵の『解脱門義』における信と住の関係」

野呂 靖(龍谷大学准教授)

「明恵の成仏義解釈とその周辺—義天版章疏の影響関係を中心に—」

前川健一(創価大学教授)

「『明恵上人行状』の中の明恵像」

西谷 功(泉涌寺心照殿学芸員)

「明恵撰『涅槃講式』成立の背景—俊苾請来の宋代涅槃儀礼の視点から—」

■司会 :

藤丸 要(龍谷大学教授)

野呂 靖(龍谷大学准教授)

亀山隆彦(龍谷大学非常勤講師、アジア仏教文化研究センター博士研究員)

■通訳

李 慈郎(東国大学校教授)

金 龍泰(東国大学校教授)

李 曼寧(龍谷大学世界仏教文化研究センターRA、客員研究員)

■共催 :

龍谷大学世界仏教文化研究センター

東国大学校仏教文化研究院 HK 研究団

中国人民大学仏教與宗教学理論研究所

中央人民大学哲学與宗教学学院

■参加者 : 80 人

### ②2019 年度 第 1 回 学術講演会

■報告題目: 変容するタイ仏教社会

■開催日時: 2019 年 10 月 17 日(木)13:15 ~ 14:45

■場所 : 龍谷大学大宮学舎本館 2 階講堂

■報告者 : コンカーラトナラク・プラボンサク(タイ国タンマガーイ仏教研究所教授)

■ファシリテーター: 若原雄昭(龍谷大学教授)

■参加者 : 50 人

### ③2019 年度 第 2 回 学術講演会

■報告題目: 媽祖と観音

■開催日時: 2019 年 11 月 14 日 13 時 15 分~14 時 45

■場所 : 龍谷大学大宮学舎本館 2 階講堂

■報告者 : 樊 潔兮(潔兮傑舞団団長)

■ファシリテーター: 若原雄昭(龍谷大学教授)

■参加者 : 30 人

### グループ 2(共時的研究班)・ユニット B: 多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

#### ①2019 年度 第 1 回 研究会

■報告題目: クィア仏教学

■開催日時: 2020 年 3 月 3 日(火)15:00~17:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東麓 203

■参加者 : 7 人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

②2019 年度 第 1 回 学術講演会\*19

■報告題目: The Influence of “The Tibetan Book of the Dead” on Near-death Experiences in the West (『チベット死者の書』が西洋の臨死体験に与える影響)

■開催日時: 2019 年 7 月 29 日(月)16:45~18:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : イェンス・シュリーター(ベルン大学)

■司会 : 那須英勝(龍谷大学教授)

■参加者 : 40 人

2019 年度『研究報告書』を HP で公開(「研究進捗状況」を収録)。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/research/upfile/779ed2ff07cfbc6c5418a8531928072ecc93c344.pdf>

2019 年度第 1 号『ニューズレター』(通巻第 8 号)を HP で公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/7a579e2e051c27205802703bf7dfbe2b04e940aa.pdf>

2019 年度第 2 号『ニューズレター』(通巻第 9 号)を HP で公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/news.pdf>

【2018 年度】

センター全体

①2018 年度 第 1 回 研究総会

■開催日時: 2018 年 8 月 24 日(火)13:30~15:30

■場所 : 龍谷大学大宮学舎清和館 3 階ホール

■参加者 : 13 人

②2018 年度 第 2 回 研究総会

■開催日時: 2019 年 3 月 19 日(火)13:00~15:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■参加者 : 19 人

グループ 1(通時的研究班)・ユニット A: 日本仏教の形成と展開

①2018 年度 第 1 回 研究会

■報告題目: 『教行信証』の射程

■開催日時: 2018 年 4 月 10 日(月)16:45~18:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 3 階会議室

■報告者 : 杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■参加者 : 4 人

②2018 年度 第 2 回 研究会(公募研究報告会)

■報告題目: 日本三論宗と一三権実論争

■開催日時: 2018 年 12 月 13 日(木)13:15~14:45

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■報告者 : 小野嶋祥雄(2018 年度公募研究員)

■司会 : 楠 淳證(龍谷大学教授)

■参加者 : 17 人

③2018 年度 第 3 回 研究会(公募研究報告会)

■報告題目: 教行信証の延書について

■開催日時: 2019 年 3 月 11 日(月)17:00~18:30

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : 富島信海(2018 年度公募研究員)

■コメンテーター: 杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■参加者 : 17 人

④2018 年度 第 1 回 国際シンポジウム

■テーマ : 日本仏教と論義

■開催日時: 2018 年 5 月 12 日(土)~13 日(日)

■場所 : 龍谷大学大宮学舎

■報告者・報告題目:

【1 日目: 研究発表会】(アジア仏教文化研究センター主担当)

西山良慶(龍谷大学大学院博士課程)

「法相論義の研究—論義「転換本質」における神通不思議論の展開—」

高田 悠(龍谷大学非常勤講師)

「凝然門下における非情成仏義の展開」

別所弘淳(大正大学非常勤講師)

「東密の論義—主に新義の論義を中心に—」

ザイレ暁映(法相宗大本山興福寺教学部員)

「儀礼としての法相論義—口頭論義の分類・構成・意義—」

司会: 亀山隆彦(世界仏教文化研究センター客員研究員, 龍谷大学非常勤講師)

【2 日目: シンポジウム】(世界仏教文化研究センター主担当)

〈基調講演〉

ジャン=ノエル・ロベール(コレージュ・ド・フランス教授)

「宗教思想の原型としての論義」

〈講演〉

楠 淳證(龍谷大学教授)

「法相論義と仏道—仏性義の展開と—闡提の会通—」

蓑輪顕量(東京大学大学院教授)

「『法勝寺御八講問答記』に見る戒律論義」

苦米地誠—(元大正大学教授)

「論義の歴史と真言宗」

〈パネルディスカッション〉

コーディネーター: 阿部泰郎(名古屋大学教授)

パネリスト: ジャン=ノエル・ロベール, 楠 淳證, 蓑輪顕量, 苦米地誠—

■司会 : 野呂 靖(龍谷大学准教授)

■共催 :

名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター

龍谷大学世界仏教文化研究センター

■参加者 : 142 人(両日合計)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑤2018年度 第2回 国際シンポジウム

■テーマ : 文献学上の持律生活と現在の持律生活

■開催日時 : 2018年11月24日(土)10:00~16:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東翼 302 教室

■報告者・報告題目:

[第1部: パーリ律文献学からみた持律生活]

佐々木閑(花園大学教授)

「律蔵の意義と理念」

李 慈郎(東国大学校准教授)

「パーリ律から見る女性出家者の生活」

岩田朋子(龍谷大学龍谷ミュージアム准教授)

「律蔵に説かれる仏弟子のすがた」

[第2部: 現代の僧院生活]

Gyana Ratna(チッタゴン大学准教授)

「バングラデシュにおける僧侶の生活と社会 Buddhist Monk life of Bangladesh and their role in the society」

藏本龍介(東京大学東洋文化研究所准教授)

「現代ミャンマーの僧院生活—律を生きる出家者たち—」

飯國有佳子(大東文化大学准教授)

「ミャンマーにおける女性修行者の出家生活と律」

[第3部: 討論会]

司会者: 蓑輪顕量(東京大学大学院教授)

登壇者: 佐々木閑, 李 慈郎, 岩田朋子, Gyana Ratna, 藏本龍介, 飯國有佳子

■司会 : 大谷由香(龍谷大学特任講師)

■参加者 : 62人

⑥2018年度 第3回 国際シンポジウム

■テーマ : 日本仏教の展開とその造形(Medieval Japanese Buddhist Practices and Their Visual Art Expressions)

■開催日時 : 2019年1月18日(金)~19日(土)

■場所 : ハーバード大学ライシャワー日本研究所

■報告者・報告題目:

【1日目】

[Panel 1: Prince Shōtoku Worship and Its Artistic Traditions]

吉田一彦(名古屋市立大学)

「天皇代理者への崇拜: 聖徳太子信仰の成立とその特質」

Paul GRONER(University of Virginia)

“Reflections on the Movement to Revive the Precepts in Kamakura Japan: with a focus on Eison’s *Chōmonshū*”

瀬谷 愛(東京国立博物館)

「法隆寺東院舍利殿の美術と中世律宗」

Discussant: Melissa MCCORMICK(Harvard University)

[Panel 2: Harvard Museum Sedgewick Shōtoku Taishi at Age Two and Its Surroundings]

Julia CROSS(Harvard University)

“Hokkeji Nuns, Relic Worship, and Misappropriation in Medieval Japan”

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

Rachel SAUNDERS (Harvard Art Museum)

“Looking from the Inside Out: The Sedgwick Shōtoku Taishi at Age Two.”

Angela CHANG (Harvard Art Museum)

“A Technical Study of Prince Shotoku at the Harvard Art Museums: a Modern Look at the Materiality of the Sculpture and its Contents”

Discussant: Daniel BORENGASSER (Harvard University)

**【2 日目】**

[Panel 3: Buddhism of Nara Buddhist Temples, Buddhism of Mount Hiei and Surrounding Tendai Temples]

道元徹心 (龍谷大学)

「千観撰『法華三宗相對抄』に関する諸問題」

藤丸 要 (龍谷大学)

「凝然教学の諸問題」

Samuel MORSE (Amherst College)

“Artistic Competition and Kamakura Sculpture—Tōdaiji, Kōfukuji, and the Rengeō-in”

楠 淳證 (龍谷大学)

「貞慶の「法然浄土教批判」の特色—魔界法滅をめぐる—」

Discussant: Mikael BAUER (McGill University)

[Panel 4: Development of Medieval Japanese Esoteric Buddhism and Its Art]

Fabio RAMBELLI (UC Santa Barbara)

“Cosmic Sound, Emptiness, and the Path to the Pure Land: Buddhist Conceptualization of Music in Japanese Gagaku”

佐藤もな (帝京高等看護学院)

「大日如来とは何か——三点説を中心として」

上島 享 (京都大学)

「密教修法の構成と特質と中世社会—孔雀経法を通して—」

Sherry FOWLER (University of Kansas)

“Collective Commemoration: Kannon Print Scrolls from the Saigoku Pilgrimage”

Discussant: Jesse LEFEBVRE (Harvard University)

[Panel 5: Interaction between Esoteric Buddhism and Pure Land Buddhism]

北澤菜月 (奈良国立博物館)

「浄土教の造形世界」

Aaron PROFFITT (University at Albany, SUNY)

“Rethinking Exo-Esoteric Pure Land Buddhism

Evan Shea INGRAM (Chinese University of Hongkong)

“Chōgen’s Vision of Tōdaiji’s Great Buddha as Both Mahāvairocana and Amithābha”

Discussant: Robert RHODES (大谷大学)

■共催 : ハーバード大学ライシャワー日本研究所

■参加者 : 24 人

⑦2018 年度 第 1 回 ワークショップ

■報告題目: 親鸞の鬼神と民俗信仰

■開催日時: 2018 年 12 月 17 日(月) 16:45~18:30

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : 蒲池勢至 (同朋大学教授)

■コメンテーター: 川添泰信 (龍谷大学名誉教授)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■司会 : 杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■参加者 : 32 人

⑧2018 年度 第 2 回 ワークショップ

■テーマ : 比叡山の植生とその思想

■開催日時: 2019 年 1 月 15 日(火)15:00~16:30

■場所 : 龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室

■報告者・報告題目:

吉田慈順(天台宗典編纂所編輯員, 龍谷大学非常勤講師)

「辰張忌考」

村上明也(龍谷大学アジア仏教文化研究センターRA)

「比叡森林継承プロジェクトが持つ可能性」

■司会 : 楠 淳證(龍谷大学教授)

■参加者 : 29 人

⑨2018 年度 第 1 回 学術講演会

■報告題目: 弘法大師空海の伝記の新しい研究法

■開催日時: 2018 年 6 月 14 日(木)10:45~12:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東翼 101 教室

■報告者 : 阿部龍一(ハーバード大学教授)

■司会 : 藤丸 要(龍谷大学教授)

■参加者 : 227 人

⑩2018 年度 第 2 回 学術講演会

■報告題目: 『教行信証』「化身土巻」について—坂東本を通して—

■開催日時: 2018 年 7 月 23 日(月)16:45~18:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : 三木彰円(大谷大学教授)

■司会 : 杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■参加者 : 23 人

⑪2018 年度 第 3 回 学術講演会

■報告題目: 覚如上人と存覚上人の神祇観

■開催日時: 2018 年 10 月 1 日(月)16:45~18:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : 林 智康(龍谷大学名誉教授)

■司会 : 杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■共催 : 龍谷大学世界仏教文化研究センター—親鸞浄土教総合研究班

■参加者 : 23 人

⑫2018 年度 第 4 回 学術講演会

■報告題目: 自受用身に関する天台論義から見えるもの

■開催日時: 2018 年 11 月 29 日(木)10:45~12:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東翼 101 教室

■報告者 : 大久保良峻(早稲田大学教授)

■司会 : 楠 淳證(龍谷大学教授)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■参加者 :213 人

⑬2018 年度 第 5 回 学術講演会

- テーマ :戒律の思想と儀礼文化
- 開催日時:2018 年 12 月 15 日(土)13:00~16:30
- 場所 :龍谷大学大宮学舎清和館 3 階ホール
- 報告者・報告題目:  
西谷 功(BARC 研究員, 泉涌寺学芸員)  
「東アジアからみた鎌倉時代の戒律復興運動」  
大谷由香(龍谷大学特任講師)  
「東大寺戒壇上の塔の改変と日本律宗教学」
- 司会 :道元徹心(龍谷大学教授)
- 参加者 :26 人

⑭2018 年度 第 6 回 学術講演会

- テーマ :古代南都の戒律文化と美術
- 開催日時:2019 年 2 月 9 日(土)13:00~16:30
- 場所 :龍谷大学大宮学舎清和館 3 階ホール
- 報告者・報告題目:  
真田尊光(川村学園女子大学准教授)  
「鑑真一行の造像について —将来仏像との関係を踏まえて—」  
内藤 栄(奈良国立博物館学芸部長)  
「聖武天皇の持戒と正倉院宝物の成立」
- 司会 :西谷 功(BARC 研究員, 泉涌寺学芸員)
- 参加者 :49 人

⑮2018 年度 文化講演会

- 報告題目:薬師寺の法会
- 開催日時:2018 年 10 月 4 日(木)13:15~15:45
- 場所 :龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者 :加藤朝胤(法相宗大本山薬師寺執事長)
- 司会 :楠 淳澄(龍谷大学教授)
- 参加者 :32 人

グループ 1(通時的研究班)・ユニット B:近代日本仏教と国際社会

①2018 年度 第 1 回 研究会\*8

- 報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 9 回)
- 開催日時:2018 年 4 月 4 日(木)16:45~18:45
- 場所 :龍谷大学大宮学舎清和館 3 階会議室
- 参加者 :6 人

②2018 年度 第 2 回 研究会\*8

- 報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 10 回)
- 開催日時:2018 年 5 月 14 日(月)17:00~19:00
- 場所 :龍谷大学大宮学舎白亜館 2 階共同研究室 3

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■参加者 : 7 人

③2018 年度 第 3 回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 11 回)

■開催日時:2018 年 6 月 18 日(月)17:00~19:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎白亜館 2 階共同研究室 3

■参加者 : 6 人

④2018 年度 第 4 回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 12 回)

■開催日時:2018 年 8 月 9 日(木)17:00~19:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎白亜館 2 階共同研究室 3

■参加者 : 6 人

⑤2018 年度 第 5 回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 13 回)

■開催日時:2018 年 10 月 26 日(金)17:00~19:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎白亜館 2 階共同研究室 3

■参加者 : 8 人

⑥2018 年度 第 1 回 国際シンポジウム

■テーマ : 写本時代のシルクロード

■開催日時:2018 年 8 月 22 日(水)9:00~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者・報告題目:

〈第 1 部〉シルクロード・写本・伝播

榮 新江(北京大学教授)

「写本の路としてのシルクロード」

王 振芬(旅順博物館館長)

「旅順博物館と大谷文庫」

朱 玉麒(北京大学教授)

「トゥルファン文書中の北館厨牒流伝史」

〈第 2 部〉シルクロード・写本・歴史

孟 憲實(中国人民大学教授)

「敦煌・トゥルファン出土の「王言」について」

劉 子凡(中国社会科学院副研究員)

「シルクロードにおける弓月城と弓月道」

〈第 3 部〉シルクロード・写本・仏教

三谷真澄(龍谷大学教授)

「中央アジア出土漢字仏典断片目録について」

宋 成春(旅順博物館学芸員)

「旅順博物館所蔵仏典断片に関する調査と分析」

史 睿(北京大学古代史研究センター副センター長)

「シルクロード出土写経の書体による年代判定の研究」

〈第 4 部〉シルクロード・写本・文芸

游 自勇(首都師範大学教授)



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

「シルクロードにおける『百怪圖』」

段 真子(中国人民大学学芸員)

「中国国家図書館蔵写本『八相變』三点の関係について」

岸田悠里(龍谷大学仏教学専攻研究生, 博士後期課程修了)

「敦煌莫高窟と「仏母下天」」

■司会 : 三谷真澄(龍谷大学国際学部長)

■通訳 :

李 曼寧(龍谷大学世界仏教文化研究センター嘱託研究員, 同センターRA)

魏 藝(龍谷大学アジア仏教文化研究センターRA, 同大学仏教学専攻博士後期課程)

章 傑(龍谷大学国際文化科学研究科博士後期課程)

■共催 : 龍谷大学世界仏教文化研究センター西域総合研究班

■参加者 : 57 人

#### ⑦2018 年度 第 2 回 国際シンポジウム

■テーマ : 大谷光瑞師の構想と居住空間

■開催日時: 2018 年 10 月 6 日(土)9:30~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東翼 101 教室

■報告者・報告題目:

##### 【基調講演】

入澤 崇(龍谷大学長)

「大谷光瑞師のめざしたこと」

##### 【学術発表】

陳 祖恩(上海東華大学)

「光瑞師と上海別院・無憂園」

黄 朝煌(国立高雄大学前研究員)

「台湾・逍遙園と修復事業」

イムレ・ガランボス(イギリス・ケンブリッジ大学)

「欧州における大谷光瑞師の構想と居住空間」

エルダル・キュチュキュアルチュン(ボアジチ大学)

「トルコにおける大谷光瑞師の構想と農業」

菅澤 茂(工学院大学研究員)

「大谷光瑞の建築観について—その生涯に亘る建築家との関わりから考察する」

和田秀寿(龍谷ミュージアム学芸員)

「二楽荘と神戸大港都構想論—大谷光瑞師がめざした神戸への思い」

市川良文(龍谷大学文学部)

「管見三夜荘」

柴田幹夫(新潟大学)

「中国における大谷光瑞師の動向」

加藤斗規(別府大谷記念館)

「旅順大谷邸」と「大連浴日荘」

掬月誓成(別府大谷記念館)

「別府・観光都市計画と晩年の大谷光瑞師」

■コメンテーター:

白須淨眞(広島大学)

片山章雄(東海大学)

松居竜五(龍谷大学国際学部)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 司会 : 三谷真澄(龍谷大学国際学部長)
- 共催 : 龍谷大学世界仏教文化研究センター西域総合研究班
- 協賛 : 京都府
- 参加者 : 160 人

⑧2018 年度 第 1 回 ワークショップ

- テーマ : 明治期における高等教育と宗教系学校—学校制度・宗教制度の視点から再考する—
- 開催日時: 2018 年 7 月 13 日(金)13:15~14:45
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者 : 江島尚俊(田園調布学園大学専任講師)
- コメンテーター: 龍溪章雄(龍谷大学教授)
- 司会 : 岩田真美(龍谷大学准教授)
- 共催 :  
龍谷大学世界仏教文化研究センター共同研究「高輪仏教大学の研究」(龍溪章雄・研究代表)
- 参加者 : 24 人

⑨2018 年度 第 1 回 国際ワークショップ

- テーマ : 日本仏教と西洋/世界の 19 世紀
- 開催日時: 2018 年 11 月 2 日(金)13:00~18:00
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者・報告題目:  
【基調講演】  
ハンス=マルティン・クレーマ(ハイデルベルク大学)  
「19 世紀グローバル宗教史の中の日本仏教—近代的挑戦と浄土真宗—」  
【研究報告】  
オリオン・クラウタウ(東北大学)  
「明治期における大乘仏説と涅槃論」  
長谷川琢哉(親鸞仏教センター)  
「受容と抵抗—井上円了と欧米の東洋学・仏教学—」  
岩田真美(龍谷大学)  
「20 世紀初頭における仏教のグローバル・ネットワーク—高輪仏教大学と万国仏教青年連合会を中心に—」
- コメンテーター: 吉永進一(BARC 研究員, 舞鶴工業高等専門学校)
- ファシリテーター: 嵩 満也(龍谷大学)
- 共催 :  
龍谷大学世界仏教文化研究センター共同研究「高輪仏教大学の研究」(龍溪章雄・研究代表)
- 参加者 : 40 人

⑩2018 年度 第 1 回 セミナー

- テーマ : 日本とタイの仏教交流の諸局面(1)「スリランカ=タイの上座仏教と日本仏教」
- 開催日時: 2018 年 7 月 20 日(金)15:00~18:00
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者 : 藤本 晃(浄土真宗誓教寺住職)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■司会 : 林 行夫(龍谷大学教授)

■共催 : 世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班, 龍谷学会

■参加者 : 30人

⑪2018年度 第2回 セミナー

■テーマ : 日本とタイの仏教交流の諸局面(2)「経典をめぐる交流の史実と現実」

■開催日時: 2018年7月27日(金)15:00~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎東翼 302 教室

■報告者 : 清水洋平(大谷大学非常勤講師)

■司会 : 林 行夫(龍谷大学教授)

■共催 : 世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班, 龍谷学会

■参加者 : 23人

⑫2018年度 第3回 セミナー

■テーマ : 僧院とはなにか—ミャンマー都市部を事例として—

■開催日時: 2018年9月21日(金)15:00~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2階大会議室

■報告者 : 藏本龍介(東京大学東洋文化研究所准教授)

■司会 : 林 行夫(龍谷大学教授)

■共催 : 世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班, 龍谷学会

■参加者 : 30人

⑬2018年度 第4回 セミナー

■テーマ : 日本とタイの仏教交流の諸局面(3)「仏教のアジア布教・伝播の多面性~タイのタンマガーイ(Thammakai)を中心に」

■開催日時: 2018年10月12日(金)15:00~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2階大会議室

■報告者 : 矢野秀武(駒澤大学教授)

■司会 : 林 行夫(龍谷大学教授)

■共催 : 世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班, 龍谷学会

■参加者 : 31人

⑭2018年度 第5回 セミナー

■テーマ : ビルマと日本の仏教交流

■開催日時: 2018年11月16日(金)15:00~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2階大会議室

■報告者 : 伊東利勝(愛知大学教授)

■司会 : 林 行夫(龍谷大学教授)

■共催 : 世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班, 龍谷学会

■参加者 : 22人

⑮2018年度 第6回 セミナー

■テーマ : 上座部はなぜそう呼ばれるのか?—近代における「大乘仏教」と「上座部仏教」の誕生—

■開催日時: 2019年1月25日(金)15:00~18:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2階大会議室

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 報告者 : 馬場紀寿(東京大学東洋文化研究所准教授)
- 司会 : 林 行夫(龍谷大学教授)
- 共催 : 世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班, 龍谷学会
- 参加者 : 30 人

### グループ 2(共時的研究班)・ユニット A: 現代日本仏教の社会性・公益性

#### ①2018 年度 第 1 回 研究会

- 報告題目: 現代韓国における僧侶の社会活動
- 開催日時: 2019 年 1 月 28 日(月)17:30~18:30
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者 : 金 天鶴(東国大学校教授)
- 司会 : 野呂 靖(龍谷大学准教授)
- 参加者 : 12 人

#### ②2018 年度 第 2 回 研究会(公募研究報告会)

- 開催日時: 2019 年 2 月 22 日(金)13:00~15:00
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者・報告題目:  
川本佳苗(東南アジア地域研究研究所・連携研究員, 2018 年度 BARC 公募研究員)  
「大衆のヴィパッサナーから聖者の禅定へー日本におけるミャンマーのパオ仏教瞑想法の意義ー」  
菊川一道(龍谷大学非常勤講師, 2018 年度 BARC 公募研究員)  
「真宗私塾と初期海外伝道」
- 司会 :  
若原雄昭(龍谷大学教授)  
嵩 満也(龍谷大学教授)
- 参加者 : 15 人

#### ③2018 年度 第 1 回 セミナー

- 報告題目: 僧侶たちから見る葬式仏教ー宗教人類学と感情
- 開催日時: 2018 年 8 月 1 日(水)13:00~15:00
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者 : マーク・ロウ(BARC 研究員, マクマスター大学准教授)
- コメンテーター: 猪瀬優理(龍谷大学准教授)
- 司会 : 野呂 靖(龍谷大学准教授)
- 参加者 : 32 人

#### ④2018 年度 第 1 回 学術講演会

- 報告題目: 「敦煌飛天」舞から「媽祖月見」舞への改変
- 開催日時: 2018 年 10 月 2 日(火)13:15~14:45
- 場所 : 龍谷大学大宮学舎本館 2 階講堂
- 講師・パフォーマンス: 樊 潔兮(潔兮傑舞団団長, 中国・莆田学院媽祖研究センター研究員)
- 司会 : 若原雄昭(龍谷大学教授)
- 参加者 : 57 人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

## グループ 2(共時的研究班)・ユニット B: 多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

### ①2018 年度 第 1 回 研究会(公募研究報告会)

■報告題目: クイア仏教学の構築に向けて

■開催日時: 2018 年 12 月 7 日(金)15:00~16:30

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : 宇治和貴(筑紫女学園大学准教授, 2018 年度 BARC 公募研究員)

■参加者 : 13 人

### ②2018 年度 第 1 回 国際ワークショップ

■テーマ : Shinran and Continental Philosophy 親鸞と大陸哲学

■開催日時: 2018 年 6 月 7 日(木)13:15~16:00

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者・報告題目:

発表①: Charles Hallisey(ハーバード大学・神学大学院, 沼田恵範仏教文献学講座教授)

On the Sources of Morality: Reading Shinran with Jankelevitch and Levinas

道徳の複数の源泉について: ジャンケレビッチとレヴィナスを通して親鸞を読む

発表②: Janet Gyatso(ハーバード大学・神学大学院副院長, ハーシェイ仏教学講座教授)

Stepping out of the Bracket: Reading Marion for a Buddhist Way of Living

with the World

囲み括弧をから抜け出すために: 世界と共に仏教的に生きるためにマリオンを読む

■レスポネント:

嵩 満也(龍谷大学教授)

那須英勝(龍谷大学教授)

■参加者 : 40 人

■共催 : 世界仏教文化研究センター-国際研究部門

### ③2018 年度 第 1 回 国際シンポジウム

■テーマ : Shin Buddhism, Christianity, and Islam: Conversations in Comparative Theology (浄土真宗・キリスト教・イスラームにおける比較神学的対話)(第 3 回)

■開催日時: 2018 年 6 月 26 日(水)~29 日(金)

■場所 : ジョージタウン大学

■報告者:

Eisho Nasu(Ryukoku University)

“Amida’s Directing of Virtue and Its Moral Implications in Shin Buddhist Faith and Practice”

Mitsuya Dake(Ryukoku University)

“Shinran’s Idea of Realization in Shinjin and Nembutsu”

Dennis Hirota(Ryukoku University)

“The Real is Transformative Dynamic: Shinran’s Concept of Jinen”

【公開講演会】

Dennis Hirota(Ryukoku University)

“Learning from Others: Engaging the Shin Buddhist Path in the Contemporary World”

■参加者 : 40 人

■共催 : ミュンスター大学, ジョージタウン大学

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

#### ④2018 年度 第 1 回 国際学術講演会

■テーマ : 流転輪廻の面倒さをいかに体現するか—クイア仏教の「解放の神学」を目指して—

■開催日時: 2018 年 6 月 20 日(水) 16:45~18:15

■場所 : 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者 : Bee Scherer(カンタベリー・クライストチャーチ大学教授, INCISE センター所長)

■司会 : 那須英勝(龍谷大学教授)

■通訳 : 川本佳苗(京都大学東南アジア地域研究研究所連携研究員)

■参加者 : 20 人

2018 年度『研究報告書』を HP で公開中(「研究進捗状況」, 「ワーキングペーパー」を収録)。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/research/upfile/fab3284d87707ce9587740da6e4274195858034a.pdf>

2018 年度第 1 号『ニューズレター』(通巻第 6 号)を HP で公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/382326a7df3f264bcc6848244ae6e105efefb81e.pdf>

2018 年度第 2 号『ニューズレター』(通巻第 7 号)を HP で公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/9bf9fdb7b0a4e55616132e7c826efe970fd61726.pdf>

#### 【2017 年度】

##### センター全体

#### ①2017 年度 第 1 回 国際シンポジウム

■テーマ: 南都学・北嶺学の世界—法会と仏道—\*3

■開催日時: 2017 年 6 月 3 日(土)~4 日(日)

■場所: 法相宗大本山薬師寺

■報告者・報告題目:

##### 【1 日目】

[第 1 部: 法会と論義]

永村 眞(日本女子大学名誉教授)

「中世南都諸寺の法会 —講説・論義・打集を中心に—」

楠 淳證(龍谷大学教授)

「法相論義と仏道 —「一仏帰依」か「多仏帰依」か—」

〈法会実演〉

薬師寺衆僧 薬師寺伝灯の法会

[第 2 部: 法会の空間]

ニールス・グェルベルク(早稲田大学教授)

「法会と講式 —南都・北嶺の講式を中心として—」

フレデリック・ジラル(フランス極東学院教授)

「法会と芸能 —鴨長明, 道元における月講式, 三界唯心, 月の和歌—」

藤井恵介(東京大学大学院教授)

「法会と仏堂」

〈討論会〉

コーディネーター: 楠 淳證

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

登壇者:永村 眞, ニールス・グェルベルク, フレデリック・ジラルール, 藤井恵介

**【2 日目】**

[第 3 部:僧の生活と持律]

ポール・グローナー(ヴァージニア大学名誉教授)

「13・4 世紀の天台円頓戒に関する論義 —実導仁空を中心に—」

蓑輪顕量(東京大学大学院教授)

「南都の戒律 —中世復興から現代を考える—」

玉木興慈(龍谷大学教授)

「親鸞と戒律 —無戒名字の比丘—」

[第 4 部:東日本大震災と仏教 —仏道の現代的意義—]

〈基調報告〉

大谷徹瑩(法相宗大本山薬師寺執事)

「今, 仏教に何ができるか —被災地をめぐる—」

〈討論会〉

コーディネーター:若原雄昭(龍谷大学教授)

登壇者:

金澤 豊(龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員)

「岩手県陸前高田市における浄土真宗本願寺派の対人支援について」

安部智海(浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手)

「宮城県名取市における浄土真宗本願寺派の対人支援について」

高見昌良(天台宗務庁社会部社会課課長)

「問われた我々の存在意義 —天台宗防災士の誕生—」

森本公穰(華嚴宗大本山東大寺執事)

「仏教徒として, 今やるべきこととやっておくべきこと」

■参加者:191 名(両日合計)

■共催:法相宗大本山薬師寺

②2017 年度 第 1 回 研究総会

■開催日時:2017 年 8 月 2 日(水)13:30~15:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■参加者:24 人

③2017 年度 第 2 回 研究総会

■開催日時:2018 年 3 月 14 日(水)13:30~15:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館 3 階ホール

■参加者:17 人

**グループ 1(通時的研究班)・ユニット A:日本仏教の形成と展開**

①2017 年度 第 1 回 研究会

■報告題目:道宣の『四分律』理解

■開催日時:2017 年 11 月 27 日(月)17:00~20:00

■場所:龍谷大学大宮学舎白亜館 4 階共同研究室 4-1

■報告者:西山明範(一般財団法人律宗戒学院研究員)

■参加者:4 人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

②2017年度 第2回 研究会

■報告題目: 因明蠡測 “日本における『因明入正理論』の古写本について—因明論義展開の起点—”

■開催日時: 2018年1月18日(木)13:15~14:45

■場所: 龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室1・2

■報告者: 後藤康夫(2017年度 BARC 公募研究員, 龍谷大学非常勤講師)

■司会・コメンテーター: 楠 淳證(龍谷大学教授)

■参加者: 23人

③2017年度 第3回 研究会\*6

■テーマ: 比叡山の植生について

■開催日時: 2018年1月18日(木)15:15~17:15

■場所: 龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室1・2

■報告者・報告題目

土屋和三(BARC 研究員)

「山修山学の山の自然誌—比叡山の生態復元・創成のころみ—」

道元徹心(龍谷大学教授)

「近世比叡山における山修山学の理念—止観院蔵『比叡山再興縁起』等の史料より—」

■参加者: 15人

④2017年度 第1回 国内シンポジウム\*24

■テーマ: 日本浄土教の特質と多様性

■開催日時: 2017年10月9日(月)13:15~17:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目:

[基調講演]

平 雅行(京都学園大学教授, 大阪大学名誉教授)

「浄土教における顕密仏教と専修念仏—浄土教史の再構築をめざして—」

[パネル発表]

川添泰信(龍谷大学教授)

「法然と親鸞の師弟観」

中川 修(龍谷大学教授)

「専修念仏が提起する二・三の問題」

楠 淳證(龍谷大学教授)

「法相宗貞慶の浄土教思想の特色」

安達俊英(知恩院浄土宗学研究所研究員, 元佛教大学准教授)

「法然浄土教と本覚思想—歴史的意義と現代的意義—」

■パネルディスカッションコーディネーター: 玉木興慈(龍谷大学教授)

■総合司会: 高田文英(龍谷大学准教授)

■参加者: 148人

■共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑤2017年度 第1回 セミナー

■報告題目: 薬師寺声明の世界~花会式の美~

■開催日時: 2017年7月7日(金)13:15~14:45

■場所: 龍谷大学深草学舎顕真館



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■実演者:

村上太胤(法相宗大本山薬師寺管主)  
 加藤朝胤(法相宗大本山薬師寺執事長)  
 大谷徹瑒(法相宗大本山薬師寺副執事長)  
 倍巖良明(融通念仏宗法徳寺住職)  
 安田瑒基(法相宗大本山薬師寺執事)  
 加藤大覚(法相宗大本山薬師寺録事)

■解説者:加藤朝胤(法相宗大本山薬師寺執事長)

■参加者:215人

■共催:龍谷大学宗教部

⑥2017年度 第1回 学術講演会

■報告題目:日蓮の謗法観と阿闍世解釈—親鸞教学との接点を求めて—

■開催日時:2017年7月24日(月)16:45~18:15

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:原 慎定(立正大学教授)

■コメンテーター:杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■参加者:28人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

⑦2017年度 第2回 学術講演会

■報告題目:中世における天台論義書の一系譜—『阿弥陀房抄』を中心に—

■開催日時:2017年11月2日(木)16:45~18:15

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:長谷川裕峰(叡山学院講師)

■コメンテーター:道元徹心(龍谷大学教授)

■参加者:14人

⑧2017年度 第3回 学術講演会

■報告題目:親鸞にとっての真実行

■開催日時:2017年12月11日(月)17:00~18:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:一楽 真(大谷大学教授)

■コメンテーター:杉岡孝紀(龍谷大学教授)

■参加者:45人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

⑨2017年度 第4回 学術講演会

■テーマ:天台・恵心僧都源信と仏教美術

■開催日時:2017年12月16日(土)13:00~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■総合司会:西谷 功(BARC 研究員, 泉涌寺宝物館 学芸員)

■報告者・報告題目:

鯨井清隆(大津市歴史博物館 学芸員)

「天台三山と美術—比叡山延暦寺・園城寺(三井寺)・西教寺—」

北澤菜月(奈良国立博物館 情報サービス室 主任研究員)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

「恵心僧都源信と浄土信仰の美術」

■参加者:35人

⑩2017年度 第5回 学術講演会

- 報告題目:親鸞にとっての真実心
- 開催日時:2018年1月22日(月)16:45~18:15
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者:玉木興慈(龍谷大学教授)
- コメンテーター:高田文英(龍谷大学准教授)
- 司会:杉岡孝紀(龍谷大学教授)
- 参加者:21人

⑪2017年度 第6回 学術講演会

- テーマ:天台の思想と造形, 文化, 儀礼
- 開催日時:2018年3月10日(土)13:00~16:30
- 場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール
- 報告者・報告題目:  
西谷功(BARC 研究員, 泉涌寺学芸員)  
「知られざる宋代天台の儀礼と文化」  
久保智康(叡山学院教授, 京都国立博物館名誉館員)  
「天台の教説と造形美術」
- 司会:大谷由香(龍谷大学特任講師)
- 参加者:35人

⑫2017年度 文化講演会

- テーマ:聖地に受け継がれし伝灯の法会(第1回)
- 報告題目:奈良時代から続く不退の行法—東大寺修二会の世界—
- 開催日時:2017年11月19日(日)13:30~15:00
- 場所:龍谷大学響都ホール校友会館
- 報告者:狭川普文(華嚴宗大本山東大寺別当)
- 参加者:55人
- 共催:龍谷大学仏教文化研究所

⑬2017年度 文化講演会

- テーマ:聖地に受け継がれし伝灯の法会(第2回)
- 報告題目:南都の伝灯法会—仏に成る道—
- 開催日時:2017年12月2日(土)13:30~15:00
- 場所:龍谷大学響都ホール校友会館
- 報告者:楠 淳證(龍谷大学教授)
- 参加者:37人
- 共催:龍谷大学仏教文化研究所

⑭2017年度 文化講演会

- テーマ:聖地に受け継がれし伝灯の法会(第3回)
- 報告題目:薬師寺の伝灯法会—花会式の世界—
- 開催日時:2018年1月20日(土)13:30~15:00

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 場所: 龍谷大学響都ホール校友会館
- 報告者: 村上太胤(法相宗大本山薬師寺管主)
- 参加者: 93 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

### グループ 1(通時的研究班)・ユニット B: 近代日本仏教と国際社会

#### ①2017 年度 第 1 回 研究会\*8

- 報告題目: 『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 6 回)
- 開催日時: 2017 年 7 月 24 日(月)16:30~18:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎清和館 3 階会議室
- 参加者: 6 人

#### ②2017 年度 第 2 回 研究会\*8

- 報告題目: 『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 7 回)
- 開催日時: 2017 年 10 月 6 日(金)16:00~18:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎清和館 3 階会議室
- 参加者: 6 人

#### ③2017 年度 第 3 回 研究会\*8

- 報告題目: 『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第 8 回)
- 開催日時: 2017 年 12 月 1 日(金)16:00~18:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎清和館 3 階会議室
- 参加者: 6 人

#### ④2017 年度 第 4 回 研究会

- テーマ: 明治仏教の国際化に関する共同研究への展望
- 開催日時: 2017 年 12 月 8 日(金)15:00~18:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者・報告題目:  
Stephan Licha(ハイデルベルク大学日本学術研究所)  
「Mahāyāna in Europe: Japanese Buddhists and Their Contribution to Academic Knowledge on Buddhism in Nineteenth-Century Europe」  
嵩 宣也(龍谷大学大学院)  
「明治仏教における翻訳語の研究—特に真宗の英訳仏書を中心に—」
- 参加者 : 10 人

#### ⑤2017 年度 二国間交流事業シンポジウム

- テーマ: 日印交流における仏教
- 開催日時: 12 月 23 日(土)11:00-18:45
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者・報告題目:  
[公開講演会]  
小島裕子(Kojima, Yasuko, 国際仏教学大学院大学)  
「大仏を開眼した菩提僊那(ボーディ・セーナ)—日本文化の中に構築された「インド」—」  
("Bodhi Sena, the Priest to Consecrate the Great Buddha: Imagined 'India' in the History of

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

Japanese Culture”)

[研究報告]

Minowa, Kenryo (蓑輪顕量, 東京大学)

“Longing for India: Japanese Buddhist and India”

Dake, Mitsuya (嵩 満也, 龍谷大学)

“Japanese Buddhists Views of India Seen in the Magazine Bukkyokaigaijijo (1888–1893)”

Okuyama, Naoji (奥山直司, 高野山大学)

“Japanese Buddhists in Recovery Movement of the Bodh Gaya Temple After 1891: The role of Shaku Kōzen and the Shingon Sect”

Tomas Newhall (トマス・ニューホール, 東京大学)

“From “bongaku” 梵学 to “indo tetsugaku” 印度哲学: The Development of Indology at Japanese Universities”

Nohnin, Masaaki (能仁正顕, 龍谷大学)

“Otani Kozui and India: Seeking the Origin of the Eastward Spread of Buddhism”

Ranjana Mukhopadhyaya (ランジャナ・ムコパディヤーヤ, デリー大学)

“Proselytizing in the “Western Paradise”: India in the making of Fujii Nichidatsu and Nipponzan Myohoji”

Okamoto Yoshiko (岡本佳子, 国際基督教大学アジア文化研究所)

“A Dream of an Asian Religious Conference: Japan–India Cultural Interaction behind the Journey of Okakura Kakuzo, Oda Tokuno and Hori Shitoku to India”

Bessho, Yusuke (別所裕介, 駒澤大学)

“Buddhist Heritages Development Assistance as Present–day India–Japan Friendship: By Comparison to JICA, APECF and FPMT”

Sato Ryojyun (佐藤良純, 大正大学)

“Indian Deities of Buddhism and Hinduism in Japan”

Funahashi, Kenta (舟橋健太, 龍谷大学)

“Development of Buddhist Conversion Movements in Contemporary India: The View from Local and Global”

Togawa, Masahiko (外川昌彦, 東京外国語大学)

“Living with Gandhi: Fujii Gurji and India–Japan Relations in the 1930s”

■参加者: 30 人

■共催:

東京外国語大学 AA 研・日本学術振興会二国間交流事業 (JSPS-ICHR), 龍谷大学・南アジア研究センター (RINDAS) / 世界仏教文化研究センター (RCWBC), 東京外大 AA 研・基幹人類学班, Samutthan Foundation, New Delhi

⑥2017 年度 第 1 回 セミナー

■テーマ: 日本仏教アジア布教の諸問題

■開催日時: 2017 年 7 月 31 日 (月) 12:50~17:40

■場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者・報告題目:

中西直樹 (龍谷大学教授)

「日本仏教によるアジア布教史概観」

大澤広嗣 (文化庁文化部宗務課専門職)

「財団法人朝鮮仏教団の留学生派遣と宗教民族学者の金孝敬」

野世英水 (龍谷大学非常勤講師)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

「真宗本願寺派関東別院の活動と終焉」

中西直樹

「戦前期日本仏教のシンガポール布教—昭和初期までの本願寺派の動向を中心に—」

■ファシリテーター: 林 行夫(龍谷大学教授)

■参加者: 27 人

■共催: 龍谷大学仏教文化研究所, 龍谷学会

⑦2017 年度 第 2 回 セミナー

■報告題目: 近代仏教の時代のすれちがい—戦前, 戦中の日本で刊行された仏教雑誌, 書籍にみるカンボジア関連記事—

■開催日時: 2017 年 11 月 17 日(金)13:30~17:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者: 笹川秀夫(立命館アジア太平洋大学教授)

■ファシリテーター: 林 行夫(龍谷大学教授)

■コメンテーター: 中西直樹(龍谷大学教授)

■参加者: 10 人

■共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑧2017 年度 第 3 回 セミナー

■開催日時: 2018 年 2 月 24 日(金)

■場所: 大宮学舎西翼 3 階小会議室

■報告者・報告題目

安藤徳明(2017 年度 BARC 公募研究員, 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所プログラム研究員)

「タイの仏教寺院における社会福祉機能の実態研究」

神田英昭(高野山真言宗僧侶)

「タイと日本の仏教は対話できるか？」

■コメンテーター: 村上忠良(大阪大学大学院教授)

■参加者: 16 人

■共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑨2017 年度 第 1 回 学術講演会

■テーマ: 大谷光瑞研究をめぐる諸問題~旅順博物館開設 100 周年にあたって~

■開催日時: 2017 年 6 月 30 日(金)14:45~18:30

■場所: 龍谷大学大宮学舎本館講堂

■報告者・報告題目:

王 振芬(旅順博物館館長)

「旅順博物館所蔵の仏教文物」

※通訳: 徐 光輝(龍谷大学教授)

掬月誓成(別府大谷記念館副館長)

「大谷光瑞師の都市計画について」

■ファシリテーター: 三谷真澄(龍谷大学教授)

■参加者: 102 人

⑩2017 年度 第 2 回 学術講演会

■報告題目: Mid-century Buddhist Engagements in America: The Berkeley Temple

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

## Newsletter 1939-1953

- 開催日時:2017年7月3日(月)17:30~19:00
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者:Scott Mitchell(米国仏教大学院教授)
- ファシリテーター:嵩 満也(龍谷大学教授)
- コメンテーター:釋氏真澄(龍谷大学大学院研究生)
- 参加者:14人
- 共催:龍谷大学仏教文化研究所

## ⑪2017年度 第3回 学術講演会

- 報告題目:明治印度留学生
- 開催日時:2017年12月8日(金)13:00~14:30
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者:奥山直司(高野山大学教授)
- 参加者:15人

## ⑫2017年度 第4回 学術講演会

- 報告題目:大谷光瑞師と台湾・逍遙園~その建築空間と修復事業を中心として~
- 開催日時:2018年1月19日(金)11:00~12:30
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者:黄 朝煌(新潟大学現代社会文化研究科・客員研究員, 前国立高雄大学・研究員)
- 参加者:18人

## グループ2(共時的研究班)・ユニットA:現代日本仏教の社会性・公益性

## ①2017年度 第1回 研究会

- テーマ:現代インドにおける仏教運動の諸相②
- 開催日時:2017年5月28日(日)13:30~17:30
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者・報告題目:  
嵩 満也(龍谷大学)  
「ナーグプルにおける仏教グループの諸相」  
壬生泰紀(龍谷大学)  
「カルナータカ州およびテランガーナ州の仏教運動の現状—ボーディ・ダンマ師の活動を通して—」  
佐藤智水(龍谷大学)  
「カルナータカ州ビジャプールの仏教徒たちとリーダー」  
舟橋健太(龍谷大学)  
「カルナータカ州における仏教運動の展開」
- 参加者:25人
- 共催:龍谷大学南アジア研究センター(RINDAS)

## ②2017年度 第2回 研究会(公募研究報告会)

- 開催日時:2018年1月25日(木)13:15~14:45
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■報告者・報告題目:

スダン・シャキヤ(2017年度 BARC 公募研究員, 種智院大学准教授)

「現代のネパールにおける仏教教団の構成と社会的役割」

井上綾瀬(2017年度 BARC 公募研究員, 龍谷大学仏教文化研究所客員研究員)

「律文献にみられる薬について—塩を一例として—」

■司会: 那須英勝(龍谷大学教授)

■参加者: 10 人

③2017年度 第1回 国内シンポジウム

■テーマ: 仏教×社会福祉問題=∞

■開催日時: 2017年10月31日(火)13:00~16:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目:

清水道子(保護司, 浄土真宗本願寺派真光寺坊守)

「保護司活動を通して」

松島靖朗(特定非営利活動法人おてらおやつクラブ代表理事)

「「お寺の社会福祉活動」を支えるもの~おてらおやつクラブの現場から~」

石川到覚(大正大学名誉教授)

「仏教のボランティアとソーシャルワーク」

■ファシリテーター: 長上深雪(龍谷大学教授)

■参加者: 35 人

■共催: 龍谷学会

■協力: 日本仏教社会福祉学会, 特定非営利活動法人 JIPPO, 特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

④2017年度 第1回 国際シンポジウム

■テーマ: 仏教と自死に関する国際シンポジウム

■開催日時: 2017年11月9日(木)~10日(金)

■場所: 9日=浄土真宗本願寺派伝道院/10日=龍谷大学響都ホール校友会館

■報告者・報告題目:

【9日】(※関係者のみ)

[第1部: 自死・自殺をめぐる課題の共有にむけて]

村澤孝子(京都府精神保健福祉総合センター)

「関西における自死の現状と課題」

野呂 靖(龍谷大学)

「日本における〈自死〉・〈自殺〉用語の用例と自殺観の変遷」

NPO 法人京都自死・自殺相談センター

「研修方法の紹介—相談団体の事例より—」

[第2部: 日本における宗教者の自死に関する活動—その現状と課題—]

関本和弘(融通念仏宗, 自死に向き合う関西僧侶の会, NPO 法人大阪自殺防止センター)

リメンバー名古屋自死遺族の会

竹本了悟(浄土真宗本願寺派総合研究所, NPO 法人京都自死・自殺相談センター)

[第3部: 海外における宗教者の自死に関する活動]

釋慧開(佛光山, 南華大學學術副校長, 佛光大學佛教學院院長)

ボーダナンダ(ミトル・ミツロ運動, 青少年リハビリセンター創立者)

ジンジ・ウリングハム(ウパーヤ禅センター, 病院チャップレン, 精神医療医)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

【10日】(※一般公開)

[基調講演]

佐々木閑(花園大学教授)

「仏教は自死・自殺にどう向き合うか」

[提言]

小川有閑(大正大学地域構想研究所・BSR 推進センター)

野呂 靖(龍谷大学)

イレヌ・ユーエン(米国ナローパ佛教大学)

※コーディネーター:岡野正純(孝道教団)

[声明文の発表]

ジョナサン・ワッツ(孝道教団・国際仏教交流センター)

竹本了悟(浄土真宗本願寺派総合研究所, NPO 法人京都自死・自殺相談センター)

■参加者:57人(9日), 128人(10日)

■共催:浄土真宗本願寺派総合研究所, 孝道教団・国際仏教交流センター(IBEK), 曹洞宗総合研究センター, 大正大学地域構想研究所・BSR 推進センター, 教団附置研究所懇話会自死部会, 自死に向き合う関西僧侶の会, NPO 法人京都自死・自殺相談センター

⑤2017年度 第1回 ワークショップ

■報告題目:医療と福祉におけるエンゲージドブディズム

■開催日時:2017年8月3日(木)16:00~18:00

■場所:龍谷大学大宮学舎 清風館 B103 教室

■報告者:木下克俊(臨床宗教師)

■コメンテーター:長上深雪(龍谷大学教授)

■参加者:24人

■共催:日本仏教社会福祉学会

⑥2017年度 第1回 国際セミナー

■報告題目:Compassion in Action: Change towards Better Life

■開催日時:2017年4月25日(火)17:00~19:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:The Venerable Ananda (Maha Bodhi Society, Bengaluru, INDIA)

■参加者:20人

■共催:龍谷大学南アジア研究センター(RINDAS)

グループ2(共時的研究班)・ユニットB:多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

①2017年度 第1回 国際シンポジウム

■テーマ:悪と自己意識(Evil and Self-Awareness)

■開催日時:2017年7月12日(水)~14日(金)

■場所:ミュンスター大学

■報告者・報告題目:

【2017年7月12日(水):Public Lectures】

Prof. Imtiyaz Yusuf (Mahidol University, Bangkok):

“Buddhism, Islam and Politics in South- and Southeast Asia”

Prof. Mouhanad Khorchide (Muenster University):

“Islam and Inter-Faith Relations”



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

**【2017年7月13(木): Research Meetings】**

[Session (1): Karmic Evil (悪業 akugō), Sin, Suffering, and Predestination]

A Shin-Buddhist Perspective: Eisho Nasu

A Muslim Perspective: Imtiyaz Yusuf

A Christian Perspective: James Fredericks

Responses by Nasu, Yusuf, Fredericks

Replies to Responses

General discussion

[Session (2): Practice (行 gyō), Prayer, and Transformation]

A Shin-Buddhist Perspective: Dennis Hirota

A Muslim Perspective: Maria Dakake (via Skype)

A Christian Perspective: Perry Schmidt-Leukel

Responses by Hirota, Dakake, Schmidt-Leukel; Replies

General discussion

**【2017年7月14日(金): Research Meetings】**

[Session (3): Repentance and Forgiveness, Aspiration and Hope]

A Shin-Buddhist Perspective: David Matsumoto

A Muslim Perspective: Mouhanad Khorchide

A Christian Perspective: Peter Phan

Responses by Matsumoto, Khorchide, Phan; Replies

General discussion

[Session (4): The Nature of Human Existence]

A Shin-Buddhist Perspective: Mitsuya Dake

A Muslim Perspective: Junya Shinohe

A Christian Perspective: Bernhard Nitsche

Responses by Dake, Shinohe, Nitsche; Replies

General discussion

Reflection on the conference, opened up by a statement by Leo Lefebure

■参加者: 70人(12日), 40人(13日), 35人(14日)

■共催: ミュンスター大学, ジョージタウン大学

**②2017年度 第1回 国際ワークショップ**

■テーマ: 越境する日本の女性仏教徒

■開催日時: 2017年7月17日(月)14:00~17:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■趣旨説明: 本多 彩(兵庫大学准教授)

■報告者・報告題目:

ヴィクトリア・吉村(浄土真宗本願寺派玄武山正念寺坊守)

“Female, Foreign and in the Firing Line: The Adventures of a British female Buddhist Priest in Rural Japan”

パトリシア・宇宿(サンファンダバレー本願寺仏教会開教使)

“Transcending Dichotomy: a Perspective from America”

※通訳: 川本佳苗(龍谷大学大学院)

■ファシリテーター: 那須英勝(龍谷大学教授)

■コメンテーター: 川橋範子(名古屋工業大学教授)

■参加者: 40人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

③2017年度 第1回 国際セミナー

■テーマ:近代仏教婦人会の諸相

■開催日時:2017年7月14日(金)13:30~17:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目:

中西直樹(龍谷大学教授)

「近代仏教婦人会の興起とその歴史的意義」

岩田真美(龍谷大学准教授)

「小野島行勲の関東開教と上毛婦人教育会」

近藤俊太郎(龍谷大学非常勤講師)

「近代大阪における真宗の女子教育—相愛女学校創立をめぐる—」

■参加者:21人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所, 龍谷学会

④2017年度 第1回 学術講演会

■テーマ:レイモン・パニカーと宗教間の対話—クリスチャン・ヒンドゥー・ブディストの立場から—

■開催日時:2017年4月26日(水)13:15~14:45

■場所:龍谷大学大宮学舎北翼2階204

■報告者:ユサ・ミチコ(西ワシントン大学 現代・古典語学科)

■ファシリテーター:那須英勝(龍谷大学教授)

■参加者:88人

■共催:仏教文化研究所, 世界仏教文化研究センター

⑤2017年度 第2回 学術講演会

■テーマ:現代ミャンマーにおける女性出家者の生活と役割(Buddhist Nuns' Lives and Roles in Modern Myanmar)

■開催日時:2018年1月26日(金)13:15~14:45

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階第会議室

■報告者:Thisar Nandi (ティサ・ナンディ) 師(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科(ASAFAS))

■ファシリテーター:那須英勝(龍谷大学文学部教授), 川本佳苗(龍谷大学大学院研究生)

■参加者:16人

■共催:仏教文化研究所, 世界仏教文化研究センター

2017年度『研究報告書』をHPで公開中(「研究進捗状況」, 「ワーキングペーパー」を収録)。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/news/2018/05/2017up.html>

2017年度第1号『ニューズレター』(通巻第4号)をHPで公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/f180c060fd2d04946e1d3e8b9783c4c8e00e2a39.pdf>

2017年度第2号『ニューズレター』(通巻第5号)をHPで公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/35520f5285ea689b0472e58a55bd811542a9e091.pdf>

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

**【2016 年度】****センター全体****①2016 年度 第 1 回 研究総会**

■開催日時:2016 年 7 月 29 日(金)13:15~16:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■参加者:25 人

**②2016 年度 第 1 回 国際シンポジウム**

■テーマ :Shin Buddhism, Christianity, and Islam: Conversations in Comparative Theology  
(浄土真宗・キリスト教・イスラームにおける比較神学的対話)

■開催日時:2017 年 2 月 15 日(水)~17 日(金)

■場所:龍谷大学大宮学舎清風館地下 1 階 B102

■報告者・報告題目:

【1 日目:公開講演会】テーマ「宗教多様性をどう理解するか?—ギフォードレクチャーを終えて—」

ペリー・シュミット・ルンケル(ミュンスター大学教授, 2015 年度ギフォードレクチャー講演者)

「宗教多様性のフラクタル的解釈」

小布施祈恵子(神戸市立外国語大学研究員)

「仏教徒とムスリムの相互認識—日本仏教からの視座を中心に—」

通訳:那須英勝(龍谷大学文学部教授)

【2 日目:Workshop】

First Session: Buddha's Teaching, Revelation, Logos

Dennis Hirota(Ryukoku University)

Imtiyaz Yusuf(Mahidol University)

Perry Schmidt-Leukel(Münster University)

Second Session: Universality and Exclusivism

Mitsuya Dake(Ryukoku University)

Junya Shinohe(Doshisha University)

Peter Phan(Georgetown University)

【3 日目:Workshop】

Third Session: Myth and History

David Matsumoto(Institute of Buddhist Studies)

Maria Dakake(George Mason University)

James L. Fredericks(Loyola Marymount University)

Fourth Session: Amida, Allah, Trinity

Eisho Nasu(Ryukoku University)

Elif Emrahmetoglu(Münster University)

Bernhard Nitsche(Münster University)

■参加者:90 人

■共催:Münster University, Georgetown University

**③2016 年度 第 2 回 研究総会**

■開催日時:2017 年 3 月 14 日(火)15:00~17:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302

■参加者:21 人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

### グループ 1(通時的研究班)・ユニット A: 日本仏教の形成と展開

#### ①2016 年度 第 1 回 研究会

■報告題目: 論義と仏道—法相・華嚴・天台—

■開催日時: 2016 年 4 月 13 日(水)16:30~18:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎楠研究室

■報告者:

楠 淳證(龍谷大学アジア仏教文化研究センター長, 文学部教授)

藤丸 要(龍谷大学文学部教授)

道元徹心(龍谷大学理工学部教授)

■参加者: 3 人

#### ②2016 年度 第 2 回 研究会

■開催日時: 2017 年 1 月 19 日(木)13:15~14:45

■場所: 龍谷大学大宮学舎北翼 203 教室

■報告者・報告題目:

小南沙月(2016 年度 BARC 公募研究員)

「慈覚大師円仁将来目録の研究—『入唐求法巡礼行記』との関連を中心に—」

楠 淳證(BARC センター長, 龍谷大学文学部教授)

「法相論義「一仏繫属」展開の意義—貞慶による法然浄土教批判の構築—」(※下記「⑦2016 年度第 3 回セミナー」において報告を予定していたが, 諸事情により変更した。)

■司会: 楠 淳證(龍谷大学アジア仏教文化研究センター長, 文学部教授)

■コメンテーター: 道元徹心(龍谷大学理工学部教授)

■参加者: 26 人

#### ③2016 年度 第 3 回 研究会

■報告題目: 唐招提寺照遠の事跡と著作

■開催日時: 2017 年 3 月 8 日(水)9:00~12:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎白亜館 4 階(共同研究室 4-1)

■報告者: 西山明範(一般財団法人律宗戒学院研究員)

■参加者: 4 人

#### ④2016 年度 第 1 回 国内シンポジウム

■テーマ: 南都学・北嶺学の構築に向けて—論義と儀礼—

■開催日時: 2016 年 6 月 3 日(金)13:15~16:30

■場所: 龍谷大学大宮学舎清和館 3 階ホール

■基調講演:

上島 享(京都大学大学院文学研究科・文学部教授)

「古代・中世における論義法会の歴史変遷とその意義—朝廷と南都・北嶺の論義法会—」

■報告者・報告題目:

藤平寛田(天台宗典編纂所編輯長, 叡山学院講師)

「天台の論義」

蜷川祥美(岐阜聖徳学園大学短期大学部教授)

「法相の論義」

■参加者: 189 人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑤2016年度 第1回 セミナー

■報告題目:薬師寺の法会—花会式と慈恩会を中心として—

■開催日時:2016年10月13日(木)13:15~14:45

■場所:龍谷大学大宮学舎北翼203教室

■報告者:加藤大覚(薬師寺録事)

■参加者:16人

⑥2016年度 第2回 セミナー

■テーマ:比叡の森を護る

■開催日時:2017年1月13日(金)13:15~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎北翼204教室

■報告者・報告題目:

磯村良定(BARC研究協力者,延暦寺一山無量院住職,延暦寺総務部主事)

「比叡山—伝教大師の衣の森—」

武 円超(BARC研究協力者,延暦寺管理部主事)

「大師の森を守る—比叡山の森林施業—」

■コメンテーター:楠 淳證(龍谷大学アジア仏教文化研究センター長,文学部教授)

■参加者:137人

⑦2016年度 第3回 セミナー

■テーマ:論義と仏道—法相・華嚴・天台—

■開催日時:2017年1月17日(火)15:00~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目:

藤丸 要(龍谷大学教授)

「華嚴論義の成立と展開」

道元徹心(龍谷大学教授)

「天台論義資料への—視点—千観撰『法華三宗相對抄』・東大寺図書館蔵『天台宗—乘義秘要抄』を手掛かりに—」

■総合司会:大谷由香(BARC研究員,龍谷大学非常勤講師)

■参加者:44人

⑧2016年度 第1回 学術講演会

■テーマ:天台学の世界

■開催日時:2016年5月17日(火)15:00~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目:

武 覚超(叡山学院教授)

「慈恵大師良源から恵心僧都源信への影響」

■司会:道元徹心(龍谷大学理工学部教授)

■参加者:69人

⑨2016年度 第2回 学術講演会

■報告題目:中世びとの信仰の形態

■開催日時:2016年5月30日(月)17:30~19:00

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 場所: 龍谷大学大宮学舎清風館地下 1 階 B101
- 報告者: 大喜直彦(本願寺史料研究所上席研究員)
- コメンテーター: 杉岡孝紀(龍谷大学農学部教授)
- 参加者: 36 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑩2016 年度 第 3 回 学術講演会

- 報告題目: 本学所蔵古地図のデジタル修復(混一疆理歴代国都之図の保存のためのデジタル修復・複製)
- 開催日時: 2016 年 6 月 22 日(水)16:30~18:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者: 岡田至弘(龍谷大学理工学部情報メディア学科教授)
- 司会: 渡邊 久(龍谷大学文学部教授)
- コメンテーター: 村岡 倫(龍谷大学文学部教授)
- 参加者: 31 人

⑪2016 年度 第 4 回 学術講演会

- テーマ: 明恵と高山寺
- 開催日時: 2016 年 6 月 25 日(土)13:15~17:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階 253 教室
- 総合司会: 西谷 功(BARC 研究員, 泉涌寺宝物館学芸員)
- 報告者・報告題目:  
野呂 靖(龍谷大学文学部講師)  
「明恵と高山寺の教学—宋版『華嚴五教章』の受容をめぐる—」  
森實久美子(九州国立博物館企画課研究員)  
「明恵の釈迦信仰」  
伊藤久美(奈良国立博物館学芸部美術室研究員)  
「明恵をめぐる絵巻製作—「華嚴宗祖師絵伝」を中心に—」
- 参加者: 76 人

⑫2016 年度 第 5 回 学術講演会

- 報告題目: 親鸞と東国の人々
- 開催日時: 2016 年 7 月 18 日(月)15:00~17:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 総合司会: 杉岡孝紀(龍谷大学農学部教授)
- 報告者: 今井雅晴(筑波大学名誉教授)
- コメンテーター: 川添泰信(龍谷大学文学部教授)
- 参加者: 45 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑬2016 年度 第 6 回 学術講演会

- 報告題目: 歴史教育の場における『混一疆理歴代国都之図』の役割
- 開催日時: 2016 年 7 月 29 日(金)17:00~18:30
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者: 中村和之(函館工業高等専門学校教授)
- 司会: 渡邊 久(龍谷大学文学部教授)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■コメンテーター:村岡 倫(龍谷大学文学部教授)

■参加者:25人

⑭2016年度 第7回 学術講演会

■テーマ:玄奘三蔵と法相宗の美術—弥勒信仰と美術—

■開催日時:2016年10月29日(土)13:00~17:00

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■総合司会:西谷 功(BARC 研究員, 泉涌寺宝物館学芸員)

■報告者・報告題目:

打本和音(龍谷大学アジア仏教文化研究センターRA)

「弥勒経典と初期弥勒信仰の美術—ガンダーラから中国北魏へ—」

泉 武夫(東北大学大学院文学研究科教授)

「中国・日本の弥勒信仰とその美術」

北澤菜月(奈良国立博物館学芸部研究員)

「日本における兜率天曼荼羅—南都周辺の作例を中心に—」

■参加者:53人

■共催:科学研究費助成事業 基礎研究(B)課題番号 26284026「中央アジア仏教美術の研究—釈迦・弥勒・阿弥陀信仰の美術の生成を中心に—」(代表:宮治 昭)

⑮2016年度 第8回 学術講演会

■報告題目:中国仏教に宗派は本当に存在したのか

■開催日時:2016年11月1日(火)15:00~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者:張 文良(中国人民大学教授)

■コメンテーター:長谷川岳史(龍谷大学経営学部教授)

■参加者:33人

⑯2016年度 文化講演会

■報告題目:なぜ親鸞思想は超国家主義へと接続したのか

■開催日時:2016年11月28日(月)13:15~14:45

■場所:龍谷大学深草学舎顕真館

■報告者:中島岳志(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

■司会:杉岡孝紀(龍谷大学農学部教授)

■参加者:98人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

⑰2016年度 第9回 学術講演会

■報告題目:高田本『教行証文類』の書誌学

■開催日時:2016年12月5日(月)15:00~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:清水谷正尊(高田派鑑学, 高田短期大学非常勤講師)

■コメンテーター:杉岡孝紀(龍谷大学農学部教授)

■参加者:24人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

⑱2016年度 第10回 学術講演会

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■報告題目:『混一疆理歴代国都之図』研究から見た仏教系世界図検討の課題

■開催日時:2017年1月26日(木)16:45~18:15

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:濱下武志(東洋文庫研究員)

■司会:渡邊 久(龍谷大学文学部教授)

■コメンテーター:村岡 倫(龍谷大学文学部教授)

■参加者:15人

①9 2016年度 第11回 学術講演会

■報告題目:親鸞と『往生要集』

■開催日時:2017年1月27日(金)16:45~18:15

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:高田文英(龍谷大学文学部准教授)

■司会:杉岡孝紀(龍谷大学農学部教授)

■コメンテーター:玉木興慈(龍谷大学短期大学部教授)

■参加者:18人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

②0 2016年度 第12回 学術講演会

■テーマ:玄奘三蔵の説話と美術

■開催日時:2017年3月4日(土)13:00~17:00

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■総合司会:

野呂 靖(龍谷大学文学部講師)

西谷 功(BARC研究員, 泉涌寺宝物館学芸員)

■報告者・報告題目:

師 茂樹(花園大学文学部教授)

「ナラティブとしての玄奘伝:日本古写経にみる玄奘伝の変遷」

谷口耕生(奈良国立博物館教育室長)

「中世日本における玄奘三蔵像の受容と展開」

大島幸代(香雪美術館学芸員)

「玄奘三蔵と護法神」

■参加者:95人

グループ1(通時的研究班)・ユニットB:近代日本仏教と国際社会

① 2016年度 第1回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第1回)

■開催日時:2016年5月26日(木)16:00~18:00

■場所:龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室301

■参加者:6人

② 2016年度 第2回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第2回)

■開催日時:2016年6月23日(木)16:45~18:15

■場所:龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室301



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■参加者:9人

③2016年度 第3回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第3回)

■開催日時:2016年7月25日(月)16:00~18:00

■場所:龍谷大学大宮学舎南翼102

■参加者:12人

④2016年度 第4回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第4回)

■開催日時:2016年9月26日(月)17:00~19:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼小会議室

■参加者:13人

⑤2016年度 第5回 研究会\*8

■報告題目:『THE BIJOU OF ASIA(亜細亜之宝珠)』研究会(第5回)

■開催日時:2016年11月7日(月)17:00~19:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼小会議室

■参加者:7人

⑥2016年度 第6回 研究会

■報告題目:戦時下における日本仏教の国際化—アメリカ強制収容所での真宗伝道—

■開催日時:2016年12月8日(木)17:00~18:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館3階会議室

■報告者:釋氏真澄(2016年度 BARC 公募研究員)

■参加者:8人

⑦2016年度 第7回 研究会

■テーマ:大谷光瑞師の事業の再検討

■開催日時:2017年2月24日(金)13:00~16:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目:

高本康子(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員)

「大谷探検隊研究の現在」

市川良文(龍谷大学文学部准教授)

「大谷探検隊にかかわる資料紹介」

■司会:三谷真澄(龍谷大学国際学部教授)

■参加者:13人

⑧2016年度 第1回 ワークショップ

■報告題目:真宗布教近代化の一断面—本願寺派「特殊布教」の成立過程を中心に—

■開催日時:2016年8月2日(火)17:00~18:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者:中西直樹(龍谷大学文学部教授)

■コメンテーター:嵩 満也(龍谷大学国際学部教授)

■参加者:35人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑨2016年度 第2回 ワークショップ

■報告題目: 近現代の宗教界と公益法人制度—仏教婦人会の法人化を中心に—

■開催日時: 2016年11月4日(金)16:00~18:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者: 大澤広嗣(文化庁文化部宗務課専門職)

■参加者: 19人

■共催: 龍谷大学仏教文化研究所

⑩2016年度 第3回 ワークショップ

■報告題目: 鈴木大拙夫妻を解説する—研究の現状に関するラウンドテーブル—

■開催日時: 2016年12月7日(水)15:00~18:30

■場所: 龍谷大学大宮学舎清和館3階会議室

■報告者:

ジェイムズ・ドビンズ(オーバリン大学)

リチャード・M・ジャフィ(デューク大学)

ジュディス・スノドグラス(西シドニー大学)

ウェイン・ヨコヤマ(花園大学)

■司会:

吉永進一(舞鶴工業高等専門学校)

アリス・フリーマン(オックスフォード大学)

■参加者: 22人

⑪2016年度 第4回 ワークショップ

■報告題目: 中西牛郎と其の時代—明治中葉までを中心に—

■開催日時: 2017年1月24日(火)15:00~18:00

■場所: 龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室301・302

■報告者: 星野靖二(國學院大學研究開発推進機構准教授)

■参加者: 16人

⑫2016年度 文化講演会

■テーマ: 世界認識と「アジア」(第1回)

■講題: 『混一疆理歴代国都之図』から見た「世界」

■開催日時: 2016年11月19日(土)13:30~15:00

■場所: 龍谷大学深草学舎和顔館地下1階B201

■講師: 村岡 倫(龍谷大学文学部教授)

■参加者: 21人

⑬2016年度 文化講演会

■テーマ: 世界認識と「アジア」(第2回)

■講題: 南方熊楠と「アジア」

■開催日時: 2016年12月17日(土)13:30~15:00

■場所: 龍谷大学深草学舎和顔館地下1階B201

■講師: 松居竜五(龍谷大学国際学部教授)

■参加者: 142人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

⑭2016 年度 文化講演会

- テーマ:世界認識と「アジア」(第 3 回)
- 講題:大谷光瑞の世界認識
- 開催日時:2017 年 1 月 21 日(土)13:30~15:00
- 場所:龍谷大学深草学舎和顔館地下 1 階 B201
- 講師:三谷真澄(龍谷大学国際学部教授)
- 参加者:173 人

グループ 2(共時的研究班)・ユニット A:現代日本仏教の社会性・公益性

①2016 年度 第 1 回 研究会

- 報告題目:韓国・比丘尼の社会活動—聞き取り調査より—
- 開催日時:2016 年 7 月 8 日(金)16:00~17:30
- 場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
- 報告者:藤 能成(龍谷大学文学部教授)
- 参加者:5 人

②2016 年度 第 2 回 研究会

- 報告題目:宗教施設の訪問者に関する一考察
- 開催日時:2016 年 11 月 18 日(金)13:15~14:15
- 場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
- 報告者:南條了瑛(2016 年度 BARC 公募研究員)
- 参加者:7 人

③2016 年度 第 3 回 研究会

- テーマ:現代インドにおける仏教運動の諸相
- 開催日時:2017 年 3 月 21 日(火)11:00~15:00
- 場所:龍谷大学大宮学舎南翼 102 教室
- 報告者・報告題目:  
榎木美樹(名古屋市立大学大学院人間文化研究科准教授)  
「テランガーナ州における次世代育成を目指す仏教施設の役割」  
嵩 満也(龍谷大学国際学部教授)  
「Triratna Buddhist Community の組織と活動」(※諸事情により報告延期。)  
中村尚司(特定非営利活動法人 JIPPO 専務理事)  
「エンゲージド仏教の国際集会に参加して:INEB の活動概要と将来展望」
- 参加者:10 人
- 共催:龍谷大学南アジア研究センター(RINDAS)

④2016 年度 第 1 回 ワークショップ

- 報告題目:過疎地域における寺院の役割—宗勢基本調査結果が示すこと—
- 開催日時:2016 年 10 月 4 日(火)10:45~12:15
- 場所:龍谷大学大宮学舎清風館地下 1 階 B103
- 報告者:西光義秀(第 10 回宗勢基本調査実施センター調査研究員, 奈良県宇陀市万行寺住職)
- コメンテーター:長上深雪(龍谷大学社会学部教授)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

■参加者:18人

⑤2016年度 第2回 ワークショップ

■テーマ:仏教者による社会貢献活動の実態と意義—国内外における人道支援を通して—

■開催日時:2016年12月16日(金)13:00~16:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■総合司会:野呂 靖(龍谷大学文学部講師)

■報告者・報告題目:

定光大燈(Dāna International Center 事務局, 浄土真宗本願寺派西楽寺前住職)

「ネパール在住のチベット難民の現状とその問題—DIC の支援活動を通して見えてきたこと—」

雨森慶為(真宗大谷派解放運動推進本部本部委員)

「野宿生活者との交流」

■コメンテーター:中村尚司(特定非営利活動法人 JIPPO 専務理事)

■参加者:32人

■協力:特定非営利活動法人 JIPPO, Dāna International Center, 真宗大谷派解放運動推進本部

⑥2016年度 第3回 ワークショップ

■報告題目:障害福祉サービス事業所「わごころ」の取り組み～宗教法人としていかに社会福祉にかかわるか～

■開催日時:2017年1月10日(火)10:45~12:15

■場所:龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室 301・302

■報告者:芝 賢良(宗教法人浄念寺障害福祉サービス事業所わごころ代表役員・施設長)

■コメンテーター:長上深雪(龍谷大学社会学部教授)

■参加者:12人

⑦2016年度 第4回 ワークショップ

■テーマ:仏教者による対人支援の現在

■開催日時:2017年2月27日(月)15:00~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室 301・302

■報告者:

福井智行(自死に向きあう関西僧侶の会代表)

猪 智喜(高野山真言宗心の相談員)

■司会:野呂 靖(龍谷大学文学部講師)

■コメンテーター:竹本了悟(BARC 研究員, 浄土真宗本願寺派総合研究所研究員)

■参加者:9人

⑧2016年度 第1回 学術講演会

■報告題目:現代仏教の可能性—響き合いに生きる—

■開催日時:2016年9月27日(火)13:15~14:45

■場所:龍谷大学深草学舎22号館202教室

■報告者:丘山 新(浄土真宗本願寺派総合研究所所長)

■参加者:102人

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

## グループ 2(共時的研究班)・ユニット B: 多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

### ①2016 年度 第 1 回 ワークショップ

- テーマ: 仏教の女性観を考える—ジェンダーの視点から—
- 開催日時: 2016 年 6 月 21 日(火)13:15~16:15
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者・報告題目:  
岡田真水(真美子)(兵庫県立大学名誉教授)  
「女性の成仏について—改転の成仏と即身成仏をめぐる」  
飯島恵道(曹洞宗薬王山東昌寺, 花園大学非常勤講師)  
「ジェンダー不平等な現状に関する報告」
- コメンテーター:  
桂 紹隆(龍谷大学世界仏教文化研究センター研究フェロー)  
佐藤智水(龍谷大学世界仏教文化研究センター研究フェロー)
- 参加者: 78 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

### ②2016 年度 第 2 回 ワークショップ

- 報告題目: 英語でブッダ: 仏教のグローバル化とその可能性
- 開催日時: 2016 年 7 月 8 日(金)10:45~12:15
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者: 大來尚順(公益財団法人仏教伝道協会)
- コメンテーター:  
桑原昭信(BARC 博士研究員)  
川本佳苗(日本学術振興会特別研究員)
- 参加者: 21 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

### ③2016 年度 第 3 回 ワークショップ

- テーマ: 現代真宗とジェンダー—教団・寺院・女性—
- 開催日時: 2016 年 10 月 27 日(木)13:15~16:30
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者・報告題目:  
池田行信(浄土真宗本願寺派慈願寺住職)  
「私と寺族女性問題」  
横井桃子(関西学院大学社会学部非常勤講師)  
「地域にいきる坊守」
- コメンテーター:  
龍溪章雄(龍谷大学文学部教授)  
猪瀬優理(龍谷大学社会学部准教授)
- 参加者: 31 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

### ④2016 年度 第 1 回 学術講演会

- 報告題目: 『歎異抄』の翻訳を通して見た親鸞思想—イスラーム学者の視点から—
- 開催日時: 2016 年 10 月 12 日(水)10:45~12:15
- 場所: 龍谷大学大宮学舎北翼 204

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 報告者:アボルガセム・ジャーファーリー(コム宗教大学専任講師)
- 司会・通訳:那須英勝(龍谷大学文学部教授)
- 参加者:85 人
- 共催:龍谷大学仏教文化研究所

2016 年度『研究報告書』を HP で公開中(「研究進捗状況」,「ワーキングペーパー」を収録)。  
<https://barc.ryukoku.ac.jp/research/upfile/98e03fd81a02a21a9a5aca9b8104dc9424ddfaa7.pdf>

2016 年度第 1 号『ニューズレター』(通巻第 2 号)を HP で公開中。  
<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/593187c60df304fa6ab65764221e89bcadfea9e0.pdf>

2016 年度第 2 号『ニューズレター』(通巻第 3 号)を HP で公開中。  
<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/02f6781edfdc79226a7b132cd4cf8186993137e9.pdf>

#### 【2015 年度】 センター全体

- ①2015 年度 第 1 回 研究総会
- 開催日時:2015 年 9 月 24 日(木)18:15~20:10
  - 場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
  - 参加者 :22 人

- ②2015 年度 第 2 回 研究総会
- 開催日時:2016 年 3 月 16 日(水)14:00~16:20
  - 場所:龍谷大学大宮学舎南翼 202 教室
  - 参加者:26 人

#### グループ 1(通時的研究班)・ユニット A:日本仏教の形成と展開

- ①2015 年度 第 1 回 研究会
- 報告題目:浄興寺・大谷大学蔵『教行信証』に関する調査報告
  - 開催日時:2015 年 10 月 15 日(木)17:00~19:00
  - 場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
  - 報告者:川添泰信(龍谷大学文学部教授)
  - 参加者:20 人
  - 共催:龍谷大学世界仏教文化研究センター, 龍谷大学仏教文化研究所

- ②2015 年度 第 2 回 研究会
- 報告題目:大谷大学蔵『教行信証』に関する調査報告
  - 開催日時:2016 年 2 月 18 日(木)13:00~14:30
  - 場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301
  - 報告者:三栗章夫(龍谷大学 REC コミュニティカレッジ講師, 元浄土真宗本願寺派総合研究所)

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

上級研究員)

■参加者:25 人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

③2015 年度 第 3 回 研究会

■テーマ:南都の教学と論義

■開催日時:2016 年 2 月 18 日(木)15:00~17:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■総合司会:道元徹心(龍谷大学理工学部教授)

■報告者・報告題目:

中西俊英(東大寺華嚴教学研究所研究員)

「華嚴教学における問題意識—論義資料解説の一視点として—」

蜷川祥美(岐阜聖徳学園大学短期大学部教授)

「法相論義の展開」

■コメンテーター:

楠 淳證(龍谷大学アジア仏教文化研究センター長, 文学部教授)

藤丸 要(龍谷大学文学部教授)

■参加者:18 人

④2015 年度 第 1 回 セミナー

■テーマ:北嶺の論義

■開催日時:2016 年 1 月 14 日(木)13:15~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■総合司会:藤丸 要(龍谷大学文学部教授)

■基調講演:

藤平寛田(天台宗典編纂所編輯員, 叡山学院講師)

「天台論義の基礎と文献」

■研究発表:

吉岡 諒(2015 年度 BARC 公募研究員)

「栄西の大師号要請について」

吉田慈順(2015 年度 BARC 公募研究員)

「報仏常無常を巡る論争」

■参加者:27 人

⑤2015 年度 第 1 回 文化講演会

■テーマ:聖地に受け継がれし伝灯の行—修験, 回峰行, そして親鸞聖人へ—

■講題:修験の修行に学ぶ

■開催日時:2015 年 11 月 30 日(月)13:30~15:00

■場所:龍谷大学響都ホール校友会館

■講師:宮城泰年(聖護院門跡, 元龍谷大学客員教授)

■参加者:95 人

⑥2015 年度 第 2 回 文化講演会

■テーマ:聖地に受け継がれし伝灯の行—修験, 回峰行, そして親鸞聖人へ—

■講題:回峰行のころ

■開催日時:2015 年 12 月 7 日(月)13:30~15:00

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 場所: 龍谷大学響都ホール校友会館
- 講師: 光永覚道(北嶺大行満大阿闍梨, 延暦寺南山坊住職)
- 参加者: 169 人

⑦2015 年度 第 1 回 学術講演会

- テーマ: 『教行信証』の書誌学
- 開催日時: 2016 年 2 月 22 日(月)9:00~12:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎清風館地下 1 階 B102
- 講師・講題:  
赤尾栄慶(国立文化財機構京都国立博物館名誉館員, 元同博物館上席研究員)  
「坂東本の成立過程を考える」  
宇都宮啓吾(大阪大谷大学文学部教授)  
「訓点から見た坂東本」
- 参加者: 40 人

⑧2015 年度 第 2 回 学術講演会

- テーマ: 華嚴経と毘盧遮那仏
- 開催日時: 2016 年 2 月 28 日(日)13:15~18:00
- 場所: 龍谷大学深草学舎和顔館地下 1 階 B101
- 総合司会: 宮治 昭(龍谷大学文学部教授)
- 講師・講題:  
大竹 晋(仏典翻訳家)  
「『華嚴経』—ブツダとその世界—」  
朴 亨國(武蔵野美術大学教授)  
「中国・韓国の廬舎那仏・毘盧遮那仏」  
肥田路美(早稲田大学教授)  
「龍門奉先寺洞廬舎那大仏をめぐって」
- 参加者: 77 人

⑨2015 年度 第 3 回 文化講演会

- テーマ: 聖地に受け継がれし伝灯の行—修験, 回峰行, そして親鸞聖人へ—
- 講題: 若き日の親鸞聖人—天台修験=回峰行の修行をとおして—
- 開催日時: 2016 年 3 月 5 日(土)13:30~15:00
- 場所: 龍谷大学響都ホール校友会館
- 講師: 浅田正博(龍谷大学名誉教授, 浄土真宗本願寺派勧学)
- 参加者: 168 人

グループ 1(通時的研究班)・ユニット B: 近代日本仏教と国際社会

①2015 年度 第 1 回 研究会

- 報告題目: 1900 年厦門事件追考—真宗大谷派の事件関与と世論対応を中心に—
- 開催日時: 2015 年 9 月 11 日(金)16:30~18:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者: 中西直樹(龍谷大学文学部教授)
- 参加者: 15 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所



法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

②2015 年度 第 2 回 研究会

■開催日時:2016 年 2 月 5 日(金)13:00~16:00

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者・題目:

中西直樹(龍谷大学文学部教授)

「仏教雑誌にみる大正期の台湾布教」

大澤広嗣(文化庁文化部宗務課専門職)

「課題としての戦時下の日本仏教と南方地域」

■参加者:20 人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所, 龍谷学会

③2015 年度 第 1 回 国内ワークショップ

■テーマ:「仏教」と「農業」のあいだ—大谷光瑞師のトルコでの動向を中心として—

■開催日時:2015 年 12 月 10 日(木)15:00~17:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者・報告題目:

ヤマンラール水野美奈子(龍谷大学国際社会文化研究所研究員)

「大谷光瑞師のトルコにおける二つの殖産事業」

玉井鉄宗(龍谷大学農学部助教)

「農学者・大谷光瑞師の「熱帯農業の奥義」

三谷真澄(龍谷大学国際学部教授)

「仏教者・大谷光瑞師と農業」

■趣旨説明:三谷真澄(龍谷大学国際学部教授)

■閉会の辞:能仁正顕(龍谷大学文学部教授)

■参加者:40 人

■共催:龍谷大学国際社会文化研究所

■協力:龍谷大学仏教文化研究所

④2015 年度 第 2 回 国内ワークショップ

■テーマ:大谷光瑞とチベット—多田等観将来「釈尊絵伝」をめぐる—

■開催日時:2016 年 2 月 25 日(木)13:15~16:30

■場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■報告者・報告題目:

宮治 昭(龍谷大学文学部教授)

「インドの『舎衛城の神変』図について」

岡本健資(龍谷大学政策学部准教授)

「舎衛城神変と多田等観将来釈尊絵伝」

岩田朋子(龍谷大学龍谷ミュージアム講師)

「釈尊絵伝にみられる仏弟子たちの物語」

能仁正顕(龍谷大学世界仏教文化研究センター長, 文学部教授)

「阿闍世教化の伝承と釈尊絵伝」

■総合司会:三谷真澄(龍谷大学国際学部教授)

■参加者:34 人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

## グループ 2(共時的研究班)・ユニット A:現代日本仏教の社会性・公益性

### ①2015 年度 第 1 回 研究会

- 報告題目:宗教教団における信仰継承について
- 開催日時:2015 年 10 月 14(水)9:45~12:00
- 場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
- 報告者:猪瀬優里(龍谷大学社会学部講師)
- 司会:野呂 靖(龍谷大学文学部講師)
- 参加者:25 人
- 共催:真言宗智山派智山教化センター

### ②2015 年度 第 2 回 研究会

- 報告題目:ソーシャルワークのグローバル定義と仏教思想
- 開催日時:2015 年 10 月 26 日(月)14:00~16:30
- 場所:龍谷大学響都ホール校友会館会議室
- 報告者:長崎陽子(龍谷大学非常勤講師)
- 参加者:16 人
- 共催:日本仏教社会福祉学会

### ③2015 年度 第 3 回 研究会

- 報告題目:テランガーナ州における仏教運動の展開
- 開催日時:2015 年 11 月 9 日(月)15:00~17:00
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者:ポーディ・ダンマ(僧侶, 全インド仏教青年連盟会長)
- コメンテーター:佐藤智水(龍谷大学人間・科学・宗教総合研究センター研究フェロー)
- 参加者:39 人
- 共催:龍谷大学現代インド研究センター(RINDAS)

### ④2015 年度 第 4 回 研究会

- 報告題目:青少年の倫理問題に答えるタイ仏教
- 開催日時:2016 年 1 月 15 日(金)13:15~14:45
- 場所:龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者:K.プラポンサック(2015 年度 BARC 公募研究員)
- ファシリテーター:若原雄昭(龍谷大学文学部教授)
- コメンテーター:藤 能成(龍谷大学文学部教授)
- 参加者:20 人

### ⑤2015 年度 第 5 回 研究会

- 報告題目:東日本大震災における仏教の果たした役割と課題
- 開催日時:2016 年 3 月 4 日(金)9:30~12:00
- 場所:龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
- 報告者:藤森雄介(淑徳大学人間環境学科教授)
- 司会:長上深雪(龍谷大学社会学部地域福祉学科教授)
- 参加者:10 人

### ⑥2015 年度 第 1 回 国内ワークショップ

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

- 報告題目: 自死問題に向き合う仏教者の活動とその理念
- 開催日時: 2016 年 2 月 22 日(月)14:00~17:00
- 場所: 龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
- 報告者:  
小川有閑(浄土宗総合研究所)  
宇野全智(曹洞宗総合研究センター)  
竹本了悟(浄土真宗本願寺派総合研究所)
- 司会: 野呂 靖(龍谷大学文学部講師)
- 参加者: 30 人
- 共催: 教団附置研究所懇話会「自死問題研究部会」, 浄土真宗本願寺派総合研究所

⑦2015 年度 第 1 回 国際ワークショップ

- テーマ: Engaged Buddhism, The US and Japan: Past, Present and Future
- 開催日時: 2016 年 3 月 11 日(金)13:30~16:00
- 場所: Jodo Shinshu Center, Conference Room (2nd floor), Berkeley, California
- 報告者:  
Scott Mitchell(Institute of Buddhist Studies)  
Funie Hsu(San Jose State University and Board Member of the Buddhist Peace Fellowship)  
Aya Honda(Hyogo University)  
Mitsuya Dake(Ryukoku University)
- 参加者: 21 人
- 協力: Institute of Buddhist Studies

グループ 2(共時的研究班)・ユニット B: 多文化共生社会における日本仏教の課題と展望

①2015 年度 第 1 回 研究会

- 報告題目: 日本におけるイスラーム思想と仏教思想の対話の可能性
- 開催日時: 2015 年 10 月 13 日(火)10:45~12:15
- 場所: 龍谷大学大宮学舎清風館 3 階共同研究室 301・302
- 報告者: アボルガセム・ジャーファーリー(コム宗教大学講師)
- 司会・通訳: 那須英勝(龍谷大学文学部教授)
- コメンテーター: 佐野東生(龍谷大学国際学部教授)
- 参加者: 25 人
- 共催: 龍谷大学仏教文化研究所

②2015 年度 第 1 回 ワークショップ

- テーマ: アジア宗教の多様性と日本の仏教
- 開催日時: 2015 年 10 月 22 日(木)13:15~16:30
- 場所: 龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 報告者:  
ジョン・ポーラップ(デンマーク国立オーフス大学准教授)  
レネ・キューレ(デンマーク国立オーフス大学准教授)  
マリアン・クウォルトルップ・フィビガー(デンマーク国立オーフス大学准教授)  
吉永進一(舞鶴工業高等専門学校教授)
- 司会・通訳: 那須英勝(龍谷大学文学部教授)
- レスポネント:

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

高田信良(龍谷大学文学部教授)

唐澤太輔(龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員)

■参加者:22 人

■共催:龍谷大学仏教文化研究所

### ③2015 年度 第 1 回 国際シンポジウム

「多文化共生社会における宗教間対話(Inter-faith Dialogue)」

■開催日時:2015 年 12 月 14 日(月)10:45~15:00

■場所:龍谷大学大宮学舎清和館 3 階ホール

■総合司会:那須英勝(龍谷大学文学部教授)

《午前部・討論会》

■テーマ:宗教多元論(religious pluralism)の理論の実践論的再検討

■報告者:

大來尚順(公益財団法人仏教伝道協会)

アレック・ラメイ(上智大学言語教育研究センター講師)

東馬場郁生(天理大学国際学部教授)

■レスポネント:

小原克博(同志社大学神学部教授)

高田信良(龍谷大学文学部教授)

《午後部・基調講演》

■講演題目:Religious Diversity behind Barbed Wire: Japanese American Buddhism and Christianity in the

WWII Incarceration Camps in the U. S.

■報告者:ダンカン・ウィリアムズ(南カリフォルニア大学教授)

■コメンテーター:

高田信良(龍谷大学文学部教授)

守屋友江(阪南大学国際コミュニケーション学部教授)

■通訳:

桑原昭信(BARC 博士研究員)

宮地 崇(龍谷大学大学院文学研究科博士課程)

■参加者:106 人

2015 年度『研究報告書』を HP で公開中(「研究進捗状況」,「ワーキングペーパー」を収録)。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/research/upfile/cf031d3b9b4a681d68bfb0a9563712f948e1cdf0.pdf>

2015 年度第 1 号『ニューズレター』(通巻第 1 号)を HP で公開中。

<https://barc.ryukoku.ac.jp/newsletter/upfile/379ade0810e1632586338d57c1daebfa785ce72d.pdf>

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

### グループ 1(通時的研究班)・ユニット A: 日本仏教の形成と展開

#### 玉木興慈

- ①「和のころ」, 玉木興慈 著, 『大乘』(本願寺出版社), 2019 年 4 月より毎月連載。
- ②「阿難尊者の質問に想う」, 玉木興慈 著, 『学びの友』44-4(浄土真宗本願寺派中央仏教学院通信教育部), 6-7 頁, 2015 年 12 月。
- ③「相手が一番喜ぶことを」, 玉木興慈 著, 『御堂さん』10 月号(浄土真宗本願寺派津村別院), 2015 年 10 月。
- ④「お母ちゃん、怒ってるかなあ」, 玉木興慈 著, 『お盆』(本願寺出版社), 1-10 頁, 2015 年 7 月。
- ⑤「わたしの正信念仏偈」, 玉木興慈 著, 『大乘』(本願寺出版社), 2015 年 4 月より毎月連載。

#### 西谷功

- ①古代学協会講座, 西谷功, 公益財団法人古代学協会, 2019 年 4 月, 5 月, 6 月, 7 月。

### グループ 1(通時的研究班)・ユニット B: 近代日本仏教と国際社会

#### 中西直樹

- ①「「中外日報」創刊前夜の真涙骨—生誕 150 年に寄せて—」, 中西直樹 著, 『中外日報』, 2019 年 10 月。
- ②「反省会雑誌 The Hansei Zasshi」, 中西直樹 著, 龍谷大学創立 380 周年記念書籍編集委員会編『時空を超えたメッセージ—龍谷の至宝—』(法蔵館), 2019 年 7 月。
- ③「オルコット招聘事業再考—来日 130 年によせて—」, 中西直樹 著, 『仏教タイムス』, 2019 年 6 月。
- ④「明治大正期の東京大学仏教青年会—創立百周年に寄せて—」, 中西直樹 著, 『中外日報』, 2019 年 6 月。

#### 大澤広嗣

- ①『新纂浄土宗大辞典』, 浄土宗大辞典編纂委員会監修、浄土宗大辞典編纂実行委員会編, 2016 年 3 月 14 日。そのうち「秋葉信仰」「伊勢信仰」「稲荷」「えびす信仰」「鹿島信仰」「香取信仰」「聖天信仰」「住吉信仰」「諏訪信仰」「立山信仰」「戸隠信仰」「法華信仰」「ミロク信仰」(5, 63, 92, 138-139, 240, 250, 758-759, 892, 892, 1029, 1124-1125, 1422, 1363 頁)を担当。

### グループ 2(共時的研究班)・ユニット A: 現代日本仏教の社会性・公益性

#### 若原雄昭

- ①「第 1 部ブッダとその弟子たち(釈尊・舍利弗・阿那律・難陀)」, 若原雄昭 著, 『大法輪』(大法輪閣), 64-73 頁, 2019 年 8 月。

#### 野呂靖

- ①説話文学会 2019 年度大会, 野呂靖, シンポジウム「律をめぐる宗教的環境と説話文学との架橋」におけるコメンテーター, 2019 年 6 月。

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

<「選定時」に付された留意事項>

該当なし

<「選定時」に付された留意事項への対応>

該当なし

<「中間評価時」に付された留意事項>

該当なし

<「中間評価時」に付された留意事項への対応>

該当なし

法人番号	261014
プロジェクト番号	S1511029

年度・区分	支出額	内 訳						備考
		法人負担	私学助成	共同研究機関負担	受託研究等	寄付金	その他( )	
平成27年度	施設	18,144	10,185	7,959				
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	21,687	14,430	7,257				
平成28年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	25,053	19,412	5,641				
平成29年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	27,057	20,402	6,655				
平成30年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	25,015	19,077	5,938				
平成31年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	27,097	19,910	7,187				
総額	施設	18,144	10,185	7,959	0	0	0	0
	装置	0	0	0	0	0	0	0
	設備	0	0	0	0	0	0	0
	研究費	125,909	93,231	32,678	0	0	0	0
総計	144,053	103,416	40,637	0	0	0	0	

法人番号	261014
------	--------

17

《施設》(私学助成を受けていないものも含め、使用している施設をすべて記載してください。)(千円)

施設の名 称	整備年度	研究施設面積	研究室等数	使用者数	事業経費	補助金額	補助主体
(白亜館)アジア仏教文化研究センター	平成22年度	491m <sup>2</sup>		約35人			私学助成
(白亜館)アジア仏教文化研究センター1階、2階	平成22年度	293m <sup>2</sup>		19人程度	59,876	29,938	私学助成
・ 資料室			1	7人程度			
・ 研究室			3	9人程度			
・ 事務室			1	3人程度			
(白亜館)アジア仏教文化研究センター3階、4階	平成27年度	198m <sup>2</sup>		16人程度	18,144	7,959	私学助成
・ PD・RA室			2	4人程度			
・ 研究室			4	12人程度			

※ 私学助成による補助事業として行った新增築により、整備前と比較して増加した面積  
 0 m<sup>2</sup>

《装置・設備》(私学助成を受けていないものは、主なもののみを記載してください。)(千円)

装置・設備の名称	整備年度	型 番	台 数	稼働時間数	事業経費	補助金額	補助主体
(研究装置)				h			
				h			
				h			
				h			
(研究設備)				h			
				h			
				h			
				h			
(情報処理関係設備)				h			
				h			
				h			
				h			

18 研究費の支出状況 (千円)

年 度	平成	27	年度	積 算 内 訳		
小 科 目	支 出 額	主 な 使 途		主 な 内 容		
		金 額				
教 育 研 究 経 費 支 出						
消耗品費	7,626	用品・資料図書	7,626	用品費(2,238)、消耗品費(263)、資料図書(5,125)		
光熱水費	0		0			
通信運搬費	116	郵便費	116	各種案内、切手代		
印刷製本費	938	印刷製本費	938	各種案内、研究報告書等研究成果の印刷製本等		
旅費交通費	2,499	出張費	2,499	研究員出張費(2,162)、招聘者交通費等(337)		
報酬・委託料	2,251	講師謝礼・業務委託	2,251	講師謝礼、翻訳料、テープ起こし等業務委託		
その他	116	会合費・雑費等	116	講演会運営に係る昼食費、講師用ミネラルウォーター代等		
計	13,546					
ア ル パ イ ト 関 係 支 出						
人件費支出 (兼務職員)	99	研究補助業務	99	時給 900円, 年間時間数 110時間 実人数 1人		
教育研究経費支出	0		0			
計	99					
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)						
教育研究用機器備品	421	備品	421	情報機器、机		
図 書	0		0			
計	421					



法人番号

261014

研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	2,769		2,769	学内2人
ポスト・ドクター	4,852		4,852	学内2人
研究支援推進経費	0		0	
計	7,621			学内4人

年 度	平成 28 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消耗品費	4,654	用品・資料図書	4,654	用品費(270)、消耗品費(245)、資料図書(4,138)
光熱水費	0		0	
通信運搬費	193	郵便費	193	各種案内、切手代
印刷製本費	630	印刷製本費	3,721	各種案内、研究報告書等研究成果の印刷製本等
旅費交通費	3,721	交通費	3,721	研究員出張費(1,630)、招聘者交通費等(2,090)
報酬・委託料	2,111	講師謝礼・業務委託	2,111	講師謝礼、翻訳料、テープ起こし等業務委託
その他	129	会合費・雑費等	129	講演会運営に係る昼食費、講師用ミネラルウォーター代等
計	11,438			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)	190	研究補助業務	190	時給 900円, 年間時間数 211時間 実人数 4人
教育研究経費支出	0		0	
計	190			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	0		0	
図 書	0		0	
計	0			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	3,517		3,517	学内2人
ポスト・ドクター	9,908		9,908	学内2人
研究支援推進経費	0		0	
計	13,425			学内4人

年 度	平成 29 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消耗品費	6,391	用品・資料図書	6,391	用品費(537)、消耗品費(154)、資料図書(5,700)
光熱水費	0		0	
通信運搬費	270	郵便費	270	各種案内、切手代
印刷製本費	756	印刷製本費	756	各種案内、研究報告書等研究成果の印刷製本等
旅費交通費	3,817	交通費	3,817	研究員出張費(2,264)、招聘者交通費等(1,553)
報酬・委託料	2,872	講師謝礼・業務委託	2,872	講師謝礼、翻訳料、テープ起こし等業務委託
( )	373	会合費・雑費等	373	講演会運営に係る昼食費、講師用ミネラルウォーター代等
計	14,479			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)	75	研究補助業務	75	時給 900円, 年間時間数 84時間 実人数 3人
教育研究経費支出	0		0	
計	75			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	0		0	
図 書	0		0	
計	0			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	2,585		2,585	学内2人
ポスト・ドクター	9,918		9,918	学内2人
研究支援推進経費	0		0	
計	12,503			学内4人

年 度	平成 30 年度		
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳	
		主 な 使 途	金 額
教 育 研 究 経 費 支 出			
消 耗 品 費	5,224	用品・資料図書	5,224
光 熱 水 費	0		0
通 信 運 搬 費	260	郵便費	260
印 刷 製 本 費	844	印刷製本費	844
旅 費 交 通 費	4,334	交通費	4,334
報 酬 ・ 委 託 料	1,306	講師謝礼・業務委託	1,306
( )	213	会合費・雑費等	213
計	12,181		
ア ル バ イ ト 関 係 支 出			
人 件 費 支 出 (兼務職員)	0	研究補助業務	0
教育研究経費支出	0		0
計	0		0
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)			
教育研究用機器備品	0		0
図 書	0		0
計	0		0
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出			
リサーチ・アシスタント	2,846		2,846
ポスト・ドクター	9,988		9,988
研究支援推進経費	0		0
計	12,834		学内4人

年 度	平成 31 年度		
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳	
		主 な 使 途	金 額
教 育 研 究 経 費 支 出			
消 耗 品 費	12,820	用品・資料図書	12,820
光 熱 水 費	0		0
通 信 運 搬 費	236	郵便費	236
印 刷 製 本 費	564	印刷製本費	564
旅 費 交 通 費	245	交通費	245
報 酬 ・ 委 託 料	556	講師謝礼・業務委託	556
その他	0	会合費・雑費等	0
計	14,421		
ア ル バ イ ト 関 係 支 出			
人 件 費 支 出 (兼務職員)	0	研究補助業務	0
教育研究経費支出	0		0
計	0		0
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)			
教育研究用機器備品	0		0
図 書	0		0
計	0		0
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出			
リサーチ・アシスタント	2,596		2,596
ポスト・ドクター	10,080		10,080
研究支援推進経費	0		0
計	12,676		学内4人